

比較(1) 色のイメージ



好きな色は人によって違います。好きな色でその人の性格が分かって言う人もいます。でも、明るい色より暗い色のほうが好きな人は性格も暗いでしょうか。色と性格があるかどうかは分かりませんが、色とその色からイメージするものは関係があるかもしれません。

青と赤と黄色の中でどれが一番「危険」をイメージしますか。だいたいどこの国でも赤から「危険」を連想するのではないのでしょうか。赤のイメージはもちろん「危険」だけではありません。日本の中華料理のお店ではカウンターやテーブルは赤です。もしそれが青だったら、きっと食欲がなくなるでしょう。でも、青には別のイメージがあります。夏の暑い日はのどが渴きます。そんな時にあなたはどんな色のジュースが飲みたくなりますか。

日本で赤と青と黄色のジュースを用意して、道を通る人に実験してみました。黄色のジュースも人気がありましたが、青ほどではありませんでした。赤は一番人気がありませんでした。きっと青を見ると涼しく感じるのではないのでしょうか。

別の実験では同じ形で同じ大きさの箱を2つ持ってもらって、どちらの箱が重いか尋ねました。1つは白で、もう1つは黒でした。ほとんどの人が黒い箱のほうが重いと答えました。でも、本当は2つの箱は同じ重さでした。明るい色に比べて、暗い色はなんとなく重く感じるようです。



性格

イメージ

連想する

中華(料理)
カウンター
別

感じる

尋ねる

本当は
比べる

なんとなく

■ 本文設問

- (1) 赤から連想することは何ですか。
 (2) 青から連想することは何ですか。
 (3) 色によって重く感じたり軽く感じたりしますか。どんな色が軽く感じますか。
 ◇ 本文の内容を参考にして色によってイメージがどう変わるか考えてみましょう。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	性格	中華(料理)	カウンター	別(の)
名詞/動詞Ⅲ	イメージ(する)	連想(する)		
動詞	感じるⅡ	尋ねるⅡ	★比べるⅡ	
副詞	本当は	★なんとなく		

【自動詞と他動詞】

「かわく(渴く)Ⅰ」

- ・のどが渴く。

「かわく(乾く)Ⅰ」 / 「かわかす(乾かす)Ⅰ」

- ・洗濯物が乾く / を乾かす。

「通るⅠ」 / 「通すⅠ」

- ・人が通る / を通す。お客を居間に通す。

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 性格 カウンター 別の 尋ねる 本当は 連想する 】

- (1) 場所がわからなかったので、そばにいる人に ()。
 (2) 私は青から海を ()。
 (3) 私とあの人は () が合わないようです。
 (4) () 食べたくなかったんですが、全部食べました。
 (5) そこは () しかない小さな店でした。
 (6) そこはとても込んでいたので、() 店に行きました。

かわかす 通す 居間 そば

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの基本文型・表現)

「比較」の文型・表現 (1)

→ ★L11「比較」の文型・表現 (2)

(1) AはBより・・・ *

- ・ この教室はとなりの教室より広いです。

(2) AとBとどちら／どっちが・・・ *

1. きょうのテストときのうのテストとどちらが難しかったですか。
2. キムさんとスミスさんとどっちが背が高いですか。

(3) (Aより) Bのほうが・・・ *

- ・ その映画よりこの映画のほうがおもしろいです。

(4) AはBほど・・・ない

→ ★L3「～ば～ほど」、L11「～ほど～はない」、L13「<動詞>+ほどだ」

1. 今週は先週ほど暑くありません。
2. アリさんは日本語が上手ですが、ジョンさんほど上手に話せません。
3. これもおいしかったですけど、きのう食べたものほどではありません。

(5) X (の中) で何／だれ／どこ／いつ／が一番・・・ *

1. 日本料理で何が一番好きですか。
2. きょうはだれが一番早く来ましたか。

(6) X (の中) で～が一番・・・ *

- ・ 今まで旅行した国の中でインドがいちばん楽しかったです。

(7) AとBとCの中でどれ／だれ／どこ／いつ／が一番・・・

1. ビールとウイスキーと日本酒の中でどれが一番好きですか。
2. 金曜と土曜と日曜の中でいつが一番都合がいいですか。

(8) 『比べる』

1) AはBに／と比べて (Xが)・・・

1. このスーパーは駅前のスーパーに比べて野菜が高いです。
2. この町はほかの町と比べて外国人が多いです。

2) AはBに／と比べると (Xが)・・・

1. このシャツは安いですが、それと比べるとちょっと質が悪いです。
2. 去年に比べると、成績はずいぶん上がりました。

その他の文型・表現

(1) <い形容詞>く+感じる

1. 風が吹くと、気温よりも寒く感じます。
2. 話がつまらないと、時間が長く感じます。

(2) なんとなく (※はっきり理由・原因がわからない場合)

1. 最近なんとなく体の調子がよくありません。
2. こちらのほうがなんとなくいいと思いますけど。
3. なんとなく友だちに電話したくなりました。

(3) <副詞>+の+<名詞>

1. ほとんど／おおぜい／多くの人がある話を信じませんでした。
2. だいたいのことは分かりました。
3. その考え方はかなりの人に影響を与えました。
4. さっきの話はだれにも言わないでくださいね。
5. 山田さんの遅刻はいつものことです。
6. 最近の若い人は電車の中でマナーが悪いです。

(4) (Xは)～によって違う／いろいろだ

(→ L2本文「～によって～たり～たりする」)

1. 考え方は人によって違います。
2. 学生の国籍はクラスによっていろいろだ。
3. 学校に来る時間は日によって違います。8時だったり8時半だったりします。
4. 形は物によっていろいろです。丸かったり、四角かったりします。

(5) ～のではないですか

→ ★会話文型・表現<1>「考えを言う」

1. それよりこちらのやり方のほうがいいのではないですか。
2. 東京の物価はほかの町に比べてかなり高いのではないですか。
3. みんなでがんばれば、できるのではないですか。

■ 文型・表現練習

(1) AはBほど・・・ない

1. 佐藤さんは田中さんほど_____。
2. 私は_____好きだけど、_____ほど_____。
3. _____けど、_____ほどではありません。

(2) AとBとCの中でどれ/だれ/どこ/いつ/が一番・・・

1. 豚肉と_____一番_____。
2. 1月と_____一番_____。
3. _____一番難しいですか。

(3) AはBに/と比べて (Xが)・・・

1. 私の国は日本と比べて_____。
2. 日本語は_____。
3. 犬は_____。

(4) <い形容詞>く+感じる

1. 青い服は黒い服と比べて、_____。
2. 同じ50キロでもバイクのほうが_____。

(5) なんとなく

1. なんとなくこちらよりそちらのケーキのほうが_____そうですね。
2. A「どうしてそう思うんですか」
B「_____」

(6) (～は)～によって違う/いろいろだ

1. _____は人によって違います。
2. _____いろいろです。小さかったり大きかったりします。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・『私の好きな色』：自分の好きな色、それが好きな理由も書いてみましょう。
- ・『いろいろな場合』：人／物／場合によって違うということについて書いてみましょう。
- ・『日本の家／アパート』：自分の国と比べて書いてみましょう。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 色の単語

1. 名詞と形容詞がある単語

・赤(い)、白(い)、黒(い)、青(い)、黄色(い)、茶色(い)

2. 名詞だけの単語

・緑(色)、灰色、桃色、金(色)、銀(色)

3. カタカナ

・レッド、ホワイト、ブラック、ブルー、イエロー、ブラウン、グリーン、グレー、ピンク、オレンジ、ゴールド、シルバー

4. 強調する単語

・真っ白、真っ黒、真っ赤、真っ青

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

□ 聴解新出語： ～畳 「お邪魔します」

答え 1 2 3 4

様子・類似(1) 世界のじゃんけん



子どもの遊びにはいろいろありますが、「鬼ごっこ」というのはだいたいい世界中にある遊びのようです。その鬼はどうやって決めますか。日本では「じゃんけん」で決めるのが普通です。『じゃんけん、ぽん』と言って、グー、チョキ、パーのどれか1つを出して、負けた人が鬼になります。

このじゃんけんも世界各地にあって、よく似ています。手を握る「グー」が「石」を、指を二本出す「チョキ」が「はさみ」を、手を開く「パー」が「紙」を表すのが一番多いです。石とはさみと紙の勝負ですから、グーはチョキに勝って、チョキはパーに勝つことが分かります。紙は石を包むので、パーはグーに勝ちます。国によって、グーが金づちだったり、紙が布だったりします。

マレーシアのじゃんけんはちょっと違います。グーとパーの形は日本とそっくりですが、チョキは指先を全部合わせて前に出して、まるで鳥のくちばしのような形を作ります。そして、パーは紙ではなくて水を表します。ですから、石と鳥と水の勝負です。

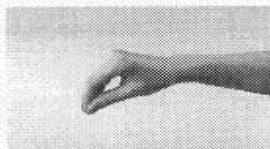
インドネシアにもじゃんけんのような遊びがあります。握りこぶしから親指だけを出すのが「象」で、人差し指だけを出すのが「人」、小指だけ出すのが「アリ」だそうです。象が人に勝って、人がアリに勝つのは分かりますが、どうしてアリが象に勝つのでしょうか。アリみたいに小さくても大きいものを倒すことができる場所がおもしろいです。

本文設問(3)

A



B



C



遊び 鬼ごっこ
鬼

じゃんけん

グー チョキ

パー

各地 似る

握る 指

表す

勝負

金づち

布

そっくり 指先

合わせる まるで

くちばし

握りこぶし

親指 人差し指

小指 アリ

～みたい

倒す ところ

■ 本文設問

- (1) 「鬼ごっこ」ではどうやって鬼を決めますか。
- (2) 日本の「グー、チョキ、パー」はそれぞれ何を表していますか。それはあなたの国と同じですか、違いますか。どこが違いますか。
- (3) マレーシアの「チョキ」の形を写真の中から選んでください。
- ◇ インドネシアの遊びでは、どうしてアリが象に勝つのだと思いますか。理由を自由に考えてみてください。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	： ^{あそ} 遊び ^{おに} 鬼 じゃんけん ^{かくち} 各地 ^{ゆび} 指 ^{おやゆび} 親指 ^{ひとさ} 人差し指 ^{ゆび} 小指 ^{こゆび} 指先
	： ^{かな} 金づち ^{ぬの} 布 くちばし ^{にぎ} 握りこぶし アリ ★ところ
な形容詞	： [★] そっくり ★～みたい
名詞／動詞Ⅲ	： ^{しょうぶ} 勝負(する)
動詞	： [★] 似るⅡ ^{にぎ} 握るⅠ ^{あらわ} 表す(表わす)Ⅰ ^あ 合わせるⅡ ^{たお} 倒すⅠ
副詞	： [★] まるで
その他	： ^{おに} 鬼ごっこ 「じゃんけん、ぼん」 「グー、チョキ、パー」

[基本動詞の用法]

- ・(パーを／指を)出すⅠ。

[自動詞と他動詞]

「合うⅠ」／「合わせるⅡ」

- ・二人の意見が合う。
- ・みんなの意見を合わせる。手を合わせる。時計の時間を合わせる。

「倒れるⅡ」／「倒すⅠ」

- ・人(木)が倒れる／を倒す。
- ・(試合で)相手を倒す。

「決まるⅠ」「決めるⅡ」

- ・予定(リーダー)が決まる／を決める。

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 布 握る 倒す 合わせる 表す 出す 】

- (1) タイのあいさつは、両手を ()、おじぎをします。
(2) 二人とも同じ「グー」を () たら、もう一度じゃんけんをします。
(3) 大切な物をきれいな () で包みました。
(4) 象にはすごい力があります。木を ()、それを鼻を使って運びます。
(5) 地図の『〒』のマークは郵便局を () います。
(6) 山田さんはカラオケが大好きで、マイクを () たらなかなか放しません。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの基本文型・表現)

「様子・類似」の文型 (1)

→ ★L.12「様子・類似」の文型 (2)

(参考) 推量^{すいりょう}の「よう」

(注)「よう」を使うが、この課で学習する文型と用法が違う。

Xは (どうも)・・・ようだ *

1. その話は(どうも)本当のようです。
2. 外はかなり暑いようです。
3. となりの部屋にだれかいるようです。
4. 田中さんはきのう家に帰らなかったようです。

(1) 『よう』

1) Xは (まるで)・・・ようだ * → ★L.16「～らしい」

1. 大人なのに話し方は子どものようです。
2. まだ5月だけど、とても暑くて夏のようです。
3. 本当に合格したんです。まるで夢のようです。

2) Xは(まるで)・・・ような+<名詞>

1. 太郎君はまるで女の子のような声で話します。
2. 西洋のチェスは日本の将棋のようなゲームです。

3) Xは(まるで)・・・ように+<い・な形容詞/動詞>

1. まるで日本人のように上手に話します。
2. とても疲れていたなので、まるで死んだように寝ています。

(2) みたい (※会話表現 ※名詞の時に「の」が入らない)

Xは(まるで)・・・みたいだ

1. 赤ちゃんの手はとても小さくて、まるで紅葉もみじみたいです。
2. このタワーの上から見ると家や車はみんなおもちゃみたいに見えます。

(3) AはBに/と(Xが)似ている/AとBは(Xが)似ている

1. 山田さんはお父さんによく似ています。
2. ケンさんとジョンさんは話し方が似ています。
3. 二人は体つきも性格もよく似ています。
4. 形が似ているから間違えないようにしてください。

(4) AはBと(Xが)そっくりだ/AとBは(Xが)そっくりだ

1. 加藤さんはお母さんと目がそっくりです。
2. あの映画のストーリーはこの本のとそっくり(同じ)です。
3. きのうこれとそっくりの自転車を駅前で見ましたよ。

その他の文型・表現

(1) 言葉の説明/定義

1) X(というの)はどういう意味ですか

Xは・・・という意味/ことです

1. 「『そっくり』というのはどういう意味ですか」
「形や内容が同じということです」
2. 「『バツイチ』というのはどういう意味ですか」
「離婚の経験が1回あるという意味です」

2) Xというのは何(のこと)ですか

Xというのは・・・(のこと)です (※「・・・」の最後には名詞が来る)

1. 「『メル友』というのは何のことですか」
「携帯電話やパソコンのメールだけで連絡している友達ともだちのことです」
2. 「『2DK』というのは何のことですか」
「2つの部屋とダイニングキッチンがあるうちのことです」
注) 会話のくだけた表現では「～というのは」が「～って」になる。
3. 「『定食』って何(のこと)ですか」

(2) Aが・・・を、Bが・・・を～ (※文章でよく使う文型)

(※同じ動詞を使う文がいくつかある時には前のものを省略する)

1. 山田先生が初級クラスを、森先生が中級クラスを教えている。
2. リーさんは田中さんと、ケンさんは佐々木さんと組んでテニスをした。

(3) 『ところ』(※<場所>→<点、箇所>) → ★L.4「・・・という点」

1. 一度書いたあとで、変なところがないか先生に見てもらいました。
2. A「山田さんのどんなところ(=どこ)が好きなんですか」
B「とても優しいところですね」
3. このロボットは人と会話できるところがすごいです。

■ 文型・表現練習

(1) Xは(まるで)・・・よう

1. とても寒くて、まるで_____。
2. あの人はまるで_____ように話します。
3. お母さんが若く見えるから、娘さんといっしょに歩いていると、まるで_____。
4. 最近のコンピューターグラフィックの技術はすごいです。まるで_____。
5. 私の国にも日本の『_____』のような遊びがあります。

(2) AはBに／と(Xが)似ている／AとBは(Xが)似ている

1. 私のかばんは_____。
2. _____から、電話の時にはよく間違えてしまいます。

(3) AはBと(Xが)そっくりだ／AとBは(Xが)そっくりだ

1. _____から、写真を見ても区別ができません。
2. ^{むすこ}息子は_____。
私が小さかったころとそっくりです。

(4) Xというのは・・・(のこと)だ／・・・ということだ

1. 『快速電車』というのは_____。
2. 『漢和辞典』というのは_____。
3. 『学校を早退する』というのは_____。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『私の友だち』：二人の友だちについて似ているところを書いてみましょう。
- ・ 『子供の遊び』：子供の遊びを簡単に説明してみましょう。(名前と遊び方)



第3課

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

(1) 体の部分

- ・頭、顔、首、肩、背中、腹、おなか、腰、しり(尻)、足、腕、手
- ・目、口、鼻、耳、あご、ほお／ほほ(頬)、唇、額、おでこ
- ・ひじ、手首、指 (親指、人差し指、中指、薬指、小指)、指先、つめ(爪)
- ・ひざ、足首、かかと、つま先

(2) 動物の名前と数え方

- ・牛、豚、馬、象、トラ(虎)、ライオン、パンダ : 1 頭、2 頭～
- ・犬、猫、きつね、ねずみ : 1 匹、2 匹～
- ・鳥、はと(鳩)、すずめ、カラス : 1 羽、2 羽～
- ・虫、アリ(蟻) : 1 匹、2 匹～

(3) 「○○中(じゅう)」(※その場所すべて)

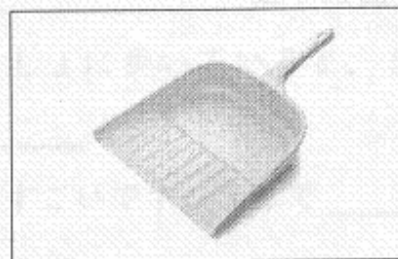
- ・世界中、日本中、町中、村中、学校中、家中

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答え 1 2 3 4



程度・変化(1) 不便な駐車場



ある会社が駅のすぐ近くに3階建ての駐車場を造ったのですが、あまり利用する人がいなかったそうです。料金は1時間300円ですからそんなに高くありません。駅からやや遠いところにも駐車場がありますが、こちらは30分100円です。1時間で比べれば、駅の近くの駐車場のほうがこちらより100円高いです。でも、アパートの家賃もそうですが、駅に近ければ近いほど高くなるのが普通です。

それでは、なぜ駅の近くの駐車場は人気がないのでしょうか。実は、この駐車場にはエレベーターがないので、3階に止めたら階段で降りたり上ったりしなければならぬのです。これがけっこうつらいようです。それで、1階はいつもいっぱい、2階もまあまあ利用があるのですが、3階はほとんど利用されませんでした。困った経営者は何かいい方法はないか考えて、1つのアイデアを思いつきました。上に行けば行くほど料金を安くすることにしました。さっそく2階は1時間200円にして、3階はそれよりさらに50円安くしました。

この方法は大成功でした。今では上のほうほど早くいっぱいになって、1階から3階までいつも「満車」の表示が出ています。少しでも安くなるならエレベーターなんてなくてもいいと考える人が多いのでしょうか。どれくらい安ければ、不便でもかまわないと考えるか、それが問題です。

すぐ(近く) ~建て

料金

やや

それでは

上る

けっこう つらい

いっぱい まあまあ

経営者

アイデア

思いつく さっそく

さらに

大成功 今では

満車 表示



■ 本文設問

- (1) この駐車場はなぜ初めは利用する人があまりいなかったのですか。
 - (2) この駐車場の3階の料金は前はいくらで、今はいくらですか。
 - (3) この駐車場は今はなぜ上のほうほど早く満車になるのですか。
- ◇ いくら安くても、不便だったら利用しないという場合もあるでしょうか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	： ^{りょうきん} 料金 ^{けいえいしゃ} 経営者 アイディア(アイデア) ^{だいせいこう} 大成功 ^{まんしゃ} 満車
い形容詞	： ^{つらい} つらい
名詞/動詞Ⅲ	： ^{ひょうじ} 表示(する)
動詞	： ^{のぼ} 上るⅠ ^{おも} 思いつくⅠ
副詞	： ^{ちか} すぐ(近く) いっぱい さっそく さらに ★今では ★やや ★まあまあ ★けっこう
接続詞	： [★] それでは
その他	： ^だ ～建て

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 建て つらい 上る いっぱい さっそく 思いつく 】

- (1) いい方法を () しました。
- (2) 友だちからおいしいレストランを教えてもらったので、() 行ってみました。
- (3) 自転車でこの坂を () のは大変です。バイクなら楽です。
- (4) もうおなかが () です。
- (5) 友だちは9階 () のマンションの8階に住んでいます。
- (6) 練習が () ので、もうやめようと思っている。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの基本文型・表現)

「程度・変化」の文型・表現 (1)

→ ★ L.13 「程度・変化」の文型・表現 (2)

(1) 程度の疑問副詞

1) どれくらい／どれくらい・・・、どのくらい／どのくらい・・・ *

1. ここから駅までどれくらいかかりますか。
2. きこのパーティーではどのくらい飲んだんですか。

2) どれだけ／どの程度

1. そのダイエットでどれだけやせたんですか。
2. 漢字をどの程度覚えれば、新聞が読めるようになりますか。

(2) ～より どのくらい／どれくらい／どれだけ／どの程度・・・

1. あの新しい店は安いそうですけど、普通の店よりどのくらい安いんですか。
2. コンピューターを使うと、どれくらい速くできるようになりますか。
3. 年末になると、仕事はいつもよりどれだけ忙しくなるんですか。
4. 上級クラスは、このクラスよりどの程度難しいですか。

(3) ～より <程度の副詞 (少し、ずっと、かなり)> ... *

1. 「この箱はそれよりどのくらい大きいですか」「それより少し大きいです」
2. 「北海道はここよりどれくらい寒いですか」「ここよりずっと寒いです」
3. この仕事はいままでの仕事よりかなり大変です。

(4) AはBより／AよりBのほうが <具体的な数字>・・・

1. 私のはほかの人のよりケーキが1つ少ないですよ。
2. 今朝はいつもより1時間早く起きました。
3. こちらのベッドのほうがそれより30センチ長いです。

(5) ～ば～ほど・・・／～なら～ほど・・・ *

1. 安ければ安いほどたくさん売れます。
2. 説明を聞けば聞くほど分からなくなりました。
3. 住むところは、静かなら静かなほどいいです。

(6) ～<名詞>+ほど・・・

1. たいてい質がいいものほど値段も高くなります。
2. 若い人ほどマナーを知らないとお年寄りと言います。
3. 自慢する人ほど本当はあまりできません。

(7) <程度の副詞>

	既 習	新 出
ゼロ	1) *ちっとも、*全然	少しも、全く (→ L.18 本文)
↑	2) *あまり、*そんなに	
↑	3) *少し、*ちょっと	やや(～め)、ほんの (→ L.13 本文)
	4)	まあまあ
	5)	けっこう
↓	6) *かなり、*ずいぶん	だいぶ (→ L.5 本文)、相当 (→ L.7 本文)
↓	7) *とても、*大変	非常に (→ L.6 本文)、すごく (※会話言葉)
最大	8) *いちばん	最も (→ L.16 本文)

1. 全然勉強しなかったなので、きょうの試験は全くできませんでした。
2. 遅く行ったので、スピーチはほんの少ししか聞けませんでした。
3. 今年の新入生は去年よりやや少ない／少なめです。
4. テストの点数はまあまあでした。良くもなかったし、悪くもなかったです。
5. みんなは嫌いだと言いますが、私は納豆がけっこう好きです。
6. だいぶ／相当疲れているようですね。今晚は早く寝たほうがいいですよ。
7. 通訳・ガイド試験は非常に／すごく難しく、合格率は10%くらいです。
8. 富士山は世界で最も形がきれいな山の一つです。

(8) 『今でも』『今では』 (※変化がない場合とある場合)

1. 100年前に建てられた家が今でもここに残っています。
2. それはもう30年前のことですが、今でもよく覚えています。
3. 昔はここに川が流れていましたが、今では全部道路になってしまいました。
4. 5年前までは全然売れない歌手でしたが、今では最も人気がある歌手になりました。

(お)年寄り 自慢(する) 少しも 全く (少な)め ほんの だいぶ 相当 非常に
 すごく 最も 新入生 点数 納豆 通訳(する) ～率 ～% [固有名詞] 富士山
 今でも 流れるⅡ 道路 [表記]『今年』を「ことし」と読む場合がある。

その他の文型・表現

(1) 取り立てる表現

1) <名詞>など (※「例えば」の意味) → L.6本文

1. テレビ番組の中では、ドラマや映画などをよく見ます。
2. 遅くなったときは、レストランなどで晚ご飯を食べてから帰ります。

注) 「~など」は硬い言い方で、口語的な言い方では「~なんか」を使う。

注) 提案する場合の文型 → ★会話文型・表現<8>

2) <名詞>なんて (※否定の文型が表現と一緒に使われて、それを軽くみる気持ちが入る)

1. 試験なんてないほうがいいです。
2. 学歴なんて全然関係ありません。実力があれば大丈夫です。
注) 自分のことについて言うときは謙遜けんそんの用法
3. 私なんてまだまだです。もっと勉強して上手に話せるようになりたいです。

注) 硬い言い方で「~など」、口語的な言い方で「~なんか」も使う

3) <文>なんて (※驚きおどろの気持ちが入る。→ L.10本文)

1. あのまじめな山田さんがあんなことをするなんて信じられません。
2. あのいつも元気な先生が病気で学校を休むなんて。

(2) ~ことにする/した (※自分の意志いしで決めた) → ★L.5「~ことになる」

1. 来年大学の入学試験を受けることにしました。
2. この辞書は古くなったので、新しい辞書を買うことにしました。
3. 週末はちょっと都合がわるいのでパーティーには行かないことにします。
ごめんなさい。

(3) それでは (どうして)・・・ → ★L.7「それでは」(※話題転換わだいてんかん)

それじゃ

- ・ A 「どこか体が悪いんですか」
- B 「いいえ。そうじゃありません」
- A 「それじゃ、どうしていつも寝ているんですか」

■ 文型・表現練習

(1) ~より どのくらい/どれくらい/どれだけ/どの程度・・・

1. 山田さんは弟さんより _____
2. 新しいアパートは _____

3. _____ ば、バスで行くより _____。

(2) ~より <具体的な数字>・・・

1. 病気になって、いつもの体重より _____。
2. 彼の家は私の家より部屋が _____。
3. _____ より1時間 _____。

(3) ~<名詞>+ほど・・・

1. お金持ちほど _____。
2. 古本屋でも、有名な作家の本ほど _____。

(4) 程度の副詞

1. いつもよりやや _____ ので、甘いかもしれません。
2. オリンピックでは _____ はまあまあでしたけど、 _____。
3. 日本ではあまり知られていませんが、 _____ はけっこう _____。
4. さっき薬を飲んだので、だいぶ _____。
5. _____ は最も _____ の一人です。

(5) ~など、~なんて

1. 日本の料理の中では、 _____ や _____ などを _____。
2. たばこなんて _____ ほうがいい。 _____ から。
3. _____ なんて信じられません。

(6) ~ことにする/した

1. 今週はとても忙しかったので、週末は出かけないで、 _____。
2. 初めは _____ 予定でしたが、よく考えて _____。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『私の住んでいる町』：具体的な数字や「程度の副詞」を使って、学校があるところ（／自分の国の町）と比べながら書いてみましょう。
- ・ 『これからの計画』：これから半年／一年くらいの予定について、自分で決めたことについて書いてみましょう。なぜそれをするにしましたか書きましょう。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

(1) 表示

・ 満車 まんしや - 空車 くうしや ・ 満室 まんしつ - 空室 くうしつ

(2) 「～場」の単語

・ 駐車場、運動場、競技場、野球場、ドーム球場、劇場、展示場、(～の)会場

(3) 「お金」と関係のある単語

	～賃	料金 <small>りやう</small> ～料	～代 <small>だい</small>	～費 <small>ひ</small>
電車・バスなど	<u>運賃</u> <small>うんちん</small>	電車／バス(の)料金	電車／バス代	<u>交通費</u> <small>こうつうひ</small>
アパート	家賃	---	部屋代	---
電気・ガス・水道		電気／ガス／水道料金	電気／ガス／水道代	<u>光熱費</u> <small>こうねつひ</small>
映画館・競技場など		(大人)料金 <u>入場料</u> <small>にゆうじやうりやう</small>	---	---
学校		<u>授業料</u> <small>じゅぎやうりやう</small>	---	<u>学費</u> <small>がくひ</small>
生活一般		利用料金 <u>使用料</u> (金) <small>しやうりやう</small> 手数料 <u>送料</u> <small>てすうりやう</small> <u>レンタル料</u> <small>そうりやう</small> <small>りやう</small>	食事代 飲み物代 洋服代 電話代	<u>食費</u> <small>しょくひ</small> <u>生活費</u> <small>せいかつひ</small>
仕事・アルバイト		給料 (<u>※時給</u> <small>じきゆう</small> <u>月給</u> <small>げつきゆう</small>)	---	---

※時給：1時間の給料 月給：1か月の給料

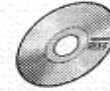
■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選びなさい。

答え 1 2 3 4

対比・逆接(1) アナウンスと親切



ある人が鉄道会社に行って文句を言ったそうです。「駅のホームと車内の放送はなんとかなりませんか。電車に乗るたびに同じことを聞かされて、うるさいんです」と。しかし、駅員は「お気持ちは分かります。確かにうるさいと思う方もいらっしゃいます。ですけれども、初めて乗る人やまだ慣れていない人のために必要なんです。どうぞご理解ください」と答えたそうです。

私自身も初めて行ったところでは、乗り換えの案内や次はこの駅かアナウンスがあったほうが便利だと思っていました。ですから、私はこの駅員の説明を聞いて、それは安全のために必要だし、それが公共の場所のサービスだと思いました。ところが、それはちょっと変だと思う人がいるようです。

ヨーロッパに住んだことがある友人は私と違って、あれは本当に迷惑だと思っています。例えば、パリの地下鉄は複雑だけれども、全然放送が流れないそうです。それはずいぶんと不親切だなと私は思うのですが、彼は周りの人が困っている人を助けてあげれば「騒音」は要らないと言います。

私は毎日電車で通勤していますが、その「騒音」にすっかり慣れてしまって何も感じなくなってしまうようです。でも、彼の話聞いて、公共の場所についての考え方が国によって違うのかもしれないと思いました。

鉄道 文句
ホーム 車内
なんとかなる
確かに
ですけれども
理解
自身
アナウンス

公共 ところが

友人
迷惑 例えば
けれども
不親切 助ける

通勤 すっかり



■ 本文設問

- (1) 文句を言いに行った人は鉄道会社にどうしてもらいたいのですか。
 (2) 筆者と駅員の考え方は同じですか。違いますか。
 (3) 友人は駅や車内のアナウンスが必要だと思っていますか。それはなぜですか。
 ◇ 公共の場所でのアナウンスについて、人(国)によってどのように考え方が違うでしょうか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	：鉄道 <small>てつどう</small> 文句 <small>もんく</small> ホーム <small>しょうむ</small> 車内 <small>しゃない</small> 自身 <small>じしん</small> 公共 <small>こうきょう</small> 友人 <small>ゆうじん</small>
な形容詞	：迷惑 <small>めいわく</small> (→迷惑する) 不親切 <small>ふしんせつ</small>
名詞／動詞Ⅲ	：理解 <small>りかい</small> (する) アナウンス(する) 通勤 <small>つうきん</small> (する)
動詞	：助ける <small>たす</small> Ⅱ
副詞	：確かに <small>たし</small> すっかり
接続詞	：例えば <small>たど</small> ★ところが ★ですけれども ★～けれども
その他	：なんとか(なる)

[基本動詞の用法]

- ・(放送が)流れる

[自動詞と他動詞]

「助かるⅠ」／「助けるⅡ」

- ・手伝ってもらって助かった。大事故だいだったが、一人だけ助かった。
- ・困っている人を助ける。

「流れるⅡ」／「流すⅠ」

- ・川が流れている。
- ・このレバーを押して、水を流す。

「乗るⅠ」／「乗せるⅡ」

- ・車に乗る。／人を車に乗せる。

「なんとなかなる」／「なんとなかする」

- ・「なんとなかなりませんか」／「なんとなかなるでしょう」
- ・「なんとなかしてください」／「なんとなかしましょう」

第4課 対比・逆接(1) アナウンスと親切

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 確かに(2回使う) 例えば すっかり なんとか】

- (1) A 「日本人はみんな親切ですね」
B 「() たいていの人
- (2) 日本料理もよく食べます。()、てんぷらとかさしみとかです。
- (3) 彼はお酒を飲みすぎて() 酔ってしまいました。
- (4) 「となりの教室がうるさくて勉強できません。() なりませんか」
- (5) A 「これはあなたが先日なくした財布じゃありませんか」
B 「ええ、() これは私の財布です。どこで見つけたんですか」

【 文句 迷惑 助ける 流れる* 理解 】 * 印は既習

- (1) 人の() になることはしてはいけません。
- (2) 困っている人を見たら、() あげましょう。
- (3) この説明は難しすぎて、よく() できませんでした。
- (4) そんなに() を言うなら、あなた一人でしたらどうですか。
- (5) 喫茶店ではクラシック音楽が() いました。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの文型・表現)

「対比・逆接」の文型・表現 (1) → ★L14 「対比・逆接」の文型・表現 (2)

(1) <対比・逆接の接続詞>を使って文をつなげる

注) 対比の場合には「Aは～、Bは～」 「XはAは～、Bは～」の文型になることが多い。

- 1) (Aは)・・・が、・・・。(※文は普通体も丁寧体もある) *
1. このケーキはかなり甘いですが、それはそんなに甘くありません。
 2. そのレストランの料理はとてもおいしいが、みんな値段が高い。

(※2~4の文は普通体も丁寧体もある)

2) (Aは)・・・けど、・・・。(※話し言葉) *

・日本語の勉強はおもしろいですが、漢字の勉強が大変です。

3) (Aは)・・・けれども(も)、・・・。

・きょう友達の家に行きましたけれども(も)、だれもいませんでした。

4) (Aは)・・・けれどもも、・・・。(※硬い表現)

・きのうはとても暑かった。けれども、きょうはけっこう涼しい。

注) 1~3は<前置き>の用法もある。

・山田と申しますが、キムさんはいらっしゃいますか。

・おかしを買ってきたんですけど、みんなで食べませんか。

5) (Aは)・・・だが、・・・。(※書き言葉：文は普通体)

・私は留学したかった。だが、両親は強く反対した。

6) (Aは)・・・ですけれども、・・・。(※丁寧な話し言葉：文は丁寧体)

・みなさんの考えはよく分かりました。ですけれども、私はもう少し頑張ってみます。

7) (Aは)・・・でも、・・・。(※文は普通体も丁寧体もある) *

1. いま住んでいるマンションは駅から近くて便利です。でも、とても古いです。

2. この車はデザインはとてもいい。でも、色がちょっと気に入らない。

8) (Aは)・・・しかし、・・・。(※文は普通体も丁寧体もある ※硬い表現) *

1. この商品は有名なブランドではありません。しかし、品質は非常に良いです。

2. あの学生は作文は全くだめだ。しかし、会話はまるで日本人のように上手だ。

9) (Aは)・・・ところが、・・・。(※意外な気持ち ※文は普通体も丁寧体もある)

1. ほかの人はみんな出かけました。ところが、彼は一人だけ家に残りました。

2. その家にはだれも住んでいなかった。ところが、夜になると中から変な声が聞こえた。

(※「のに」を使うと意外な気持ちが強くなる)

10) (Aは)・・・のに、・・・。(※前の文は普通体) *

・あの人は、雨が降っているのに、傘をささないで歩いている。

だが(→L6本文) 気に入る 商品 ブランド 品質

第4課 対比・逆接(1) アナウンスと親切

11) (Aは)……。それなのに、……。 (※文は普通体も丁寧体もある)

・一生懸命いっしょうけんめいお願いしました。それなのに、友達は何もしてくれませんでした。

(2) 『違う』『違い』

1) AはBと違って……

1. 兄は私と違って、とても暗い性格です。
2. チンパンジーは頭がいいですが、人間と違って、文字を使うことはできません。

2) AとB(と)の違いは……。 (という) ことです (→ 長文読解<1>)

1. このテレビとそれとの違いは、こちらのほうがサイズが少し大きいことです。
2. 和語と漢語の違いは、和語のほうが基本的な意味を表す言葉が多いということです。

3) AがBと違うのは……。 (という) 点です

・プロがアマチュア選手と違うのは、プロはそれでお金をもらって生活している点です。

注「点」がところ、物事を表す → ★L2「～ところ」、(→ 長文読解<1>、L20 本文)

その他の文型・表現

(1) ～たびに (※～(スル)といつも、～の時はいつも)

1. この写真を見るたびに、あの人のことを思い出します。
2. 意味がわからない単語があるたびに、辞書で調べます。
3. あの学生は試験のたびに、学校を休みます。
4. あの女性はパーティーのたびに、新しいドレスを買うそうです。

(2) 使役受け身文

1. 子どもは母親に嫌いなものを食べさせられました。(Ⅱグループ：～させられる)
2. 私は部長にカラオケを歌わせられました。(Ⅰグループ/長い形：～せられる)
3. 歌わされました。(Ⅰグループ/短い形：～される)
4. みんなの前で話させられました。(※「話す」は長い形だけ)
5. 日曜日なのに会社に来させられました。(「来る」)
6. 父の手伝いをさせられました。(「する」)

注「使役て形+もらう」の文型との意味の違いに注意。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. ・行かせられる | ・行かせてもらう |
| 2. ・歌を歌わせられる | ・歌を歌わせてもらう |
| 3. ・仕事をさせられる | ・仕事をさせてもらう |

それなのに 違い チンパンジー 人間 文字 和語 漢語 基本的
点(=物事、ところ) プロ アマチュア 選手 単語 ドレス 部長

■ 文型・表現練習

(1) <対比・逆接の接続詞>を使って

1. 日本では車のハンドルは_____が、_____。
2. イギリスに住んでいる友達に_____けれど、全然返事がない。
3. 半年前は_____。だが、今は_____。
4. あのスーパーは_____。でも、値段がほかのスーパーより少し高いです。
5. この映画はストーリーはとてもいい。しかし、_____。
6. 何時間もかかって、やっと料理を作りました。ところが、_____。
7. 日本語の勉強は、初めは_____。ところが、_____。
8. 筆記試験は_____のに、面接試験_____。

(2) AはBと違って・・・ AとBの違いは・・・

1. 母は父と違って、_____。
2. 都会は田舎いなかと違って、_____。
3. サッカーとラグビーの違いは、_____。
4. 日本の家と私の国の家の違いは、_____。

(3) ～たびに

1. あの人は私に会うたびに_____。ですから、会いたくありません。
2. 母は私が_____たびにとても心配します。もう大人ですから心配は要りません。

第4課 対比・逆接(1) アナウンスと親切

(4) 使役受け身文

1. 私はお酒は飲めないのですが、_____。
2. 私はデパートの前で友達と会う約束をしたのですが、1時間も_____。
3. 先生に教科書の本文を全部_____ので、見ないで全部言えます。
4. 学生るとき_____。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『私の家族』: 父と母、兄弟を比べて、その違いを書いてみましょう。
- ・ 『驚いたこと』: 「ところが」を使って意外に思ったことを書いてみましょう。
- ・ 『大変だったこと』: 「使役受け身」を使って大変だったことを書いてみましょう。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

(1) 「〇〇員」の単語

会社員、(～の) 社員、従業員、事務員、職員、店員、駅員、(国会) 議員、係員、公務員

(2) 会社の種類 (〇〇会社)

鉄道会社、航空会社、電力会社、貿易会社、旅行会社、製造会社 (=メーカー)、商社、(放送局、ラジオ局)

(3) 産業の名前

農業、漁業、林業、工業、サービス業、ハイテク産業、宇宙産業、シルバー産業

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選びなさい。

答え 1 2 3 4

本文 驚く I 意外(な／に)

伝聞(1) タイムカプセル



20世紀が終わりに近づいていたころ、テレビでも新聞でも「この100年間を振り返る」という特集がありました。人間の寿命はだいぶ長くなりましたが、次の特集を見ることができる人はそんなに多くないでしょう。でも、専門家の話では医療技術が進歩すれば、人間の寿命もある程度延ばすことが可能だそうです。それに、人間を冷凍しておいて、何百年も後に元に戻すこともできるようになるそうです。本当にそんなことができるかどうか分かりませんが、もし私が冷凍人間になったら5千年後にしたいことがあります。

大阪城公園に埋められているタイムカプセルが6970年に開けられる時に、そこに行ってみたいのです。このタイムカプセルは1970年に大阪で開かれた万国博覧会を記念して造られたものです。[注]新聞によると、直径1メートルくらいの球が2つ埋められていて、その中に当時の科学技術や生活、社会、芸術のことがわかるような物が入っているらしいです。

5千年もたつと埋めてあることを忘れてしまうかもしれないし、中の状態も心配なので、2つのうち1つは100年ごとに開けることになっています。20世紀の最後の年にも一度開けられましたが、中身は大丈夫だったということです。5千年後の人はこれを見てどう思うのでしょうか。その感想をぜひ聞きたいのです。

<第1号機>		<第2号機>	
埋められた年	1971年	埋められた年	1971年
↓	↓	第1回確認	2000年
		第2回確認	2100年
		第3回確認	2200年
		⋮	⋮
		⋮	⋮
開けられる年	6970年	第50回確認	6900年
		最後に開けられる年	6970年

世紀 近づく
この 振り返る
特集 寿命
専門家 医療
進歩 ある程度
延ばす 可能
冷凍

大阪城 埋める
タイムカプセル
万国博覧会 記念
直径 球
当時
芸術
たつ
状態 うち ごと

中身
感想

[注]
1970年万国博覧会で
展示された後、71年に
埋められた。

■ 本文設問

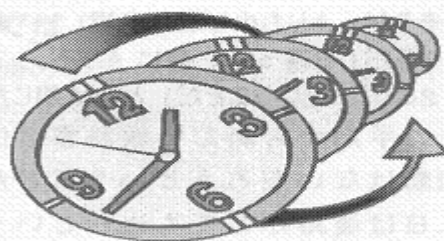
- (1) 「次の特集」というのはいつごろあるのですか。
 (2) このタイムカプセルの中には何が入っているのですか。
 (3) 筆者が冷凍人間になったら、何をしたいと思っていますか。
 ◇ 冷凍人間は5千年後の人からどんな感想を聞くでしょうか。自由に考えてください。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	：世紀 <small>せいき</small> 寿命 <small>じゆみよう</small> 専門家 <small>せんもんか</small> 医療 <small>いりよう</small> タイムカプセル <small>たいむかぷせる</small> 万国博覧会 <small>ばんこくはくらんかい</small>
	直径 <small>ちよっけい</small> 球 <small>きゅう</small> 当時 <small>とうじ</small> 芸術 <small>げいじゆつ</small> 状態 <small>じょうたい</small> 中身 <small>なかみ</small> 感想 <small>かんそう</small>
な形容詞	：可能 <small>かのう</small>
名詞／動詞Ⅲ	：特集(する) <small>とくしゆ</small> 進歩(する) <small>しんぽ</small> 冷凍(する) <small>れいとう</small> 記念(する) <small>きねん</small>
動詞	：近づくⅠ <small>ちか</small> 振り返るⅠ <small>ふりかへる</small> 延ばすⅠ <small>のばす</small> 埋めるⅡ <small>うめる</small> (時間が) たつⅠ
副詞	：ある程度 <small>ていど</small>
その他	：この(10年) (～の)うち ★～ごとに [固有名詞] 大阪城 <small>おおさかじょう</small>

[自動詞と他動詞]

- 「延びるⅡ」／「延ばすⅠ」
 ・ 会議の期間が1日延びる。
 ・ 締切を1週間延ばす。
 「伸びるⅡ」／「伸ばすⅠ」
 ・ 背が伸びる。
 ・ 髪／つめを伸ばす。



の 延びる 期間 きかん 締切(←締め切るⅠ) しめきり 伸びる 伸ばす しき

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 たつ 近づく 記念 中身 感想 当時は この うち ある程度 】

- (1) 試験の日が () います。
- (2) 空港で係員がかばんの () を調べています。
- (3) 日本語を半年勉強して、新聞が () 読めるようになりました。
- (4) 5年前は私は高校生でしたが、() まだインターネットをしている人は少なかったです。
- (5) この本を読んだら、ぜひ () を聞かせてください。
- (6) もう日本に来て3年が () 。
- (7) () 1週間、いい天気が続いています。
- (8) 卒業の () にみんなで温泉旅行に行くことにした。
- (9) 二人の () どちらか一人はここに残ってください。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの文型・表現)

「伝聞」の文型・表現 (1) → ★L15「伝聞」の文型・表現 (2)

(1) ~そうだ *

(※得た情報をそのまま伝える表現)

1. 今年の社員旅行は四国にある温泉だそうです。
2. ヘレンさんはきょうの会議に出席できないそうです。

(2) ~ということだ

(※「そうだ」よりも少し硬い表現) → ★L15「~とのことだ」

(※「そうだ」と違って、前に「だろう」をつけたり、過去の形で使うことができる)

(※L2の「~ということだ」と形は同じだが、用法が違う)

1. 次の学期から新しい教科書を使うということです。
2. 転勤はないだろうということだったが、急にアメリカに行くことになった。
3. 土日は道路がとても込むということなので、電車で行こうと思っている。

(3) ～らしい

(※「～そうだ」と違って、それを自分の頭で一度整理して伝える)

(※接続は名詞の現在形のほかはすべて普通形を使う)

1. 新しい先生は九州の人らしい／独身ではないらしいです。 (※名詞)
2. 山田先生の家は遠いらしい／あまり広くないらしいです。 (※い形容詞)
3. あの人は犬を飼っているらしい／仕事をしていないらしい。 (※動詞)
4. 彼はかぜをひいて学校を休んだらしい。／病院には行かなかったらしい。

(4) <情報のもと>を示す表現

1) ～によると・・・ *

1. 天気予報によると、今晚は雪が降るそうです。
2. スミスさんの手紙によると、今年には日本には来られないそうだ。
3. 政府の発表によると、今後3年間で消費税を3%上げるとのことだ。

2) ～によれば・・・

・新聞によれば、きのうの地震でおおぜいの人々が亡くなったそうだ。

3) ～の話では・・・

・専門家の話では、10年後くらいには普通の人も月旅行に行けるといことです。

4) (新聞)で読んだんですが、・・・ / (テレビ)で見たんですが、・・・ *

1. 新聞で読んだんですが、新しい法律ができて、冷蔵庫や洗濯機を捨てる時には2,000円くらいお金を払うことになったらしいですね。
2. テレビのドキュメンタリー番組で見たんですが、結婚しない女性が増えているらしいですね。

5) ～から聞いたんですが、・・・ *

・大学で教えている友人から聞いたんですが、最近では大学の講義の時にも携帯電話でメールをしている学生がけっこういるそうですよ。

6) ～から聞いたところによると／ところでは

・山田さんから聞いたところによると、彼の会社は経営があまりよくないらしい。ボーナスもいつもの半分しか出なかったそうだ。

7) 聞くところによると

(※だれから聞いたかを言わない場合 ※過去のことで「聞く」の形を使う)

- ・聞くところによると、この辺は今はにぎやかですが、昔は何もなかったそうです。

その他の文型・表現

(1) ～ことになった

(※結果の報告／自分の意志だけではない) → ★L3「ことにした」

1. 来月、帰国することになりました。本当にお世話になりました。
2. 電車が止まってしまったので、家まで5キロも歩くことになった。
3. 用事がキャンセルになったので、週末にはみんなといっしょに旅行に行けることになった。

(2) ～ことになっている (※決められていること、予定、規則)

→ ★L6「～ようになっている」 → ★会話の文型・表現<7>

1. 社長は来週の月曜日に戻られることになっています。
2. ここではたばこを吸ってはいけないことになっています。ご協力お願いします。
3. 1週間後にもう一度病院で検査を受けることになっている。

(3) ～ことになる (※当然の結果)

1. そんなことをしたら、会社をやめなければならないことになりますよ。
2. 学歴社会ではいい大学を卒業した人がいい会社に入れることになる。

(4) ～ごとに

1. オリンピックは4年ごとに開かれます。(=4年に1回)
2. 1時間ごとに会社に連絡することになっている。
3. 道の両側には3メートルごとに木が植えられている。

■ 文型・表現練習

(1) ～ということだ

1. _____によると、今デパートでは_____。
2. _____の話では、日本の経済は_____。
3. あるアンケートの結果によると、最近の子どもは_____。
4. 国にいる友達から_____。
5. 聞くところによると_____。
6. _____ということだったが、お昼から雨になった。
7. _____ということなので、私は買わないつもりです。

(2) ～らしい

1. 山田さんの息子さん、_____ですね。本当にうらやましいです。
2. 天気予報によると、今年の冬は_____。
3. 日本ではお正月に_____ですね。
とても興味があります。詳しく教えてください。

(3) ～ことになった

1. 今度転勤で_____。
2. きょうは雨で中止になりましたが、_____。
3. 都心のマンションは高くて無理だと思っていたのですが、_____
_____ので買えることになりました。

(4) ～ことになっている

1. 今月は1週間くらい仕事で_____。
2. この学校の規則では、_____。

時(1) 夢の自動運転

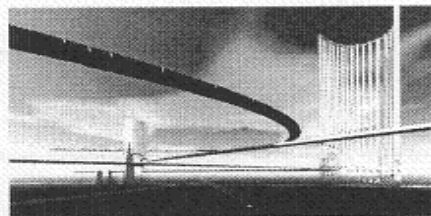


高速道路は便利だが、普通の道路と比べると運転が単調になるので、長時間走っていると眠くなる。スピードが出ているので、ちょっとした不注意で大事故が起こることがある。運転手もほかの人たちと楽しく話をしながら運転できれば、そんなに眠くなることはないかもしれない。だが、運転中は前を見ていなければ非常に危険だ。ほかの人が寝てしまって、目的地に着くまでずっと一人だけ起きているのもつらい。いけないと思っても、ついうとうとしてしまう。

たいていは事故を起こさないように、眠くなった時には運転を途中で代わってもらったり、休憩をとったりする。しかし、近い将来にそんなことは必要なくなるかもしれないらしい。

SF映画などでは見たことがあると思うが、自動車の自動運転の研究が現在進められている。この技術を使えば、高速道路では入口から出口まで運転手が何もしなくても走ってくれる。周りの車との距離をセンサーで測って衝突しないようになっている。出口に近づいたら運転手に知らせてくれるから心配いらない。もちろん走っている間にトイレに行きたくなったら、一番近くの休憩所に入ってくれる。

例えば、夜に九州を出発して、一晩中高速道路を走り続けて東京まで行く時にも、みんなぐっすり寝ていれば疲れることはないだろう。しかし、あなたはそんな車でぐっすり寝ることができるだろうか。いくら安全だと言われても私にはそんな勇気はない。



高速道路 単調
長時間 スピード
ちょっとした
不注意 起こる
運転手 ~たち

目的地
ついうとうと

途中 代わる
近い

SF映画 自動
現在 進める

距離 センサー
衝突
間

休憩所
一晩中 ~続ける
ぐっすり

勇気

■ 本文設問

- (1) 高速道路で運転していると、どうして眠くなりますか。
 (2) 今研究されている技術を使えば、家から目的地まで自動運転できるようになりますか。
 (3) 自動運転が実用化されたら、どんなことができるようになりますか。
 ◇ あなたはこの技術が完成したら、自動運転を利用しますか。なぜですか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	こうそくどうろ 高速道路	すぴーど スピード	ふちゅうい 不注意	うんでんしゆ 運転手	もくてきち 目的地	とちゅう 途中	えいが SF映画
	じどう 自動	げんざい 現在	きょり 距離	せんさー センサー	きゅうけいじょ 休憩所	ゆうき 勇気	
な形容詞	たんちよう 単調						
い形容詞	ちか 近い(将来)						
名詞/動詞Ⅲ	しやうとつ 衝突(する)						
動詞	おこるⅠ 起こるⅠ	か 代わるⅠ	すす 進めるⅡ				
			[補助動詞]★～続ける				
副詞	ちようじかん 長時間	★つい	うとうと(する)	★一晩中	ぐっすり		
その他	ちよっとした	(～人)たち	★～間	(※時間の意味)			

[基本動詞の用法]

- ・(スピードが)出る (休憩を)とる

[自動詞と他動詞]

「起きるⅡ」 / 「起こすⅠ」

「起こるⅠ」

- ・人が起きる / を起こす。
- ・事故が起きる、事故が起こる / を起こす。

「代わるⅠ」 / 「代えるⅡ」

- ・選手が代わる / を代える。
- ・～の代わりに～ → ★会話の文型・表現<2>

「進むⅠ」 / 「進めるⅡ」

- ・研究が進む / を進める
- ・まっすぐ進む

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【ちょっとした 起こる 途中で 衝突する ぐっすり 距離 休憩* スピード】 * 印は既習

- (1) () 寝ていたので、泥棒どろぼうが入ったことに気がつかなかった。
- (2) 雨が降り始めたころに一番事故が () やすい。
- (3) ここからあそこまでの () を測ったら、2.5キロあった。
- (4) アルバイトは5時間ですが、()、30分の () をとります。
- (5) あの夫婦は () ことでいつもけんかしています。
- (6) その車がトラックと () 時にはかなり () が出ていたので大事故になった。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの文型・表現)

「時」の文型・表現 (1) → ★L.16「時」の文型・表現 (2)

(1) ～する／した時・・・ * ※辞書形とた形の使い方の違いに注意

1. いつもご飯を食きのうべる時、はしを使う。
昨日もご飯を食きのうべる時、はしを使った。
2. いつもご飯を食きのうべる時、手を洗う。
昨日もご飯を食きのうべる時、手を洗った。
3. いつもご飯を食あすべた時、歯をみがく。
昨日もご飯を食あすべた時、歯をみがいた。
4. 明日山田さんに会あすった時に、これを(山田さんに)渡す。
5. 昨日学校に行く時きのうに、(車で)キムさんに会った。

(2) <名詞>+まで・・・ *

・これから図書館に行って、4時まで勉強します。

(3) <動詞辞書形>+まで・・・

1. 授業が始まるまで、休憩室でお茶を飲んでいました。
2. 雨がやむまで、喫茶店でお茶を飲みながら待ちましょう。

夫婦ふうふ 明日あす(※「あした」の硬い表現) 休憩室きゅうけいしつ [表記]『明日』は「あす」と読む場合と「みょうにち」と読む場合がある。 [表記]『昨日』は「きのう」と読む場合と「さくじつ」と読む場合がある。

(4) <名詞>+までに・・・ *

- ・今週の金曜日までに宿題を出してください。

(5) <動詞辞書形>+までに・・・

1. 子どもたちが学校から帰るまでに部屋のそうじをしておきます。
2. 帰国するまでにできるだけいろいろなところを旅行したい。
3. 授業が始まるまでに、急いで宿題を済ませた。

(6) ～間(あいだ)・・・

1. 休みの間、ずっと家にいて好きな小説を読んでいました。
2. 私が買い物している間、ここで待っていてください。
3. 母が出張で家にいない間、私がみんなの食事を作った。

(7) ～間(あいだ)に・・・ → ★L16「～うちに」

1. 夏休みの間に、日本の大学についていろいろ調べてみるつもりです。
2. 日本にいる間に、ぜひ一度京都と奈良^{なら}に行ってみたいです。
3. 家族で旅行に行ったらだれもいない間に、泥棒が入ったそうだ。

(8) 「○○中(ちゅう)」の単語 * (※動作進行中) → L2関連語「～中(じゅう)」

会議中、営業中、出張中、勉強中、使用中、試験中、食事中、電話中、休憩中

1. 今、試験中ですから教室の中に入ることはできません。
2. お願いですから、食事中に新聞を読まないでください。
3. 店のドアのところに「営業中」の表示が出ていた。

(9) 「○○中(ちゅう)に」の単語(※その期間に)

午前中に*、夏休み中に、ゴールデンウィーク中に

- ・夏休み中に一度帰国する予定です。

(10) 「○○中(じゅう)に」の単語(※その期間に)

今日^{きょう}中に、今週中に、今月中に、今年^{ことし}中に

1. 今日中にこの仕事を片付けよう。
2. このビルは今年中に完成する予定です。

注)「今週」「今月」は「～ちゅうに」という読み方もある。

(11) 「○○中(じゅう)」の単語(※その期間ずっと)

一日中、一晩中、一年中

1. きょうは一日中雨が降っていました。

第6課 時(1) 夢の自動運転

2. 隣の犬が一晩中鳴いて、全然眠れませんでした。
3. この国は一年中暖かくて、生活しやすいです。

(12) 補助動詞 注) 前の動詞には自動詞も他動詞も使う。〈動詞(ます形)〉

1) ~始める

1. 料理の本を見ながら作り始めたけれども、すぐにあきらめてコンビニへ買いに行った。
2. 仕事をしないでぶらぶらしていた友人はこのままでは良くないと考え始めたようだ。
3. パーティーが終わって、お客が少しずつ帰り始めた。

2) ~続ける

1. あの人、もう3時間も電話で話し続けていますよ。
2. あの作家は10年間も同じテーマで書き続けている。
注)「雨」の場合には「~続く」を使う
3. きのう降り始めた雨はまだ降り続けている。

3) ~終わる

1. 2時間かかって、やっと作文を書き終わった。
2. 朝から読み始めて、読み終わったのは夜中だった。
3. 全部洗い終わったら、今度はきれいにふいてください。

4) ~出す

(※「~始める」と違って、予想していなかったことが『急に起こる』の意味が入っている)
(※自分で「~しよう」と思って始める時には普通使わない)

1. 急に雨が降り出した。
2. 私の顔を見て、赤ちゃんが泣き出した。
3. 山田さんはさっきまでベンチで休んでいたけど、急に立って走り出した。

その他の文型・表現

(1) ~ようになっている (※仕組、構造) →「~ようになる」*

1. ここにお金を入れると、下から商品が出るようになっている。
2. 矢印のとおりに進めば、そこに行けるようになっている。
3. だれかが窓を割って入ると、非常ベルが鳴るようになっている。

鳴く I ~始める コンビニ ぶらぶら(する) テーマ ~終わる 夜中 なく I
出す ベンチ 割る I (⇔割れる II *) 非常ベル 鳴る I

(2) <動詞辞書形／ない形>ことがある → 「<動詞た形>ことがある」*

(※そういうことが今まであったし、これからもあるだろう／※回数は少ない)

1. 田中さんとはたまに飲みに行くことがあります。
2. 私は日本に来てから、夜ときどき眠れないことがあります。
3. たばこの火が原因で山火事になることがあります。

(3) 『つい』

(※無意識にする／してはいけないと思っ^ていてもそれをしてしまう場合によく使う)

→ ★L.10「思わず」、L.20「うっかり」

1. 甘いものが大好きで、ケーキなどを見るとつい手が伸びる。
2. 腹が立ったので、ついなぐってしまった。

■ 文型・表現練習

(1) <動詞>+まで・・・

1. 子どもたちは公園で_____まで遊んでいた。
2. その犬は主人が「_____」と言うまで_____。

(2) <動詞>+までに・・・

1. 宿題をやって来なかったので、_____までにやっ^てしまおう。
2. A「私が_____までに、必要な書類を_____くださいね」
B「はい、わかりました。やっ^ておきます」

(3) ～間・・・

1. 冬休みの間、_____。
2. 友達は_____間、ずっとお菓子を食べていた。

(4) ～間に・・・

1. ゆうべ_____間に、地震が3回あったそうだが、全然気がつかなかった。
2. 私がちょっとトイレに行っている間に、_____。

第6課 時(1) 夢の自動運転

(5) ～中、～中に

1. きょうは一日中_____。
2. このレポートは_____のに、まだ半分しか終わっていない。
3. 高橋部長は_____中で、出社は来週になる予定です。
4. もし_____たら、あしたしてもいいですよ。

(6) ～始める、～続ける、～終わる

1. 10年くらい前から、都会にカラスが_____。カラスは、飲食店などが出すゴミをえきえきにしているようだ。
2. 途中で苦しくなったのでやめようと思ったけど、ゴールまで_____。
3. これから作文を書いてもらいます。_____人は帰ってもいいですよ。

(7) ～ようになっている

1. [コーヒーの自動販売機] このボタンを押すと、自動的に紙コップが出て、その後_____。
2. この英語の教科書にはCDがついているので、聞く練習も_____。

(8) ～ことがある

1. 朝はたいていパンを食べますが、_____。
2. 新宿駅しんじゅくのように人が大勢集まるところで待ち合わせおおぜいをすると、_____。
3. 私はたまに_____。

(9) つい

1. ウィンドーショッピングウィンドーショッピングしていて、欲しいものがあるついでとつい_____。
2. 妹の日記が机の上にあったので、つい_____。

しゅっしや たいしや じどうてき
出社(する) (⇔) 退社(する) ゴール 自動的に 待ち合わせ(する)
ウィンドーショッピング(する)

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『しなければならぬこと』：いつまでに何をしなければならぬか書いてみましょう。(今日/今週/今月中にしなければならぬことがあったらそれも書きましょう。)
- ・ 『日本にいる間に』：日本にいる間にしたいことについて書いてみましょう。
- ・ 『ついしてしまうこと』：「してはいけないと思っ^ていてもついしてしまうこと」について書いてみましょう。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 自動車に関する単語

- ・ 走る、止まる、止める、曲がる、駐車する、(車庫=ガレージに)入れる
- ・ 急ブレーキ、ブレーキを踏む/かける、アクセルを踏む、ハンドルを握る/切る、エンジンをかける/止める、エンスト(する)
- ・ スピードが出る(を出す)、スピードが落ちる(を落とす)
- ・ 衝突する、ぶつかる
- ・ スリップ(する)
- ・ (人を)ひく

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答え 1 2 3 4

様子・推測(1) ギネスブックに挑戦



様々な分野の世界一の記録を集めた『ギネスブック』という本がある。この本を見ると、人間は実にいろいろなことに挑戦していることが分かる。

スポーツの世界では、厳しい練習を重ねて人間の体の限界に挑戦する。もう破られそうもないと思っていた記録が破られて、世界新記録が誕生する。物づくりの世界では、高い技術によって2ミリ以下の小さい本が作られる。



これらはとても普通の人にはできないことだが、ギネスブックにはやればできそうなこともけっこう載っている。例えば、みんなで協力して世界一長いホットドッグや世界一大きいピザを作る。これ以外にも食べ物の世界一はいろいろある。出来上がったものを見るとあまりおいしくなさそうだが、作るのは楽しそうだ。しかし、中にはほかにはだれもやりそうにないことも載っている。飲んだ牛乳を目から出して、できるだけ遠くへ飛ばす。だれがこの世界記録に挑戦してみようと思うだろうか。

それでは、だれでも簡単に世界記録に挑戦できるものを紹介しよう。ノートくらいの大さきの紙を用意して、それを半分に折る。そして、また半分に折る。それを何回繰り返せるか。10回以上できたらギネスブックに申請してみてもいいだろう。簡単にできそうな気がするけれども、実は7回くらいでも相当難しい。

(紙の厚さを0.1ミリとすると25回で富士山くらいの高さになるはずだ。)

様々な分野
世界一の記録
ギネスブック
実に挑戦
重ねる限界
破る
新記録誕生
物づくり

(これらとても
載る
ホットドッグ
ピザ以外
出来上がる

遠く飛ばす

それでは

繰り返す

以上申請する

気がする

0.1

■ 本文設問

- (1) 筆者はどんなことが普通の人にはできないことで、どんなことができそうなことだと考えていますか。それぞれ二つずつ挙げてください。
- (2) 世界一長いホットドッグは一人で挑戦するのですか。
- (3) 筆者は「牛乳を目から出して遠くへ飛ばす」ことに挑戦しようと思っていますか。
- ◇ 野球場くらいの大きさの紙を用意したら25回くらい折れそうですか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	：分野 ^{ぶんや} 世界一 ^{せかいいち} 記録 ^{きろく} 限界 ^{げんかい} 新記録 ^{しんきろく} 物づくり ^{もの} ホットドッグ
	ピザ ^{ピザ} 遠く ^{とおく}
な形容詞	：様々 ^{さまさま}
名詞／動詞Ⅲ	：挑戦(する) ^{ちようせん} 誕生(する) ^{たんじょう} 申請(する) ^{しんせい}
動詞	：重ねるⅡ ^{かさ} 破るⅠ ^{やぶ} 載るⅠ ^の 出来上がるⅠ ^{できあ} 飛ばすⅠ ^と 繰り返すⅠ ^{くかえ}
副詞	：実に ^{じつ} とても(～ない)
接続詞	：★それでは
その他	：(これ)ら ^さ 気がする ^{れいてんいち} 0.1(→関連語) ★～以外 ^{いがい}
	[固有名詞] ギネスブック

【自動詞と他動詞】

「破れるⅡ」／「破るⅠ」

- ・紙が破れる／を破る。
- ・約束を破る。(⇔守るⅠ)

「重なるⅠ」／「重ねるⅠ」

- ・箱が重なっている／を重ねてある。

「載るⅠ」／「載せるⅡ」

- ・雑誌に記事が載る／を載せる。

「飛ぶⅠ」／「飛ばすⅠ」

- ・ボールが飛ぶ／を飛ばす。
- ・飛行機が飛ぶ。

第7課 様子・推測(1) ギネスブックに挑戦

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 とても 実に 限界 気がする 】

- (1) もう () です。これ以上食べられません。おなかがいっぱいです。
(2) 急いで行っても、() 間に合いそうもありませんね。
(3) それなら私にもできそうな ()。
(4) ここは () 景色が美しいところだ。世界一だと思う。

【 載る 重ねる(2回使う) 繰り返す 破る(2回使う) 】

- (1) とても寒かったので、服を何枚も () 着た。
(2) 同じ失敗を何回も () はいけません。
(3) あの選手の記録を () ために厳しい練習を ()。
(4) きょうの事故のニュースが今朝の新聞に () いた。
(5) 彼女はその手紙を ()、ごみ箱に捨ててしまった。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの文型・表現)

「様子・推測」の文型・表現 (1)

→ ★L17「様子・推測」の文型・表現 (2)

- (1) ～そうだ (※今の様子を見て、その物、人がどうであるか推測する) *
1. そのネクタイ、とても高そうですね。ブランド物ですか。 (※い形容詞)
 2. 田中さんは暇そうですね。さっきから何もしていません。 (※な形容詞)
 3. この店には私が買いたいものがありそうです。 (※状態を表す動詞)
 4. ここはだれもいないけど、あの建物の中ならだれかいそうですね。
 5. あの人はけっこうお金を持っていそうですね。
 6. こんなに小さいんですか。それなら一人で持てそうです。 (※可能形)
- 注) 名詞には「～そうだ」の形はない。「～のようだ/みたいだ」を使う。
7. あの人は(どうも)日本人のようだ/日本人みたいだ。
注) 「～そうだ」は<な形容詞>と同じ。 → ★L17「～そうに・・・」
 8. おもしろそうな本ですね。

美しい (ブランド)物 (←「～物」例:「男物/女物」)

(2) (今にも) <動詞(ます)形> そうだ (※今の様子を見て、これからすぐどうなるか推測する) *

1. 風が強くて、あの木は今にも倒れそうだ。
2. 今にも雨が降り出しそうな天気ですね。早く帰りましょう。
3. このボタン、取れそうですね。私が付けてあげましょうか。

(3) <動詞(ます)形> そうだ *

(※今の状況^{じょうきょう}を考えて、これから/近い将来どうなるか、何が起こるか推測する)

1. 電話会社の競争が激しいから、電話料金はもう少し下がりそうだ。
2. 去年はいいことがあまりなかったが、今年は何かいいことがありそうだ。
3. あと30ページだから、1時間くらいで全部読み終わりそうだ。
注) その人の性格・考え方・能力などから、その人の行動を推測する場合もある。
4. 山田さんにも聞いてみよう。彼ならいい意見を出してくれそうだ。
5. そんなことを言ったら、先生にすごく怒られそうな気がする。

(4) <動詞(ます)形> そうもない/ そうにない (※今の様子を見て/状況を考えて、～ないと推測する)

1. こんなに大きい箱は、一人では運べそうもありません。
2. 荷物が多いから、このかばん1つには全部入りそうもない。
3. 鈴木さんはいま忙しくて、手伝ってもらえそうにない。ほかの人に頼もう。
4. 雨はなかなかやみそうにないから、傘を借りて帰ることにします。
5. ジョンさんは来そうもないですね。先に行きましようか。
6. あしたの試験のことが心配で、今晚は眠れそうもない。
7. 残念ですが、今度の旅行には行けそうもありません。仕事が忙しくて。

(5) <い形容詞> くなさそうだ (※1の否定)

1. [地図を見ながら]ここからそんなに遠くなさそうですね。歩きましょうか。
2. 木村さんは最近からだの調子がよくなさそうだ。大丈夫だろうか。
3. これはあれほど高くなさそうです。店員に値段を聞いてみましょう。
注) 「<い形容詞> そうではない」の形もある。しかし『(~がない』はいつも「(~が)なさそうだ」の形だけ。
4. [デパートの売り場で]ここには私の欲しいものはなさそうだ。
5. これは漢字も少ないし、そんなに難しそうではない。
6. このカレーはあまり辛そうじゃない。色を見ればだいたい分かる。

(6) <な形容詞/名詞> ではなさそうだ (※1の否定)

1. あの画家はあまり有名ではなさそうだ。
2. カレンさんはさしみは好きじゃなさそうだ。さっきから全然食べていない。
3. あの人はこの学校の学生ではなさそうだ。初めて見る顔だ。
注) 「<な形容詞> そうではない」の形もあるが、あまり使わない。
「<名詞> そうではない」の形はない。

その他の文型・表現

(1) 『以上』『以下』『以内』『以外』

1) ～以上 *

1. 作文は400字以上書いてください。
2. いま給料は20万円以上もらっています。
3. これ以上食べられそうもありません。残してもいいですか。

2) ～以下 *

1. 冬は0度以下になる日もあります。
2. 60点以下の場合にはもう一度テストを受けなければなりません。
3. パーゲンセールで値段がいつもの半額以下になった。

3) ～以内 *

1. 30分以内に全部読んでください。
2. 作文は400字以上、800字以内で書いてください。
3. 5位以内の人には賞品が出る。

4) ～以外

1. 山本さん以外(の人)はみんな出席しました。
2. これ以外に何か方法がありますか。
3. この部屋には関係者以外(の人)は入ってはいけません。
4. 金曜以外だったら時間があります。

(2) それでは

(※今までしていたことを終えて次に進む) → ★L3「それでは(なぜ)～」

1. ほかに質問はありませんか。それでは次に練習問題をやってみましょう。
2. それじゃ、またあした。(※話が終わって別れる時のあいさつ)

(3) ～としたら/すると/すれば

(※仮定の話: 実際にはそうではない/そうしないかもしれないというニュアンスがある)

1. 沖縄に旅行に行くとしたら何月が一番いいでしょうか。
2. A「今ここに3億円あったらどうする？」
B「3億円なんてここにはないよ」
A「もしあったとしたらどうする？」
3. 入学試験のレベルがこれくらいだとすると、今の實力では無理だ。

- 飛行機で行くとすると、電車より3000円高くなる。
- 「あの作家はたくさん本を出していますが、一冊だけ読むとすれば、これがいいと思いますよ」

■ 文型・表現練習

(1) <動詞(ます)形> そうもない／そうにない

- こんなに高いんですか。私の給料では_____。
- A「このマンガを高木さんにあげようと思うんですけど」
B「あの人はマンガなんて_____。私がもらいましょうか」
- 風が強い日に道でコンタクトレンズを落としてしまった。_____
_____のであきらめた。
- あの人は_____から、私とは会ってくれそうもない。

(2) <い形容詞> くなさそうだ、<な形容詞／名詞> ではなさそうだ

- [メニューを見ながら]この料理は_____ね。
ほかのものを注文しましょうか。
- A「あの人はこの仕事が_____」
B「そうですね。初めてだったらあんなにうまくできないでしょうね」
- A「ええと。あのう・・・」
B「話し_____。話したくないなら話さなくてもいいですよ」
- [カタログを見ながら]これは_____。どこの国の製品ですか。

(3) ~以上、~以下、~以内、~以外

- 彼女はテレビは_____以外見ないそうだ。本当にまじめな人だ。
- 車で10分くらいかかるから、もし歩いたら_____。
- 電気代はたいてい毎月5千円くらいだが、先月は節約したから_____。
- 彼は校内テストではいつも_____に入るそうだ。私なんかいつも下のほうだ。

マンガ(漫画) コンタクトレンズ 節約(する) 校内

(4) ～としたら／すると／すれば

1. _____ としたら、どこが一番いいと思いますか。
2. まだ結婚なんて考えていないけれど、もしするとしたら_____。
3. 「信じられないですね。もしその話が_____とすると、すごい発見じゃないですか」

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『チャレンジ』：自分がやってみたいことについて、それができそうか、できそうもないか書いてみましょう。
- ・ 『ギネスブック』：世界一の記録でとてもおもしろいと思ったことについて書いてみましょう。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 計算に関連する単語・表現

$4 + 2 = 6$ (4たす 2は6) (4に2をたすと6になる/6だ) : 足す
 $4 - 2 = 2$ (4ひく 2は2) (4から2をひくと2になる/2だ) : 引く
 $4 \times 2 = 8$ (4かける 2は8) (4に2をかけると8になる/8だ) : 掛ける
 $4 \div 2 = 2$ (4わる 2は2) (4を2でわると2になる/2だ) : 割る
 $1 \times 2 : 2$ 倍 $\frac{1}{2} : 2$ 分の1 0.1 : れい てん いち

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

□ 聴解新出語：拍手(する)

答え 1 2 3 4

予想・期待(1) 100%の占い師



せっかく一生懸命勉強したのにテストでいい点が取れなかったという経験はだれにでもある。期待していたほどいい点数がとれないとがっかりする。反対に、思っていたよりいい点数がとれるとうれしくなる。

私の友達にあまり勉強しないのにいい点をとる人がいる。いつも試験に出そうなところを予想して、そこだけ勉強する。そして、その予想が本当によく当たるのだ。前回のテストでも、そんなところは出ないだろうと思っていたら、本当にそこが出たので驚いた。運がいいだけかもしれないが、私とは全く反対だ。

私は野球が好きなので、よく友達と一緒に^{いっしょ}どっちのチームが勝つか予想するのだが、今まで当たったことがない。私が応援するチームは必ず負ける。先日もはずれた方が当たった人にごちそうするという約束をしたのだが、やはり私がごちそうすることになった。

ある日私は友達に「将来占い師になったほうがいいよ」と言われた。予想がはずれてばかりいる私がどうして占い師になれるのだろうかと思ったが、その友達によると、100%はずれる人は100%当たる人と同じくらいすごいのだそうだ。なるほどと思った。お客さんはいつも私の言ったことと反対のことを信じればいいのだから。

それなら宝くじも当たるのではないかと思ったので、次の日に当たりそうもない店に行って買ってみた。どんな結果が出るか楽しみだ。



せっかく
期待
反対に

予想
当たる 前回

運
全く

応援
はずれる 方
ごちそう
やはり
占い師

なるほど

宝くじ

■ 本文設問

- (1) 筆者とその友達とどちらのほうがよく予想が当たりますか。
 (2) どうして筆者は友達にごちそうをしましたか。
 (3) 筆者はどのようにして「当たりそうもない店」に行き宝くじを買いましたか。
 ◇ 筆者はいい占い師になれるでしょうか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	： 前回 <small>ぜんかい</small> 運 <small>うん</small> 方 <small>ほう</small> [「人や物事」を指す] 占い <small>うらな</small> (師) <small>し</small> 宝くじ <small>たから</small>
名詞/動詞	： ★期待 <small>きたい</small> (する) ★予想 <small>よそう</small> (する) 応援 <small>おうえん</small> (する) ごちそう <small>ごちそう</small> (する)
動詞	： ★当たる <small>あ</small> I ★はずれる <small>はずれる</small> II (占う I ← 占い)
副詞	： ★せっかく 反対 <small>はんたい</small> に 全く <small>まった</small> [「完全に」の意味] ★やはり
その他	： なるほど

[基本動詞の用法]

- ・ (点を)取る (結果が)出る

[自動詞と他動詞]

「当たる I」 / 「当てる II」

- ・ ボールが人に当たる / を人に当てる。
- ・ 宝くじが当たる / を当てる。

「はずれる II」 / 「はずす I」

- ・ ボールがコースからはずれる。
- ・ ボタンがはずれる / をはずす。
- ・ 席をはずす。

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 出る* とる* ごちそうする 全く なるほど 方 前回 】 * 印は既習

- (1) 山田さんが私の時計と () 同じものを持っていた。どこで買ったのだろう。
- (2) 結果が () たら、知らせてください。
- (3) ()、そうだったんですか。よく分かりました。
- (4) () と同じ失敗を繰り返さないように注意してください。
- (5) 今度一緒に食事でもしませんか。() よ。
- (6) このゲームでは先にカードがなくなった () が勝ちです。
- (7) 何点以上 () たら、合格しますか。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの文型・表現)

「予想・期待」の文型・表現 (1) → ★L.18「予想・期待」の文型・表現 (2)

(1) ~ (だろう) と思っていたが、・・・た *

1. 彼女は来るだろうと思っていたが、来なかった。
2. かなり安いだろうと思っていたが、そんなに安くなかった。

(2) ~ (だろう) 思いいたら・・・た

(※1よりも<意外な結果>の意味が強い)

1. 試合は中止になると思いいたら、こんな雨でもやることになった。
2. シリーズの第2作目だから面白くないだろうと^{おもしろ}思いいたら、けっこう面白かった。

(3) ～たら／と・・・た

(※<発見><意外な結果>という気持ちがある) (→ L.10 本文)

1. プレゼントを開けたら、高そうなネックレスが入っていた。
2. きのおデパートに行ったら、先生に会った。奥さんとご一緒だった。
3. 朝起きると、そこは友達の家だった。ゆうべは酔っぱらってしまって全然覚えていない。
4. 彼女のアパートに電話をかけると、お父さんが出たのでびっくりした。

注)「～た。すると、～た」という使い方もある。

5. なぜそんなことをしたのか聞いてみた。すると、自分でもなぜしたのかわからないと、答えた。

注)「～と～」には<意外な結果>という意味があまり入らなくて、二つの出来事をつなげる用法もある。

6. 泣いている子どもにおもちゃをあげると、すぐに泣くのをやめた。
7. 息子は家に帰ると、部屋に入って、すぐ勉強を始めた。

(4) せっかく～のに・・・(た)

(※<残念>という気持ちが強い) → ★L.4「～のに」

1. せっかく宿題をしたのに、学校に持って来るのを忘れてしまった。
2. せっかく切符を買ったのに、急用ができて旅行に行けなくなった。
3. せっかく海に行ったのに、波が高くて泳げなかった。

注)「せっかく」には「せっかく～のだから・・・」の用法もある

(※「せっかく～のに・・・しないのは残念だ。だから・・・する」という意味)

4. せっかく京都に来たのだから、金閣寺だけは見て帰りましょう。
5. せっかくここまで頑張ったのだから、最後までやりましょう。

(5) 思っていた／期待していたより・・・

1. 東京タワーは思っていたより低くてがっかりした。写真とはずいぶん違う。
2. このミュージカルは期待していたよりずっと良かった。

(6) 思っていた／期待していたほど・・・ない

1. 点数は思っていたほど悪くなかったのでほっとした。
2. 入場者の数は期待していたほど多くはなかった。

注) 5,6の文型では「予想する」「心配する」も使われる。

3. ディズニーランドは予想していたよりずっと大きかった。
4. 北海道の寒さは心配していたほどではなかった。

ネックレス よ 酔っぱらう I (←酔う I *) きゅうよう 急用
 [固有名詞] きんかくじ 金閣寺、とうきょう 東京タワー、ディズニーランド ディズニーランド にゅうじょうしゃ 入場者 かず 数

(7) 予想に使われる副詞 <1>

1) やはり、やっぱり～

(※「予想したとおり」*) → ★L.18「<名詞>+どおり」「案の定」「まさに」

1. 山田さんはあの人と結婚するだろうと思っていたけど、やはりそうだった。
2. 1週間以内に全部読むのは無理だと思っていたが、やっぱり半分しか読めなかった。

注) 上の文の「～が」「～けど」は<逆接>ではなくて、<前置き>の用法。

(※最初の考えに戻る場合にも使う)

A「どうですか。行きますか」

B「その日は授業があるから無理ですよ」

A「休めませんか」

B「休むことはできるけど・・・」

A「じゃあ、行きましょうよ」

B「どうしようかな。やっぱり授業が大切だから、行かないことにします」

2) 意外にも～

(※予想と違う結果、反対の結果になる) → ★L.18「案外」「まさか」

1. この歌はきっとヒットするだろうと思っていたが、意外にも人気が出なかった。
2. あの野球選手がアメリカのメジャーリーグで活躍するのは難しいだろうと思っていたら、意外にも大活躍している。

(8) 予想が当たる／はずれる

1. 田中さんの予想が当たった。本当にそこが試験に出た。
2. 私が30歳まで結婚しないという友人の予想ははずれた。
3. 予想は当たることもあるし、はずれることもある。ギャンブルに夢中になるのは良くない。

その他の文型・表現

◆ ～ばかり

1) <名詞>ばかり → ★L.13「<数>ばかり～」

(※「だけ」とだいたい意味は同じだが、それだけなので困るという気持ちがある)

1. 肉ばかり食べないで、野菜も食べなさい。
2. うちの子どもは勉強しないで、テレビばかり見ている。
3. このクラスは女性ばかりですね。男は私一人だけなのでちょっと恥ずかしいです。

やっぱり(←「やはり」) 意外にも ヒット(する) [固有名詞] メジャーリーグ
ギャンブル 夢中(になる)

2) <動詞て形>ばかりいる (※「だけ」は使えない) → 「<動詞た形>ばかりだ」 *

1. 遊んでばかりいないで、たまには勉強しなさい。
2. 怒ってばかりいると、体に悪いですよ。
3. 車に乗ってばかりいるので、最近足が弱くなった。

■ 文型・表現練習

(1) ~たら/と・・・た

1. 夜暑いので窓を開けて寝ていたら、_____。
2. 500円玉が落ちていると思ったけど、よく見ると、_____。
3. 引っ越しをしたので、隣の人にあいさつをしに行った。すると、_____。

(2) せっかく ~のに・・・

1. _____ のに、どうして捨てるんですか。もったいない。
2. _____ のに、食べるのを忘れてしまった。
3. せっかく車を買うために貯金していたのに、_____。

(3) やはり、意外にも・・・

1. 初めてスキーをしてみました、_____。
2. 漢字の勉強はかなり大変だと思っていたけど、_____。
3. 日本の物価は _____ けど、やっぱり _____。
4. _____ 思っていたら、
意外にも _____。

(4) 思っていた／期待していたより・・・、
思っていた／期待していた／心配していたほど・・・

1. 初めてさしみを食べてみましたが、思っていた_____。
2. 足の裏のマッサージをしてもらいましたが、期待していた_____。
3. _____けれど、期待していたほどではなかった。
4. 田中さんのお見舞いに病院に行ってきました。_____。
_____ので、安心しました。

(5) ばかり

1. さっきから時計_____。だれかと会う約束があるんですか。
2. ケーキがおいしくて有名な店に行った。やっぱりお客は_____。
3. _____いると、太りますよ。たまには運動もしたほうがいいですよ。
4. 加藤「さっきから田中さん_____。私たちにも意見を言わせてください」
教師「はい、分かりました。それじゃ、加藤さん、どうぞ」

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『残念だったこと』: 「せっかく」を使って残念だったことを書いてみましょう。
- ・ 『初めての体験』: 初めてそれをしたときのことを書いてみましょう。
(思っていたこと／期待していたことと比べてどうだったか書いてみましょう。)
- ・ 『3億円が当たったら(当たったとしたら)』: もし当たったら、何に使いますか。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

1. 「予想」と関連する単語

「予報」：天気予報

「予測」：景気ようけいの予測 (※統計などを使って客観的にする)

「予感」：いやな予感よかんがする (※個人的、主観的)

「予言」：世界の終わりを予言する／予言者よげん (※占いなど)

「予告」：次回の映画／ドラマの予告よこく

「予知」：地震の予知よち

2. 「予」のつく単語 (※前もって～する)

「予習」：授業の前に予習しておく

「予定」：夏休みの予定をたてる

「予約」：ホテルを予約しておく

「予防」：風邪かぜを予防するために注射をうつ

「予備」：予備の電池を持っていく／予備校よび

「予選」：予選よせんに勝って、決勝戦に出る

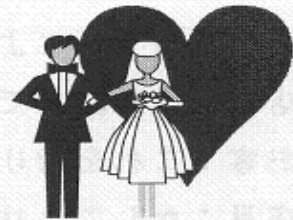
■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

□ 聴解新出語：たたく

答え 1 2 3 4



原因・理由(1) やる気



しなければいけないのだが、やる気が出ないということがある。自分の好きなことだったらやる気が出るが、それが義務だと思うとなかなかやる気が出ないものだ。

やる気というのは、好きか嫌いかという判断以外に「好奇心」と「目標」と「報酬」の3つの要素が関係しているらしい。初めてのものに対して、それがどんなものか知りたいという気持ちがあればやる気が出る。それから、それを何のためにするのかはっきりしている場合もやる気が出る。そして、その目標を達成したら何かもらえることがわかっていれば、さらにやる気が出る。

しかし、注意しなければならないことが2つある。目標を立てても、それが高すぎるために途中であきらめる人がけっこう多い。まずは無理のない目標を立てる。それを達成して自信をつけて、満足感を得る。そうすれば次のやる気につながるはずだ。

物の報酬は、初めは非常にやる気を刺激してくれるが、それが続くと効果がだんだん弱まる。その刺激に慣れてしまうからだ。やる気を出すために、より大きい報酬を求めるようになる。それよりも精神的な報酬のほうが効果的だ。小さなことでもほめられると、満足感をより強く、より長く得ることができる。そして「もっとできるはずだ」という自信につながる。

しかられて、「よし、次は頑張ろう！」とやる気を出す人もいるが、たいていは、しかられることによるマイナス効果のほうがプラス効果より大きいものだ。だから、いくらしかっても効果がないのなら、たまにはその人をほめてあげてみたらどうだろうか。

やる気

義務

判断 好奇心

目標 報酬 要素

はっきりする

達成

立てる

満足感 得る

つながる

刺激

効果 弱まる

より 求める

精神的 効果的

ほめる

よし

マイナス

プラス だから

■ 本文設問

- (1) 本文ではやる気と関係があることについて何が挙げられていますか。
 (2) 途中でやる気がなくなるのはどうしてですか。
 (3) 「精神的な報酬」というのは何ですか。それはどうしていいのですか。
 ◇ 本文で紹介されていることについて、あなたはどう思いますか。これ以外にもやる気につながるものがあれば話してください。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	: やる気 義務 好奇心 目標 報酬 要素 効果
	マイナス(効果) プラス(効果)
な形容詞	: 精神的 効果的
名詞/動詞Ⅲ	: 判断(する) はっきりする 達成(する) 満足(する) 刺激(する)
動詞	: (目標を) 立てるⅡ 得るⅡ つながるⅠ 求めるⅡ ほめるⅡ
	: 弱まるⅠ (→ 関連語)
副詞	: ★より～
接続詞	: ★だから
その他	: (満足)感 「よし」



【基本動詞の用法】

- ・(やる気が/を)出る/出す (自信が)つく。

【自動詞と他動詞】

「つながるⅠ」 / 「つなぐⅠ」「つなげるⅡ」

- ・このコードはパソコンにつながっている。
- ・この道はA市につながっている。
- ・何回も電話したけど、なかなかつながらなかった。
- ・手をつなぐ。
- ・二本のロープをつなげる。

「立つⅠ」 / 「立てるⅡ」

「建つⅠ」 / 「建てるⅡ」

- ・教室の前に立つ。
- ・棒が立っている/を立てる。
- ・ビルが建っている/を建てる。
- ・計画(予定)を立てる。



つなぐ つなげる コード ロープ 建つ 棒

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 やる気 目標 刺激 自信 満足 報酬 】

- (1) ボランティアだから () は求めない。
(2) 小さいことでも成功すれば () がつく。
(3) 辛いものは胃を () するから、胃が弱い人は食べすぎないほうがいい。
(4) () を立てて、それに向かってがんばる。
(5) 最近なんとなく () が出ない。
(6) 今の生活に () している。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの文型・表現)

「原因・理由」の文型・表現 (1)

→★L.10【原因・理由】の文型・表現 (2)

→★L.19【原因・理由】の文型・表現 (3)

(1) 原因を表す表現 (※後ろの文には意志表現は使えない。事実を述べる)

1) <名詞>で・・・ *

1. 大雪で電車が止まった。
2. 風邪で学校を休んだ。

2) <い形容詞>くて・・・ *

1. 先生の話し方が面白くて、みんな笑った。
2. とても高くて、買えなかった。

3) <動詞て形>・・・ *

1. グラスがテーブルから落ちて、割れてしまった。
2. お酒を飲んで、酔っ払った。
3. 働きすぎて、病気になってしまった。

注) <原因>の時には、否定形は「～ないで」ではなくて「～なくて」を使う。

4. 誕生日のパーティーに友達が一人しか来なくて、とても寂しかった。

4) ~の/<動詞た形>ために・・・

(→ 目的表現「~の/<動詞辞書形>ために」*)

(※原因と結果を客観的に述べる文なので、硬い文章によく使われる)

1. そのけがのために、試合に出られなかった。
2. 栄養不足のために、体重が5キロも減った。
3. 暑い日に外で何時間も働いたために、倒れてしまった。
4. 先生の注意を聞かなかったために、試験の日に大きなミスをしてしまった。
5. 円が高くなった。そのため、輸入が増えたが、輸出が減った。

注) 一般的な因果関係を述べる場合には、「<動詞辞書形/ない形>ために」も使われる。

6. たばこの火をよく消さないで捨てるために、山火事になることがある。

5) ~によって・・・/~による～ (→「~によって」受け身文*)

→ ★L.12「~によって」手段

1. ストレスによっていろいろな病気になる。 ストレスによる病気(が怖い)
2. 事故によって人が亡くなる。 事故による死者(の数は増えている)
3. 不注意によって事故が起こる。 不注意による事故(が一番多い)
4. 目を使いすぎることによって肩がこる。 目の使いすぎによる肩こり(がひどい)
5. 習慣が違うことによって誤解が生まれる。 習慣の違いによる誤解(に注意する)

(2) <順接の接続詞>を使って原因・理由を表す

1) ~から、・・・ / ですから、・・・ *

(※文末に意志表現、主観的な表現がよく使われる)

1. あしたはテストがありますから、今晚勉強します。
2. ちょっと暑いですから、窓を開けてください。
3. 疲れたから、少し休みましょうか。
4. これは私にとって大きな問題だと思えます。ですから、一度両親と相談してみ
るつもりです。
5. 1週間くらい休みがとれそうですから、家族と一緒にハワイに行こうと思えます。

2) だから、・・・ (※1と同じ/「ですから」の普通体)

1. こちらに引っ越したばかりです。だから、まだどこに何があるかわかりません。
2. いまとても忙しいんです。だから、邪魔しないでください。

第9課 原因・理由(1) やる気

3) ~ので、・・・ / それで、・・・ (※事実を述べる文、客観的) *

1. おなかが痛かったので、横になって少し休んだ。
2. 傘を忘れてしまったので、ぬれてしまった。
3. お盆とお正月は都会の人が帰省する。それで、高速道路が非常に渋滞する。

注) 丁寧なお願いの文では「ので」が使われる。

4. すみませんが、勉強中なのでもう少し静かにしてもらえませんか。
5. あしたお返ししますので、この本を1日貸していただけませんか。

注) 目上の人に対して言い訳する時にも「ので」が使われる。

6. すみません。バスが遅れたので、遅刻してしまいました。
7. 教えていただいた電話番号をなくしてしまったんです。それで、連絡ができませんでした。

(3) 原因・理由をたずねる／答える表現

1) どうして／なぜ・・・んですか *

～から。／～んです。 * (※会話表現)

1. A 「どうしてうそをついたんですか」
B 「本当のことを話したら怒られると思いましたから」
2. A 「なぜ歯医者に行きたくないんですか」
B 「あのキーキーという音が嫌なんです」

2) (どうして／なぜ・・・)

～<普通形>からだ／です。 (※文章でも使われる表現)

1. A 「赤ちゃんはなぜ泣くのですか」
B 「母親に何かを知らせたいからです」
2. A 「なぜ火事が起きたのですか」
B 「ストーブを消さないで出かけてしまったからです」
3. 大学の経営が厳しいらしい。それは若者の人口が減っているからだ。(→文型4)

3) (どうして／なぜ・・・) → ★会話の文型・表現<4>

～もの／もんですから。

(※会話表現／個人的な理由を話して、相手に分かってもらいたいという気持ちが入る)

1. A 「もう遅いですから寝たほうがいいですよ」
B 「あしたテストがあるものですから、心配で...」

(だって)～もの／もん。 (※くだけた表現)

2. A「どうしてそんなに怒っているの」

B「だって、山田君がひどいことを言ったんだもん」

(4) 倒置文 ^{とうちぶん} (※相手が知っている結果をもう一度繰り返すことで理由の部分を強調する)

1)・・・のは～からだ

1. 今回失敗したのは準備が足りなかったからです。

2. 私がこの仕事を続けているのは、この仕事が好きだからだ。

2)・・・のは～ためだ

1. 携帯電話がこれだけ広まったのは、やはり安くなったためだ。

2. 彼が会社をやめたのは、人間関係がうまくいかなかったためだ。

その他の文型・表現

(1) ～ものだ (※物事の^{しんり}真理、当然) →★L.11「～たものだ」

★L.13「～たいものだ」

★L.17「<い形容詞>ものだ」

1. 人間は一人では生きられないものだ。
2. 相手の気持ちというのはなかなか分からないものだ。
3. 「見るな」と言われると、見たくなるものだ。
4. 人生は悪いことばかりではない。いいこともあるものだ。

(2) より～ (※比較する対象は『今』『その時』)

1. より良い生活ができるように、一生懸命に働く。
2. 衛星放送によって、より多くの人々が同時に見ることができるようになった。
3. 医療技術の進歩によって、より長く生きることができるようになった。



(3) ～なければいけない／～なくてははいけない

(→「～なければならぬ」「～ないとはいけない」と同じ*)

1. 約束があるので、もう行かななければいけません。
2. 大学に入るためには、まずこの筆記試験に合格しなくてははいけない。

注) 会話では縮約形が使われることもある。 → 縮約形 ①: 会話の文型・表現<3>

→ 縮約形 ③: 会話の文型・表現<4>

◇縮約形 ②

(1) 「～なければいけない／ならない」 → 「～なきゃ(いけない／ならない)」

(2) 「～なくてははいけない／ならない」 → 「～なくちゃ(いけない／ならない)」

1. 「早く帰らなきゃ」「さあ、勉強しなくちゃ」
2. 「どうして私がしなくちゃいけないの？」

■ 文型・表現練習

(1) ～ために

1. 厳しいトレーニングのために、途中で_____。
2. 試験で答案用紙に名前を書かなかったために、_____。
3. _____ために、川が汚れてしまった。
4. _____ために、目が悪くなってしまった。

(2) ～によって～ → ～による～

1. 地震によって大きな被害が出た。
→ _____による_____は1億ドルになるらしい。
2. 飲酒運転によって事故が起こる。
→ _____による_____はなかなか減らない。
3. 事故によって道路が渋滞した。
→ _____による_____の_____が1時間以上続いた。

(3)・・・のは～からだ／ためだ

1. あのレストランが人気があるのは_____。
2. 私が日本語を勉強しているのは_____。
3. _____のは遊んでばかりいるからです。
4. _____のは前に一度ひどい経験をしたためです。

(4)～ものだ

1. 学生というのは_____。アルバイトばかりしてはいけ
ない。
2. 恥ずかしいことは人には話したくないが、うれしいことがあると、_____
_____。
3. 外国で生活を始めると、最初は珍しいことが多くて楽しいが、だんだん_____
_____。

(5)～なければいけない／～なくてははいけない

1. この国では_____以上の方は2年間軍隊に_____。
2. 朝8時の新幹線に乗りますから、_____。
3. 学校にある本やテープを借りる時には_____。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『したかったこと／したくなかったこと』：あなたがしたかったけれどしなかったこと、したくなかったけれどしたことを、理由といっしょに書いてみましょう。
- ・ 『やる気』：あなたはどんな場合にやる気が出ますか。

第10課

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

「～まる」「～める」の単語 (形容詞から作られる自動詞と他動詞)

- ・ 高い → 高まる / 高める : 人気、やる気、期待
- ・ 広い → 広まる / 広める : 話、技術、宗教
- ・ 強い → 強まる / 強める : 風、火、力
- ・ 弱い → 弱まる / 弱める : 風、火、力
- ・ 深い → 深まる / 深める : 理解、(秋)

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答え 1 2 3 4

原因・理由(2) しょうがない



雑誌の占いのコーナーを読んでいたら、「日本人は占いが好きですね」と、外国人の友人が話しかけてきた。どこの国にも占いはあるけれど、日本人は占い好きな国民の上位にランクされるのだそうだ。

占いが好きなのは何か目に見えない力に人生が左右されているという考え方が強いからだと説明してくれた。確かに日本人は占いが好きだ。でも、たいていはその結果に従うとか真剣に信じるとかではなくて、ただそれを楽しんでいるだけだと思う。珍しくて面白い占いが流行するのもそのせいではないだろうか。目に見えない力と結び付けるのは考えすぎではないかと彼に話してみた。

すると、彼は「でも日本人は『しょうがない』という表現をよく使います。これも占い好きと同じ理由でしょう」と言った。自分の国にも同じような表現はあるけれど、日本人は使いすぎるのだそうだ。なぜ占い好きと関係があるかという、どちらも自分の力ではどうしようもないという考え方があからだ説明してくれた。確かに「しょうがない」はあきらめの気持ちを表すが、日本人がそれを使いすぎるなんて信じられなかった。

ところが、話題が変わって「どうして1時間以上もかけて満員電車で毎朝通勤しているの？ 会社に着く前に疲れるでしょう」と彼に聞かれて、私は思わず「それはしょうがないよ」と言ってしまった。彼のおかげで自分の国の言葉について改めて考えることができた。



コーナー
 (～て)くる
 ～好き 国民
 上位 ランク
 左右する
 従う
 真剣 ただ
 流行
 結びつける すぎ

しょうがない
 どうしようもない

話題 かけて
 満員
 思わず
 改めて

■ 本文設問

- (1) 次の2つについて筆者と友人の考えは、何が同じで、何が違いますか。
 ・「占い」について ・「しょうがない」について
- (2) 『しょうがない』という表現について、筆者の考え方は友人の話を聞く前と聞いたあとでは変わりましたか。なぜですか。
- (3) 筆者は友人と話ができて良かったと思っていますか。なぜですか。
- ◇ 筆者はどのようにして「それはしょうがないよ」と思っているのでしょうか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	: コーナー 国民 ^{こくみん} 上位 ^{じょうい} 話題 ^{わだい} 満員 ^{まんいん}
い形容詞	: しょうがない どうしようもない (→ ★L19文型「~(よ)うがない」)
な形容詞	: ~好き ^{ずき} 真剣 ^{しんけん}
名詞/動詞Ⅲ	: ランク(する) 流行(する) ^{りゅうこう}
動詞	: 左右する ^{さゆう} 従うⅠ ^{したが} 結び付けるⅡ ^{むす} (時間を)かけるⅡ ^つ
	[補助動詞] ★(~て)くる
副詞	: ★ただ(~だけ) ★思わず ^{おも} 改めて ^{あらた}
その他	: ~すぎ(←「~すぎる」*)

【自動詞と他動詞】

「かかるⅠ」 / 「かけるⅡ」

- ・ 時間(お金)がかかる / をかける
- ・ 水がかかる / をかける

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 しょうがない (2回使う) 改めて ~すぎ ~好き 】

- (1) 日本人がシャワーだけでなく、お風呂に入るのはきれい () だからでしょうか。
- (2) お金がないのなら () ですね。また今度にしましょうか。
- (3) 自分はなぜいま日本語を勉強しているのか、() 考えてみた。
- (4) それはちょっと考え () ですよ。もっと簡単なことだと思いますよ。
- (5) 電車がないなら () ですね。タクシーで帰りましょう。

【 かける 従う 話しかける* 流行する 】 * 印は既習

- (1) 電車の中で知らない人に () びっくりした。
(2) ここではみんなが規則に () ければなりません。
(3) 私が子どものころにはそんな遊びが () いた。
(4) 時間を () ゆっくり料理する。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの文型・表現)

「原因・理由」の文型・表現 (2)

→ ★L19「原因・理由」の文型・表現 (3)

(1) なぜ／どうして ～か分からない *

1. なぜ佐藤さんが会社をやめたのかわかりません。
2. どうしてあの人が私のことが嫌いなかわからない。

(2) なぜ／どうして ～かという、・・・からだ

1. なぜ行かなかったかという、前にも行ったことがあるからです。
2. どうしてよく売れるかという、宣伝が上手だからです。
3. なぜこの車に決めたかという、荷物がたくさん積めるからだ。

(3) 『おかげ』(※いい結果が出た時に、それに感謝する気持ち)

1) ～おかげで

1. ジョンさんのおかげで本当に助かりました。ジョンさんがいなかったら大変でした。
2. 貯金があるおかげで、年をとってから心配しないで生活ができる。
3. 山田さんが手伝ってくれたおかげで、早く終わることができた。

注) あいさつ表現: 「おかげさまで、元気です」

注) <皮肉>で使うこともある。

4. あいつのおかげでひどい目にあった。

2) ……のは ～おかげだ

1. 私が留学できたのは、両親のおかげです。感謝しています。
2. これだけ上手になったのは、コーチが親切に教えてくださったおかげです。
3. 今の私があるのは、あの時高橋さんに助けていただいたおかげです。

宣伝(する) 積むI あいつ (ひどい) 目にあう

(4) 『せい』(※悪い結果が出たとき、それに責任があるという気持ち)

1) ～せいで

1. あなたのせいで、こんなことになったんですよ。どうしてくれるんですか。
2. ちょっと食べすぎたせいで、おなかが痛くなりました。
3. 我慢して病院に行かなかったせいで、もっと悪くなってしまった。

2) ……のは ～せいだ

1. なかなか生活がよくなるのは、政府のせいです。
2. こんなに空気が汚れているのは、自動車の数が増えたせいだ。
3. セールスがうまくできないのは、やり方が悪いせいだ。

その他の文型・表現

(1) <動詞辞書形>とか、<動詞辞書形>(とか)……(→ <名詞>とか<名詞>など *)

(※「～たり～たり」と同じ用法だが、一つ一つ挙げるという気持ちが強い)

1. 分からなければ、辞書を引くとか、先生に聞くとかすればいいでしょう。
2. パソコンなどで目が疲れた時には、目をタオルで冷やすとか、遠くの景色を見るときるといいらしい。
3. 休みの日には買い物するとか、友達と会って話すことが多いです。

(2) ～ていく／くる → ★L13「～ていく／くる」(※変化の表現)

(※移動の方向／話者の視点に注意)

1. ねこが部屋に入って来た。／ねこが隣の部屋に入って行った。
2. 机の引き出しから昔の写真が出て来た。／山田さんは部屋を出て行った。
3. 電車に忘れたかばんが数日後に戻って来た。
4. 国の両親が私の好きなお菓子を送って来た。

注)「～てくる」:「何かをして、そして<今いるところ>に戻る」という意味になる場合 *

5. それじゃ、私が買って来ます。
6. 二階にいる子どもたちの様子を見て来ます。

注)「～ていく」:「何かをして、そして<どこか>に行く」という意味になる場合 *

7. 途中で花屋に寄って、プレゼントの花を買って行くことにした。
8. 前の人がハンカチを落として行った。

第10課 原因・理由(2) しょうがない

(3) (ただ/ちょっと) <動詞普通形> だけだ/で・・・ (→ <名詞> だけだ/で・・・ *)

1. A 「いらっしゃいませ。何をお探しですか」
B 「あ、ただ見ているだけです」
2. ちょっと疲れたので休んでいるだけです。心配いりません。
3. あのひとはちょっと嫌なことがあっただけで、すぐに怒る。

(4) 思わず

(※無意識にする/そのような状況ではだれでも体が自然に反応してしまうことによく使う)

→ ★L6 「つい」、L20 「うっかり」

1. 自分が応援していたチームが点を入れたので、思わず跳び上がって叫んでしまった。
2. 映画を見ていて、主人公が危ない場面になると、思わず手を握ってしまう。

■ 文型・表現練習

(1) 『おかげ』か『せい』のどちらかを () に入れなさい。

1. あの人の () で失敗した。
2. 安いものを買った () で、すぐに壊れてしまった。
3. 毎日練習した () で、かなり上手になった。
4. あの人に話した () で、クラスみんなにそのことを知られてしまった。
5. この教科書で勉強した () で、大学に入ることができた。

(2) ~おかげで/せいで・・・

1. 日本に来たおかげで _____。
せいで _____。
2. あの人の言葉を信じたおかげで _____。
せいで _____。

(3) ...のは~おかげだ/~せいだ

1. 最近寝不足なのは _____。

2. 都会にカラスが多いのは_____。
3. 最近体の調子がとてもいいのは_____。

(4) 『くる』か『いく』のどちらかを()に適切な形に入れてください。

- 探していた物が出て()。
- 泥棒は向こうへ走って()。
- 試験の日がだんだん近づいて()。
- 急にボールが飛んで()、私の頭に当たった。
- ほかの人はみんな帰って()。そして私一人だけになった。

(5) ～だけだ／で・・・

- 私はただ「_____」と言っただけです。どうして彼女が泣いているのか分かりません。
- _____だけで、1万円もかかるそうですね。

(6) 思わず

- 暗いところから急に顔が現れたので、思わず「_____」と叫んでしまった。
- 車を運転していた時、急に子どもが飛び出して来たので、思わず_____。
(→L6関連語)

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- 『うれしかったこと』: 「～おかげで」を使って良い結果になったことを書きましょう。
- 『悲しかったこと』: 「～せいで」を使って悪い結果になったことを書きましょう。
- 『占い』: 占いについてどう思いますか。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 性格を表す単語

1. プラスイメージ

明るい、陽気(な)、ほがらか(な)、楽観的(な)、積極的(な)、活発(な)
好奇心が強い

2. マイナスイメージ

暗い、悲観的(な)、消極的(な)、おとなしい、ずうずうしい、けち(な)、のんき(な)、わがまま(な)

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答え 1 積極的 2 楽観的 3 おとなしい 4 ずうずうしい



比較(2) いろいろな選択

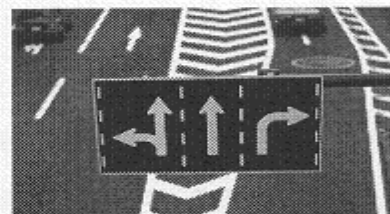


人生にはいろいろな選択の場面がある。将来を決めるような重大な選択からちょっとした選択まで様々だ。同じ選択でも、真剣に悩んでしまう人もいれば、簡単に決めてしまう人もいる。うれしい選択もあれば、つらい選択もある。

例えば、レストランで食事をしたあとのデザートについて考えてみよう。ケーキとアイスクリームのどちらか一方に決めなければならなかったらどうするだろう。どちらでも構わない人にとっては何でもない選択だが、甘いものには目がない人にとっては、うれしいけれど悩んでしまう選択だ。しかし、これは悩みというより、むしろ楽しみなのかもしれない。

それと反対の場合もある。夏休みになると学校からいろいろな宿題が出る。例えば「夏休み中に本を2冊読んで感想文を書くか、毎日日記を書きなさい」と言われたらどうするか。作文が好きな子にとっては何でもない選択だが、作文が嫌いな子にとってはこれほどつらい選択はない。もし本を読むのも嫌いだったら、毎日日記を書くほうが、読書感想文よりはましだと考えるだろう。

ところで、いろいろな選択があると、かえって困ってしまうものだ。どれにするか迷ってしまって、自分で決められなくなったらどうするか。私が子供のころは、選ぶものを並べて、「どれにしようかな。神様と天神様の言うとおりに」と言って決めたものだ。最後の「り」の時に指したものにするのだ。大人になってからもこんなやり方ですべてうまくいったらいいのだが。ときどきそう思うことがある。



選択
重大
悩む
デザート
一方
何でもない
目がない
悩み むしろ
感想文
子
読書
まし
かえって
迷う
神様 天神様
すべて

■ 本文設問

- (1) 「うれしい選択」というのはどんな場合ですか。
 (2) 「つらい選択」というのはどんな場合ですか。
 (3) 作文が嫌いな子の中で、「日記」の宿題を選ぶのは、どんな子ですか。
 ◇ 筆者は今でも「重大な選択」について、『どれにしようかな・・・』と決めて決めているでしょうか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	: デザート (どちらか) 一方 <small>いっぽう</small> 悩み <small>なや</small> 感想文 <small>かんそうぶん</small> 子 <small>こ</small> 神様 <small>かみさま</small> 天神様 <small>てんじんさま</small>
な形容詞	: 重大 <small>じゅうだい</small> ★まし
い形容詞	: 何でもない <small>なん</small>
名詞/動詞Ⅲ	: 選択(する) <small>せんたく</small> 読書(する) <small>どくしょ</small>
動詞	: 悩む(→悩み) <small>なや</small> 迷う <small>まよ</small>
副詞	: ★むしろ ★かえって すべて
その他	: (～に) 目がない <small>め</small>

[基本動詞の用法]

- (宿題が) 出る

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 指す* 迷う 悩む 何でもない 重大 全て 】 * 印は既習

- (1) きょう校長先生から()発表があるらしい。
 (2) 自分の()を話せる友達がいると有難い。
 (3) 矢印は右を()いたけど、そちらの方には道はなかった。
 (4) A「どうかしましたか」
 B「いいえ、()です」
 (5) これで1年間の()の授業が終わりました。
 (6) 道に()しまって、1時間も同じところを行ったり来たりしていた。

■ 文型・表現

「比較」の文型・表現(2)

(1) 『まし』

1) AのほうがBよりましだ (※AもBもよくないが、二つを比べればAのほうがいい)
Aも・・・けれど、Bよりましだ

1. 物理も生物もあまりできませんが、物理のほうが生物よりましです。
2. お酒も飲みすぎると体によくはないけど、たばこよりはましだと思います。
注)慣用表現で「何もないよりましだ／何も～よりましだ」もある。
3. この自転車はかなり古いけど、何もないよりはましだ。
4. このアルバイトは時給があまり良くないけれど、何もしないで遊んでいるよりましだ。

注)『まだ』を入れると「Bは悪すぎる／ひどすぎる」という気持ちが強調される。

5. いまの上司は好きじゃないけど、前の上司よりはままだました。
6. このレストランの料理は高いのに全然おいしくない。
これなら自分で作った料理のほうがままだました。

2) Bするくらいなら、Aしたほうがましだ

(※極端な例<A>を出して、「本当にBはしたくない」という気持ちを強調する)

1. あの人と一緒に仕事するくらいなら、会社を辞めたほうがましだ。
2. そんなことにお金を使うくらいなら、捨てたほうがましだ。
3. そんなことをするくらいなら、死んだほうがままだました。

(2) Aほど～<名詞>は(ほかには)ない → ★L1「～ほど・・・ない」

(※「Aが一番～」と同じ意味になる)

1. 東京ほど物価が高い都市は(ほかには)ない。
2. この町ほどいろいろな外国人が集まっているところはない。
3. 西田さんほど熱心に仕事をする社員はいない。注)「人」の場合は「いない」
4. チョウさんほどまじめに勉強する学生は見たことがない。
5. ギャンブルで給料を全部使ってしまうなんて、これほどばからしいことはない。

(3) XはAというより(も)、むしろB (※Xの説明としてAよりBのほうが適当だ)

1. あの子はきれいというより、むしろかわいいと言ったほうがいい。
2. あの人とは先輩、後輩の関係というよりも、むしろ親友のような関係だ。
3. これだけ大きいと、池というよりも、むしろ湖と言ったほうがいいでしょう。

その他の文型・表現

(1) ～にとって(は)

(※人によって考え方、感じ方が違う時に、それぞれの立場について説明する)

1. ほかに人にとっては重要でないことでも、私にとっては重要なことです。
2. 入院していた私にとって、友人のお見舞は何よりもうれしいことだった。
3. 彼にとってこんなテストは何でもないことだった。目標はもっと高いところにあった。

注)「～として」はどんな^{たちば}立場・^{しかく}資格・^{しゅるい}種類かを示す表現。「～にとって」とは使い方が違う。

4. 山田さんは今は作家として活躍している。
5. 「ちょっと…」はやわらかく断る表現として使われる。

(2) <動詞た形>ものだ → ★L9「～ものだ」(真理、当然)

(※過去の習慣を思い出して述べる時。懐かしいという気持ちを表現する)

1. 子供のころ、よく近くの川で泳いだものです。その川は今は汚くて泳げなくなりました。
2. 小学生のころ、父と一緒に山にきのこを採りに行ったものです。
3. 中学生のころ、近くの野原で友達と一緒に野球をしたものだ。その場所には今はマンションが建っている。

(3) ～も・・・ば、～も・・・

(※「～も・・・し、～も・・・」を使うことができるが、<いろいろある/する、何もない/しない>ことを強調する)

1. 世の中にはいいこともあれば、悪いこともある。
2. 山田さんは歌も歌えば、ギターも弾く。
3. この町にはデパートもなければ、スーパーもない。

(4) 『かえって』 (※普通の予想とは反対の結果になる)

1. 病院に行ったら、かえって悪くなった。
2. うちの子は「しなさい」と言うと、かえってしないから、何も言わないほうがいい。
3. 説明してもらったら、かえって分からなくなってしまった。

■ 文型・表現練習

(1) ましだ

1. テニスもゴルフも上手ではないが、_____。
2. 今のアパートも狭いけど、_____よりはましだ。
3. これは_____けれど、何もないよりはましだ。
4. 姉が作る料理はひどい。_____くらいなら、何も食べないほうがましだ。

(2) ～ほど・・・はない

1. 富士山ほど形が_____はありません。
2. 人間が発明したものの中で_____ほどすばらしいものはない。
3. _____ことほどつらいことはない。

(3) ～というより、むしろ・・・

1. ケンさんは体が大きいというより、むしろ_____と言ったほうがいいんじゃないかな。もっと運動したほうがいいと思う。
2. _____は便利なものというより、むしろ生活の一部になっていると思う。

(4) ～にとって(は)／～として

1. 私にとって、_____はとても大切なものだ。
2. _____にとっては、食事中に近くでたばこを吸われるといやなものだ。
3. _____は_____としてよく知られている。
4. テストの問題文では、「(A)に入る言葉として、最も_____を、下の(1)～(4)から1つ選びなさい」という表現がよく使われる。

(5) <動詞た形>ものだ

1. 子供のころ、_____好きだったので、よく_____ものだ。
2. 学生のころ、_____て、よく先生にしかられたものです。
あの先生は今はどこにいらっしゃるのでしょうか。
3. 今と違って、私たちが子供のころは、_____。

(6) ~も・・・ば、~も・・・

1. 世の中にはいろいろな人がいる。 _____。
2. 佐藤さんの家はすごい。 _____。

(7) かえって

1. A「やせるために運動を始めたら、かえって_____」
B「それはよく食べるようになったからじゃないですか」
2. 忙しい時のほうがかえって_____。
暇だとのんびりしてしまってあまりできないものだ。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『すばらしい人』:「~ほど~ない」を使ってあなたがすばらしい人だと思う人について書きましょう。
- ・ 『大切なもの』:あなたにとって大切なものを書きましょう。
- ・ 『思い出』:「~たものだ」を使ってあなたの子供のころの思い出を書きましょう。
- ・ 『決め方』:あなたはどれにするか迷ったときはどうやって決めていきますか。

第12課

第11課 比較(2) いろいろな選択

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 人の一生に関連する単語

- 生まれる、誕生する、誕生日、生年月日、故郷 / ふるさと
- 育つ、成長 (する)
- 入学(する)、卒業(する)、入学式、卒業式
- 成人 (する)、成人式
- 就職 (する)、入社 (する)、入社式
- 出会う、お見合い(する)、付き合う、結婚する、結婚式、
- 出産 (する)
- 別れる、離婚(する)
- 出世 (する)、昇進 (する)、首になる、転職 (する)
- 定年、退職 (する)、第二の人生を始める
- 老後を楽しむ
- 死ぬ、死亡 (する)、葬式

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答え 1 2 3 4

様子・類似(2) 格言・名言



もしにおいを説明するのに、「いい香り」と「臭い」しか言葉がなかったら寂しい。そのにおいを相手に伝えたいと思えば、それと似ている香りを探して、「バラの花のような香りがする」とか「卵が腐ったみたいなおいがする」と表現することができる。つまり、何かほかのものにたとえることによって、相手はそれがどんなものかイメージすることができるのだ。そのおかげで私たちの表現は一層豊かになる。

いわゆる格言、名言と呼ばれるものの中には、このようなたとえを使ったものが少なくない。「人生はいわば航海のようなものだ」とよく言われる。人生のような抽象的なものでも、航海にたとえることで、それがどんなものかがよく理解できる。作家のセネカは人生を物語にたとえて、こう言ったそうだ。「重要なのはどんなに長いかということではなく、どんなに良いかということだ」。短い言葉の中にも重みがある。人生をろうそくにたとえて、細く長く生きるのと太く短く生きるのとどちらがよいかと聞いたら、セネカはきっと後者がよいと答えるだろう。

哲学者のショーペンハウアーはお金は海水のようなものだと考えて、「飲めば飲むほど、のどが渴く」と言った。ほかにも友情とは何か、恋とは何かなど、いろいろなことについて格言、名言がある。それらを読んでみて、自分の好きなせりふを見つけるのもいいが、気に入ったものがなければ、自分で作ってみてもいい。人によって考え方はいろいろなものだから。



香り 臭い
バラ
腐る
つまり たとえる
一層 豊か
いわゆる 格言
名言 呼ぶ
たとえ いわば
航海 抽象的
セネカ 物語
重み ろうそく
後者
哲学者
ショーペンハウ
アー 海水
友情 恋
せりふ

■ 本文設問

- (1) 「たとえ」を使うことによって、私たちの表現はどうなりますか。
 (2) 「たとえ」は格言や名言にたくさん使われていますか。
 (3) 筆者はなぜセネカが「後者を選ぶ」と思ったのですか。
 ◇ ショーペンハウアーのたとえはどんな意味か考えてみてください。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	：香り <small>かお</small> バラ <small>バラ</small> 格言 <small>かくげん</small> 名言 <small>めいげん</small> たとえ <small>たとえ</small> 航海 <small>こうかい</small> 物語 <small>ものがたり</small> ろうそく <small>ろうそく</small> 後者 <small>こうしゃ</small> <small>てつがくしゃ</small> 哲学者 <small>てつがくしゃ</small> <small>かいすい</small> 海水 <small>かいすい</small> <small>ゆうじょう</small> 友情 <small>ゆうじょう</small> <small>こい</small> 恋 <small>こい</small> <small>せりふ</small> せりふ <small>せりふ</small> <small>おも</small> 重み <small>おも</small> (→ 関連語「～み」)
な形容詞	：豊か <small>ゆた</small> 抽象的 <small>ちゅうしょうてき</small>
い形容詞	：臭い <small>くさい</small>
動詞	：腐るⅠ <small>くさ</small> ★たとえるⅡ ★(～と)呼ぶⅠ <small>よぶ</small>
副詞	：一層 <small>いっそう</small> ★いわば
接続詞	：★つまり ★いわゆる
その他	：[人名] セネカ ショーペンハウアー

【基本動詞の用法】

- ・★(においが)する (→ 関連語)

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 におい* 香り 豊か 重要* 一層 気に入る* 】 *印は既習

- (1) この花はいい()がしますね。
 (2) 教科書を読みながら()ところに線を引く。
 (3) 焼き肉の()がしますね。
 (4) いろいろ探してみたけれど、()ものはなかった。
 (5) このまま食べてもおいしいですが、冷蔵庫に入れて冷たくすると()おいしいですよ。
 (6) 生活が()になったと感じる人が多くなったようだ。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの文型・表現)

「様子・類似」の文型・表現(2)

(1) AをBにたとえる(と・・・) / AはBにたとえられる

1. 人生は自分が主人公のドラマにたとえられる。
2. 日本では色が白くてきれいな女性の肌はよくもちにたとえられる。
3. 人間の体を車にたとえると、心臓はエンジンに当たる。
4. 良子さんを花にたとえると、バラだろうか。美しいけれど、とげがあるからだ。

(2) AはいわばB(のようなもの)だ (*Aを何かにたとえて言えばBになる)

1. 成田空港なりたはいわば日本の玄関だ。
2. 人生はいわば旅のようなものだ。途中でいろいろなことが起こる。
3. 恋愛もいわばゲームのようなものだと言う人もいる。
4. アイスホッケーはいわば氷の上の格闘技だ。実際に試合を見るとそれがよく分かる。

その他の文型・表現

(1) 言い換え・説明のための接続詞 / 表現

1) 『いわゆる』 (*一般的に使われている言葉を紹介する)

1. 父はいわゆる会社人間で、家族より仕事をいつも第一に考えている。
2. 昔はいわゆる3高こうが結婚の条件になっていたが、今もそうだろうか。
3. これからはいわゆるシルバー産業がどんどん成長するだろう。

2) 『つまり』 (*前の表現、内容を分かりやすく言い換える / まとめる)

「A、つまりB」

1. 私の母の妹の息子、つまりいとこが私と同じ会社に勤めています。

「つまり、・・・のだ」

2. 今回の選挙では野党が勝った。つまり、国民は変化を求めたのだ。

「つまり、・・・ということだ」

3. このまま何もしなければ地球の温暖化が進んで人間が住むことができなくなる。
つまり、今何かをしなければならぬということだ。

→ ★L20「つまり、・・・わけだ」

肌はだもちしんぞう心臓あ (AはBに) 当たるあ (注: AとBとの対応関係) とげたび 旅れんあい
アイスホッケーかくとうぎ 格闘技じょうけん 条件せんきょ どんどん ところ 選挙やとう 野党よとう (⇔与党)
変化へんか (する)

- (2) Xを～と呼ぶ (※Xの名前) → 「Xを呼ぶ」 *
1. これからは「ジョン」と呼んでください。
 2. 彼の名前は「しんのすけ」だから、みんなから「しんちゃん」と呼ばれている。
 3. 山田さんは奥さんのことを何と呼んでいるんですか。
- (3) ～によって (※手段) → ★L9「～によって」(※原因)
1. 大昔は煙や光によって遠くにいる人にメッセージを伝えた。
 2. 同じ料理でもちょっと工夫することによってもっとおいしく作ることができる。
 3. 漢字は何回も何回も書くことによって正確に覚えることができる。
- (4) におい／音／味がする * → 関連語
1. ガスのにおいがしますよ。台所を見てみましょうか。
 2. 何かが焦げているにおいがしますよ。
 3. 変な音がするので、車を止めて下を見てみた。
 4. 夜中に部屋のドアが開く音がした。
 5. このごはん、ちょっと変な味がするけど大丈夫？
 6. このアイスクリームはフルーツの味がするけれど、何が入っているんですか。

■ 文型・表現練習

(1) たとえる

1. 人間の体を車にたとえると、食べ物は_____に当たる。
2. 彼を動物にたとえると_____だ。_____からだ。
3. 私の国では_____はよく_____にたとえられる。

(2) いわば

1. 今の私は全く自由がない。いわば羽をとられた_____。
2. 私は日本に留学して、大学を卒業後、日本で_____。
だから、日本はいわば第二の故郷だ。
3. 小さいころからずっとここに住んでいるので、この辺のことは何でも知っている。いわばこの辺は自分の家の_____。

(3) 『いわゆる』か『つまり』のどちらかを入れなさい。

1. 来年、定年で退職するので、()第二の人生をどのように送ろうか、今考えているところだ。
2. 山田さんは80年卒業で、私は85年卒業です。()私の先輩に当たります。
3. 彼は私と違って()エリートコースに乗って出世した人だ。
4. 最近、何でも100円で売るという、()100円ショップが増えてきた。
5. 病気の原因にはいろいろあるが、ストレスと関係のあるものが少なくない。()ストレスを減らせば、ある程度病気を予防できるということだ。

(4) ～と呼ぶ

1. 彼女の名前は「_____」だから、みんなから「_____」と呼ばれている。
2. 日本では学校の先生のほかにも、_____や小説家などが先生と呼ばれている。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いて見ましょう。

<トピックの例>

- ・ 『クラスメート』: あなたのクラスメートを何か動物にたとえてください。なぜそう思うのかも書いてください。
- ・ 『私の国』: 日本の富士山のように、あなたの国にあるもので、代表的な場所や建物を紹介してください。
- ・ 『私の好きな言葉』: あなたが好きな言葉(格言、名言、慣用表現など)を紹介してください。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

(1) 五感に関連する単語

- ・目：見える
- ・口：味がする / 甘い、苦い、辛い、^{しおから}塩辛い、しょっぱい、酸っぱい
味が濃い／薄い 味があっさり／こってりしている。
- ・鼻：においがする / いい香りがする、臭い
- ・耳：聞こえる、音がする / 大きな音がする、うるさい、静か
- ・肌：感じる / つるつるする、ざらざらする

(2) 「～み」の単語

※ 形容詞から作られるが、「～さ」と違って数は限られている。

ほとんどは感覚的にとらえたものを表す。

※ 「～さ」の形と「～み」の形の両方がある場合は、「～さ」の単語のほうが測ることができる、数で表すことができるという意識がある。

1. そのように感じるもの

- ・悲しい → 「悲しみ」：彼女の悲しみはみんなの予想以上だった。
- ・痛い → 「痛み」：痛みがなかなかとれない。
- ・楽しい → 「楽しみ」：今度会う日が楽しみだ。
※ 先生が来たので楽しさは2倍になった。
- ・重い → 「重み」：この1勝は私にとっては非常に重みがある。
※ 重さを測る。
- ・深い → 「深み」：彼女の演技には深みがある。
※ 川の深さを測る。

2. そのよう感じる形

- ・丸い → 「丸み」：車のボディ全体が丸みを帯びている。
- ・厚い → 「厚み」：この板はかなり厚みがある。
※ 2枚の板の厚さを比べる。

3. そのように感じるどころ／点

- ・強い → 「強み」：英語がしゃべれるのが強みだ。
※ ロープの強さを調べる。
- ・弱い → 「弱み」：相手に自分の弱みを知られないようにする。
- ・深い → 「深み」：川の深み(=深いところ)にはまった。

4. そのように感じる味／もの

- ・ 甘い → 「甘み」：この料理はちょっと甘みが足りない。
- ・ 辛い → 「辛み」：このスープは辛みがちょっとあっておいしい。
- ・ 苦い → 「苦み」：この果物は苦みが強くて食べられない。
- ・ うまい → 「うまみ」：化学調味料にはうまみの成分が入っている。

■ 聴解ミニテスト



◇録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答え 1 2 3 4



程度・変化(2) 子供の時の夢

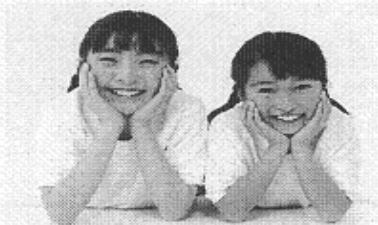


今年の春地元の大学を卒業して大阪のデザイン会社に就職することが決まった。それで、引っ越しをすることになって、押し入れの中の物を整理していた。奥の方にあった箱のふたを開けると小学校の卒業文集が入っていた。題名は「将来なりたい職業」。私は懐かしくなって、作業を少しばかり休んで読んでみることにした。

それは本当に自分が書いたものかと思うほど現実と違うものだった。もし夢が実現していたら、私はパン屋さんになっていたのだ。思わず笑ってしまった。一般的に子供がその職業にあこがれる理由は単純なことが多い。だから変わるのは当然だ。それに、大きくなるにしたがって、だんだん現実を見るようになるから夢を持ち続けることは難しいのだろう。

男の子のあこがれの職業を調査するとたいていはスポーツ選手が1位か2位になる。しかし、実際にプロの選手になれるのはほんの一部の人だけだ。成長するにつれて自分の適性や限界が分かってくる。女の子の場合は私のように「食べ物屋さん」になりたいという子が多いらしい。でも、社会のことを学ぶにつれて、その大変さが分かってくる。

大人になることは夢がなくなることなのだろうか。子供のころの夢を実現することは難しいかもしれない。でも、大きくなって心どこかに夢を持ち続けていきたいものだ。もしかしたら何年か後にパン屋を目指して頑張っている自分がいるかもしれない。



地元

文集 題名

職業 懐かしい

現実

実現

一般的

あこがれる

単純 当然

調査

適性

(~て)くる

食べ物屋

学ぶ

心 (~て)いく

目指す

■ 本文設問

- (1) 筆者の子供のころの夢と実際にすることになった仕事は何ですか。
 - (2) 筆者はなぜ「卒業文集」を読んで笑ってしまったのですか。
 - (3) なぜ子供のころの夢はなかなか実現しませんか。
- ◇ 筆者はこの後、「卒業文集」をどうすると思いますか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	： <small>じもと</small> 地元 <small>ぶんしゅう</small> 文集 <small>だいめい</small> 題名 <small>しよくぎょう</small> 職業 <small>げんじつ</small> 現実 <small>どうぜん</small> 当然 <small>てきせい</small> 適性 <small>たものや</small> 食べ物屋 <small>こころ</small> 心
な形容詞	： <small>いっぱんてき</small> 一般的 <small>たんじゆん</small> 単純
い形容詞	： <small>なつ</small> 懐かしい
名詞／動詞Ⅲ	： <small>じつげん</small> 実現(する) <small>ちようさ</small> 調査(する)
動詞	： <small>あこがれるⅡ</small> あこがれるⅡ <small>まな</small> 学ぶⅠ <small>めざ</small> 目指すⅠ

[補助動詞]★(～て)くる／いく (※変化の用法)

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 実際に* 当然 懐かしい 一部* 現実 】 * 印は既習

- (1) お世話になったらお礼を言うのは()だ。
- (2) まだ()の学生しかそのことを知らない。
- (3) 小学生のころが()。
- (4) ()やってみたら、けっこう難しかった。
- (5) 社会に出ると、()の厳しさがよく分かる。

【 実現 作業* 調査 学ぶ 目指す あこがれる 】 * 印は既習

- (1) 子供のころからの夢が()した。
- (2) 最近の()によると、大学を卒業しても就職できない人が増えているらしい。
- (3) 高校の時は結婚に()いたけど、今はそんなにしたいとは思わなくなった。
- (4) プロ野球選手を()、小さいころから野球を始めた。
- (5) ()は計画のとおりに進んでいた。
- (6) 大人になったらいろいろと社会のことを()ことになる。

■ 文型・表現

「程度・変化」の文型・表現(2)

(1)変化を表す基本文型

1)名詞

- ・ 山田さんは大学を卒業して先生になった。

2)な形容詞

- ・ そうじをしたので部屋がきれいになった。

3)い形容詞

- ・ これからだんだん暑くなる。

4)動詞

1. 1年間日本語を勉強して、新聞が読めるようになった。
2. 彼女とけんかしてからはあまり話さなくなった。

(2) ~てくる/いく → ★L.10「~てくる/いく」(動作の方向)

1) <動作の動詞>の場合

(※「~てきた」で<今までのこと>、「~ていく」で<これからのこと>を表す)

(※た形「きた」で今の時点のことを表す)

1. 今までは話す練習をたくさんしてきましたが、これからは読む練習もしていきます。
2. つらいこともあるけれど、これからもこの仕事を続けていこうと思う。
3. 今まで両親と一緒に暮らしてきたが、就職したら一人で生活していこうと思う。

2) <変化の動詞>の場合

(※「～てきた」で<変化の開始・途中>、「～ていく」で<変化の進行>を表す)

1. やっと日本の生活にも慣れてきた。
2. だんだん寒くなってきましたね。これからもっと寒くなっていくんですね。
3. この辺もビルやマンションが建って、だんだん緑が少なくなってきた。
4. (キャンプ場で)「あ、火が消えてきた。どうしよう！」

3) <感覚・思考の動詞>の場合

(※「～てきた」で<そのような感覚が生まれた>ことを表す。「～ていく」はない)

1. その意味がだんだん分かってきた。
2. (車に乗っている時)「あ、富士山が見えてきた」
3. (パレードが来るのを待っている時)「あ、パレードの音楽が聞こえてきた」
4. いい考えが浮かんできた。
5. 彼の話聞きながら、だんだん腹が立ってきた。

注)「雨が降り始めた」という意味で、「雨が降ってきた」という言い方もできるが、「～てきた」は実際にそこにいる時に使われるのが普通。

(3) ～につれて・・・、～にしたがって・・・ (※二つのことが一緒に変化する)

1. 暗くなるにつれて、気温も下がってきた。
2. 試験の日が近づくにつれて、だんだん不安になってきた。
3. 嫌なことがあっても、時間がたつにしたがって、少しずつ忘れていくものだ。
4. 年をとるにしたがって、だれでも体が弱くなる。
5. 日本語は初めはやさしいと思っていたが、勉強が進むにつれて、その難しさがだんだん分かってきた。

(4) Xは<動詞普通形>+ほどだ/ほど・・・ (※Xがどの程度か表現する)
+ほどではない

→ ★L1「Xは<名詞>ほど・・・ない」

→ ★L8「思っていたほど・・・ない」

1. シュミットさんは3か月で驚く/信じられないほど日本語が上手になった。
2. このアトラクションは1時間以上待たなければならないほど人気があるそうだ。
3. 今年の冬は非常に寒かった。あの大きな滝が凍るほどだった。
4. おかしくて、おなかが痛くなるほど笑った。

注)上の用法は「くらい」を使っても同じ表現ができる。

5. あの学生は通訳ができるくらい日本語が上手らしい。
6. あそこはとても分かりにくいところにある。地図を見ながら行っても迷うくらいだ。

注)しかし、否定文の時には「ほど」だけが使える。

1. ちょっと熱があるけれど、病院に行くほどではない。(=病院に行くほどひどくない)
2. 日本語はちょっとできますけど、まだ新聞が読めるほどじゃありません。
3. だいぶ涼しくなってきたけれど、まだセーターを着るほどではない。

(5) <数>+ばかり (※「くらい」「ほど」と同じ)

→ ★L8「<名詞>+ばかり」「<動詞て形>ばかりいる」

1. 1週間ばかり休みをとって旅行することにした。
2. この先、100メートルばかり行くと交番がありますから、そこで聞いてください。
注)お願いの文で使う場合には、その数だけほしいということをやわらかく伝えることができる。
3. すみませんが、1,000円ばかり貸していただけませんか。
4. そのケーキを3つばかりください。

注)慣用句「少しばかり」

5. この辺で少しばかり休んでいきませんか。

その他の文型・表現

◆ ~たいものだ

(※「実現は難しいだろうけど、なんとかしたい／できたらいいな」という気持ちが入る)

→ ★L9「~ものだ」(真理、当然) ★L11「<動詞た形>ものだ」(過去の習慣)
★L17「<い形容詞>ものだ」

1. そんなに素晴らしいものだったら、ぜひ見たいものですね。
2. 私も宮田先生のように立派な人になりたいものだ。
3. 私もある夫婦のように老後は船でのんびり世界一周旅行などしてみたいものだ。

■ 文型・表現練習

(1) ~てくる／いく

1. 今まで_____使ってきましたが、これからは_____。
2. 今までは部長が一人で全部決めてきたけれど、これからは_____
_____ことになりました。
3. 最近ちょっと_____みたい。ダイエットしようかな。

4. 講義がとてもつまらないので、だんだん_____。
5. 日本に来る前にはどうして日本人は_____か、よく分からなかったが、今は少し分かってきた。

(2) ~につれて・・・、~にしたがって・・・

1. 舟に乗って川下りを楽しんだ。上流の方では流れが急で怖かったが、_____につれて、流れはゆっくりになった。
2. 試合が_____につれて、観客の興奮も高まった。
3. 人口が増加するにしたがって、_____。
4. 秋が深まるにしたがって、_____。

(3) <動詞>ほどだ/ほど・・・

1. 山本さんが、外を歩いている人にも_____ほど大きな声で泣いていた。
2. セールスマンの仕事は大変らしい。
買ったばかりの靴が一か月以内に_____ほど歩くらしい。
3. 高校のテニスクラブの練習はきびしかった。
練習の次の日には手が痛くて_____ほどだった。

(4) <動詞>ほどではない

1. けがはたいしたことはありませんでした。_____。
2. A「荷物、重そうですね。手伝いましょうか」
B「いいえ、大丈夫です。ちょっと重いですけど、_____」

(5) <数>+ばかり

1. 「すみませんが、_____待っていただけませんか」
2. お店には店員が二人とお客が_____いるだけだった。

(6) ～たいものだ

1. そんなにおいしいものなら、私もぜひ一度_____。
2. 私も機会があれば、ぜひ_____。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『日本の生活』：日本に来る前と来たあとであなたの生活はどのように変わりましたか。
- ・ 『町の変化』：あなたの知っている町はどのように変わってきましたか。これからどう変わっていきますか。
- ・ 『子供のころの夢』：子供のころの夢を今でも持ち続けていますか。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 専門的な職業の単語

- ・ 医者、看護婦、弁護士、教師、(大学の) 教授、エンジニア(技師)、デザイナー、美容師、カメラマン、音楽家(作曲家、作詞家)、歌手、ミュージシャン、俳優(男優、女優)、役者
- ・ スポーツ選手
(野球、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール、バレーボール、バスケットボール、ゴルフ、テニス、水泳、柔道、空手)

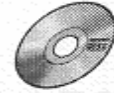
■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答え 1 2 3 4

対比・逆接(2) 笑いの効果



私は小さいころから写真のときに「チーズ」と言わされるのが嫌だった。周りの人はみんないい笑顔を作っている。一方、私は笑顔を作るのが苦手で、にこにこではなく、にやにやした顔になってしまう。それが嫌で写真のときにはいつも無愛想になってしまうのだ。面白くないのに笑顔を作るなんてとてもできないことだと思っていた。ところが、最近笑いには実は不思議な力が隠されていることが分かり、これまでの考え方を変えなければいけないと思った。

こんな実験をしたらしい。落語や漫才などを見て笑ってもらう。そして見る前と見た後の血液をとり、その中にあるNK細胞の数が増えているかどうか調べる。この細胞はウイルスやガン細胞を殺す働きをするらしい。その結果は、全体を見ると、NK細胞の数が増えた人は約7割だったのに対して、減った人は約3割だった。さらに、対象をおかしくて思い切り笑った人だけに限ると、その割合は8対2になったそう。つまり、笑うことによって体の免疫力が高まり、ガンにかかりにくくなることが確認されたのだ。

また、別の実験では、たとえ楽しいことがなくても、笑顔を作ることによって楽しいという気分になれることも分かった。そして、楽しい気分になれば、本当に笑った時と似た効果が得られるらしい。昔から「病は気から」とか「笑う門には福来たる」ということわざがあるが、どうやら本当だったようだ。



チーズ
 笑顔 一方
 苦手 にこにこ
 にやにや
 無愛想
 笑い
 不思議 隠す
 これまで
 落語 漫才
 血液 NK細胞
 ウイルス
 ガン 殺す
 働き 約～
 ～割 対象
 思い切り 限る
 割合 対
 免疫力
 また たとえ

ことわざ
 どうやら

■ 本文設問

- (1) 筆者はこれまでなぜ写真のときには無愛想だったのですか。
 (2) 笑いに隠されていた不思議な力というのは何ですか。
 (3) 何が「8対2」だったのですか。その数は何を意味していますか。
 ◇ 筆者はこれからは写真のときは笑顔を作るでしょうか。なぜですか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	：笑顔 <small>えがお</small> 笑い <small>わら</small> 落語 <small>らくご</small> 漫才 <small>まんざい</small> 血液 <small>けつえき</small> ガン <small>はたら</small> 働き <small>たいしょう</small> 対象 <small>わりあい</small> 割合
な形容詞	：苦手 <small>にがて</small> 無愛想 <small>ぶあいそう</small> 不思議 <small>ふしぎ</small>
動詞	：隠すⅠ <small>かく</small> 殺すⅠ <small>ころ</small> 限るⅠ <small>かぎ</small> (対する)→ ★～に対して <small>たい</small>
副詞	：思い切り ★たどえ(～ても) どうやら
接続詞	：★一方 ★また
その他	：「チーズ」 にこにこ にやにや これまで 約～ ～割 ～対～ <small>やく わり たい</small> [専門用語] 細胞 <small>さいぼう</small> NK(細胞) <small>エヌケイ さいぼう</small> ウイルス <small>めんえきりょく</small> 免疫力 [ことわざ] 『病は気から』(病) 『笑う門には福来たる』(福、門) <small>やまい き わら かど ふく き ふく かど</small>

【基本動詞の用法】

- ・(病気に)かかる。

【自動詞と他動詞】

「隠れるⅡ」 / 「隠すⅠ」

- ・その時泥棒は家の人に見つからないように、カーテンの後ろうしに隠れていたらしい。
- ・日記を隠しておく。

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【隠す 限る 高まる* 働き 苦手 不思議 思い切り どうやら】 * 印は既習

- (1) 人間にはまだ科学では説明できない()力がある。
 (2) 下を見て歩いていたら、()ドアに頭をぶつけた。
 (3) 先生が来たので急いでマンガ本を机の中に()。
 (4) このプールの利用は中学生以上の人に()いる。
 (5) ()雨はやんだようですね。それじゃ、出かけましょうか。
 (6) 心臓は血液を体全体に送る()をしている。
 (7) 英語と国語は得意だったが、数学は()だった。
 (8) みんなの期待はだんだん()いった。

■ 文型・表現

「対比・逆接」の文型・表現(2)

(1) Aは ~のに対して、Bは・・・

1. 妻は何にでも積極的なものに対して、私はどちらかと言うと消極的なほうだ。
2. このラーメンのスープはこってりしているのに対して、あのラーメンのはあっさりしている。
3. 一般企業では女性の上司も珍しくなくなったのに対して、政治の世界ではまだまだだ。
4. 調査の結果は、好きだと答えた人が3割だったのに対して、嫌いだと答えた人は6割だった。そして、どちらでもないという人が1割程度いた。

(2) Aは・・・それに対して、Bは・・・

1. 冬は日本海側では雪が降る。それに対して、太平洋側は晴れたいい天気が多い。
2. こちらの店はお昼になると、長い列ができるほど人気がある。それに対して、向かいの店はお昼になっても中はがらがらだ。

注)「～に対して」は「対する」という動詞の基本的な使い方がある→長文読解<3>

3. 部長は新人に対してとてもきびしい。

ぶつけるⅡ(⇔ぶつかる*) 国語 数学 どちらかと言うと / 言えば 一般
きぎょう にほんかい たいへいよう れつ
 企業 日本海 太平洋 列 がらがら

(3) Aは・・・。一方、Bは・・・

1. 弟さんは小さいころから絵が好きで、美術大学に進学した。
一方、お兄さんは音楽が得意で、音楽大学に進学した。
2. どちらも女性週刊誌だが、こちらは20代前半の若者を対象にしている。
一方、こちらは20代後半から30代の独身女性を対象にしている。

(4) Aは...。ところが、Bは・・・ → ★L4 <対比・逆接の接続詞>

1. 二人は一緒に勉強を始めて、奥さんの方はもう漢字がだいふ読めるようになった。ところが、ご主人の方はまだひらがなを勉強しているところだ。
2. あの二人は双子の兄弟で、お兄さんの方は甘いものに目がない。
ところが、弟さんは甘いものは全くだめで、辛いものが大好きなのだそうだ。

その他の文型・表現

(1) 書き言葉のスタイル (※文と文のつなぎ方：<て形>ではなくて<ます形>の語幹を使う)

- ★L.17「～であるの形」
- ★L.18「～ずに」(※「～ないで」の書き言葉のスタイル)

1. 昨夜は会社の同僚と食事をし、10時ごろ帰宅した。
2. 友人と居酒屋に行き、お酒を飲みながら楽しく話をした。
3. 山田さんが最初に意見を出し、それについてみんなで話し合った。
4. テーブルの上に皿を並べ、横にナイフとフォークを置いた。
注)い形容詞、名詞／な形容詞の否定形、そして「ない」の場合は「～く」を使う。
5. 道が大変広く、中央と両側には木が植えてあった。
6. あのすし屋は、ねたが大きく新鮮で、その上安いのでよく食べに行く。
7. これは日本製ではなく、イタリア製だ。
8. その町にはスーパーが一軒もなく、隣の町まで買いに行かなければならなかった。

(2) たとえ ～ても、・・・ (※「仮にそんなことがあっても」)

1. たとえお金をもらっても、そんな悪いことはできない。
2. たとえ全く言葉が分からなくても、気持ちは通じるはずだ。
3. たとえ大きな地震が来ても、壊れないように造られている。

(3) 『また』 (※接続詞：一つの大きなテーマの中でほかのことについて話す時)

1. ここは有名な観光地で、夏は大勢の人がハイキングに訪れる。
また、冬はスキー客が大勢集まる。
2. 新潟は米の生産が多いところだ。また、米から造られるお酒にもおいしいものが多い。

しんがく 進学(する) とくい 得意(な) しゅうかんし 週刊誌 ぜんはん 前半(⇔後半) だい ふたご 代 双子 さくばん 昨年 どうりょう 同僚
きたく 帰宅(する) いざかや 居酒屋 ちゅうおう 中央 しんせん 新鮮 いっけん 軒 つう 通じるⅡ かんこうち 観光地 おどず 訪れるⅡ
せいさん 生産(する)

■ 文型・表現練習

(1) ～のに対して・・・

1. 妹さんに比べて、お姉さんのほうはずいぶん派手だ。妹さんは普通の眼鏡めがねをかけて、髪も普通のヘアスタイルなのに対して、お姉さんは_____。
2. 子供の遊び方を調べた。家でテレビゲームなどをして遊ぶ子供が7割くらいだったのに対して、_____。

(2) 一方

1. 雪国では雪はあたりまえなので、つもってもそんなに問題は起きない。一方、ほとんど雪が降らない東京などで雪がつもると、_____。
2. 日本では_____。一方、私の国では_____。

(3) 書き言葉のスタイルで文を完成しなさい。

1. 3時間_____、やっとコンサートの切符を買うことができた。
2. 4歳の時にピアノを_____、10歳の時にコンクールで優勝した。
3. あの人は学生_____、先生だった。
4. この部屋は北向きなので、日当たりが_____、昼間でも暗い。

(4) たとえ ～ても・・・

1. たとえ遠くへ行ってしまっても、あなたのことは_____。
2. たとえ_____、この仕事は休むことはできません。
3. たとえ家族、友人のすべてが_____、私は自分がやりたいと思ったことをやります。

は で 派手(な) ヘアスタイル[=髪型] 雪国 あたりまえ (雪が)つもる I
コンクール (東、西、南、北)向き 日当たり

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『**お店**』：あなたがよく利用するお店を2つ選んで、その違いを説明してください。良い点、悪い点を書きましょう。
- ・ 『**私の健康法**』：だれにでも簡単にできることで、何か健康にいいことを知っていたら教えてください。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ ^{ぎたいご}擬態語(感情の表現)

- ・ にこにこ、にやにや する
- ・ げらげら、くすくす 笑う
- ・ しくしく、ぎゃーぎゃー 泣く
- ・ かんかんになって 怒る
- ・ いらいら する
- ・ はらはら、どきどき する
- ・ わくわく する

■ 聴解ミニテスト

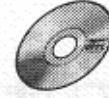


◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

聴解新出語：団体(写真)

答 1 2 3 4

伝聞(2) 絵はがき～富士登山



暑い日が続いていますが、いかがお過ごしですか。私はこれから富士山に登るところです。五合目までバスで来たのですが、そこにポストを見つけたので先生に絵はがきを書くことにしました。

ここはまるでクーラーがきいた部屋のように涼しくて気持ちがいいですが、頂上では真夏でも朝は4～5度になると聞いています。ですから、リュックサックには雨具だけでなく、ウールのセータも入れてあります。道は歩きにくくて、落石の危険もあると言われているので、無事に頂上まで行けるかどうかちょっと不安です。お昼にここを出発して夕方までに八合目の山小屋に行って、そこで仮眠をとります。とても狭い場所に服を着たまま寝るらしいです。日の出に間に合うように早朝2時ごろに起きて頂上を目指す予定です。

ところで、富士登山を決めたときに友達からおもしろい日本語を教わりました。「一度も登らぬばか、二度登るばか」。だから1回は登ったほうがいいと言われました。とにかく下に広がる雲の海、頂上から見るご来光はすばらしいとのことです。こんなに高い山に登るのは初めてなので、そこから見える景色を想像しただけでわくわくしてきます。

それではどうして「二度登るばか」なのか、その意味を聞いてみると、それは登ってみればわかるとのことでした。ちなみに、その人は「私は3回も登ったので大ばかだ」と言っていました。とにかくこの登山は私にとってきっといい経験になるはずです。

それでは行ってまいります。お土産^{みやげ}を楽しみにしていただきます。

～合目

クーラー きく
頂上 真夏
リュックサック
雨具 ウール
落石 無事に

山小屋 仮眠
日の出
早朝

教わる
とにかく
広がる 雲
ご来光
想像

ちなみに
大ばか

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 とる* きく 教わる 広がる とにかく 不安 無事 想像 】 *印は既習

- (1) 初めはできるかどうか()だったが、だんだん慣れてきた。
- (2) このエアコンは壊れたようだ。冷房が全然()。
- (3) ()このことを先生に知らせて、それからどうすればいいか考えましょう。
- (4) 夜中の仕事ですが、途中で30分くらい仮眠を()。
- (5) 山田さんは()していたよりずっとすばらしい人だった。
- (6) 事故のニュースを聞いたときには心配しましたが、()だと知って安心しました。
- (7) 佐藤さんの奥さんにおいしいすき焼きの作り方を()。
- (8) 前はこの道路は狭くて危なかったが、工事をしてずいぶん幅が()。

■ 文型・表現

「伝聞」の文型・表現(2)

(1) ～とのことだ (※「～ということだ」よりも硬い表現 →★L5)

- 手紙によると、元気でやっているとのことです。
- 今朝のニュースによると、東京で電車の衝突事故があったとのことだ。
- 先週退院されたとのこと、一安心しました。
- 今週中には戻られるとのことでしたが、予定が変わったのかもしれないね。
注)フォーマルな会話や書き言葉では「～とのこと、・・・」の形も使われる。
- 息子さん、希望していた会社に就職なさったとのこと、本当によかったですね。
- [手紙]来月、上京なさるとのこと、楽しみにしております。
注)伝言を伝える場合にも使われる → ★会話の文型・表現<6>

(2) ～という (※書き言葉：一般に広く知られていることについて)

- これからはいわゆる「シルバー産業」がますます大きくなるだろうという。
- 昔、日本では女性は化粧の一つとして歯を黒くすることがあったという。
- [物語]「昔、昔、あるところにおじいさんとおばあさんが仲良く暮らしていたという」

(3) ～と聞いた／聞いている (※「～と」を使って聞いた内容を述べる)

注「聞いている」の形は<今それを聞いている>という意味ではない。

1) 基本的な文型

1. 山田さんも一緒に行くと聞いた／聞いている。
2. ストライキは中止になったと聞きました／聞いています。
だから、あしたは電車は朝から動くでしょう。

2) 「～と聞いた／聞いているんですが、～」(※聞いた情報を確認する文型)

1. 日本は物価が高いと聞いていますが、本当にそうなんですか。
2. 佐藤さんが会社を辞めると聞いたんですけど、本当ですか。

3) 「～と聞いていたんですが、～」

(※聞いていた情報が実際と同じだった／違ったこと述べる文型)

1. この辺にはエスニック料理の店がたくさんあると聞いていたんですが、本当に多いですね。
2. 都心には自然が少ないと聞いていたけれど、実際にはけっこうあることが分かった。

(4) ～と言われている (※受け身文を使って、広く知られている内容を述べる)

1. 流行は繰り返すと言われている。
2. いわゆる「クローン人間」をつくることは可能だと言われている。
3. コンピューターを使って授業する学校がこれからもっと増えると言われている。

その他の文型・表現

(1) ～だけでなく、～も

1. 雨だけでなく、風も強くなってきた。
2. ディズニーランドはアメリカのテーマパークだが、アメリカだけでなく日本やフランスにもある。
3. 会話だけでなく、読解の練習もしなければ総合的な実力はつかない。

(2) <動詞た形>まま・・・ (→ そのまま *)

1. とても疲れていたなので、服を着たまま寝てしまった。
2. 暗いと心配だから、電気をつけたまま寝る人がいるらしい。
3. 日本の習慣を知らない外国人は靴をはいたままうちに上がることがある。
4. 冷蔵庫に入れたまま、食べるのを忘れてしまった。

ストライキ エスニック(料理) クローン(人間) テーマパーク 読解
そうごうてき
 総合的(な)

(3) 『ちなみに』 (※関係がある情報を付け加える接続詞)

1. 主人は空手を習っていて、今は2段です。ちなみに私も習っていますが、まだ白帯です。
2. 昨年の交通事故による死者は1万2千人だった。ちなみに、今年の今月までの死者は約8千人だ。
3. 今回の期末試験で私は92点でしたが、最高点は95点だったそうです。ちなみに、平均は65点だったとのことでした。

■ 文型・表現練習

(1) ～とのことだ

1. 今の自動車はガソリンで動くが、将来は_____。
2. 奥さんの話では、山田さんは_____と
のことなので、また来週電話することにした。
3. _____とのことでしたが、
急用で来られなくなったと連絡がありました。

(2) ～と聞いている／～と聞いた

1. _____と聞きましたが、どこにあるんですか。
2. _____と聞いていますが、本当ですか。
3. _____と聞いていましたけど、本当でした。

(3) ～と言われている

1. 現在の世界の人口は約60億人だが、50年後には_____。
2. 今世紀の終わりまでには、_____ことができるだろうと言われている。

(4) ～だけでなく、～も

1. _____、野菜も食べないと体によくないですよ。
2. 私のせいで、_____、周りの人みんなに迷惑をかけてしまった。
3. この大学に入るためには、_____、英語の試験も受けなければならない。

(5) ～たまま・・・

1. クーラーを_____寝てしまって、かぜをひいた。
2. せっかく手紙を書いたのに、かばんに_____忘れてしまい、次の日に気がついた。

■ 作文練習

- ◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・『絵はがき』：あなたがこれまでに行ったことがある場所について、遠くにいる友だちに絵はがきを書いて教えてあげましょう。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

- ◇ 趣味に関連する単語

登山、読書、音楽／映画鑑賞、園芸、集める。

■ 聴解ミニテスト



- ◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答 1 2 3 4

時(2) 梅雨



日本には春、夏、秋、冬の4つの季節のほかに、毎年6月の中旬から7月の中旬にかけて雨がちの天気が続く季節がある。それが梅雨である。日本列島は南北に細長いため、地方によって梅雨の時期も雨量も異なる。沖縄は最も早く梅雨に入り、そして早く梅雨が明ける。北海道には梅雨がない。

確かに梅雨の間はしとしととよく雨が降るのだが、ときどき夏のような青空が広がることもある。また、年によって雨らしい雨がほとんど降らないときもあれば、集中的に降り、各地で洪水による被害が出ることもある。しかし、雨は大切な水資源なので、雨があまり降らないと夏の水不足が心配になる。

また、梅雨の間は湿度が高くなり、じめじめした日が続くので、晴れた日には窓を開け、部屋や押し入れに風を通したり、湿った^{ふとん}布団を干したりする。それをしないとかびが生えることもある。それに、気温と湿度が高いと食べ物が腐りやすいので食中毒にも気をつけなくてはならない。冷蔵庫に入れたものは忘れがちだが、悪くならないうちにできるだけ早く食べてしまうことだ。

ところで、毎年気象庁から梅雨明けが発表される。梅雨のうち気分も湿りがちになるが、この発表があるとそんな気分も晴れる。やはりじめじめした日よりもからっと晴れた日のほうがいいものだ。商売をしている人たちにとってはこの発表はもっと重要なことだ。いつ明けるかによって、商品の生産量や出荷の時期が大きく異なるからだ。ビールはその影響をかなり受ける商品の1つだそう。ちなみに梅雨がなかなか明けないと水着もあまり売れないらしい。

中旬 ～がち
 梅雨 列島 南北
 細長い 地方 時期
 雨量 異なる
 明ける しとしと
 青空
 集中的に
 洪水
 資源
 湿度 じめじめ
 湿る 干す かび
 食中毒
 梅雨明け
 からっと
 商売
 出荷
 水着

■ 本文設問

- (1) 梅雨はどんな季節ですか。
 (2) 梅雨の時期に注意しなければならないことはどんなことですか。
 (3) 商売をしている人にとって、気になることは何ですか。
 ◇ 水着以外に梅雨の影響を受けるものにどんなものがあるでしょうか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	ちゅうじゆん	つゆ	れっとう	なんぼく	ちほう	じき	うりよう	あおぞら	こうずい
	中旬	梅雨	列島	南北	地方	時期	雨量	青空	洪水
		しげん	しつど	かび	しよくちゆうどく	つゆあ	みずぎ		
		(水)資源	湿度	かび	食中毒	梅雨明け	水着		
い形容詞	ほそなが								
	細長い								
名詞/動詞Ⅲ	しょうばい		しゅつか						
	商売(する)		出荷(する)						
動詞	こと		つゆあ		しめ	ほ			
	異なるⅠ		(梅雨が)明けるⅡ		湿るⅠ	干すⅠ			
副詞	しゅうちゆうてき								
	集中的に		からっと						
その他									
	★～がち		しとしと(→関連語)		じめじめ(する)				

[基本動詞の用法]

- ・(被害が)出る (風を)通す

[動詞と名詞の結び付き]

- ・「明ける」：梅雨が明ける→「梅雨明け」、夜(よ)が明ける→「夜明け」
- ・「生える」：かび、髪、ひげ、歯

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 出る* 明ける 干す 湿る 異なる 生える* 】 * 印は既習

(1) やっと梅雨が()。
(2) パンにかびが()。
(3) 大雨で各地に被害が()。
(4) 洗濯物をベランダに()。
(5) 布団が()いて気持ちが悪い。
(6) 国籍も年齢も()人たちが一緒に勉強している。

■ 文型・表現

「時」の文型・表現(2)

(1) ～うちに (※「その状態が変わる前に」という気持ちが強い) → ★ L.6 文型「～間に」

1) 名詞

1. やっと子供が寝た。今のうちに洗濯をしまおう。
2. 朝のうちに勉強をすませて、午後は出かけるつもりだ。

2) い形容詞、な形容詞

1. 若いうちにいろいろな経験をしたほうがいい。
2. 両親が元気なうちに、一度海外旅行に連れて行ってあげたい。

3) 動詞 (「いる」「ある」)

1. 先生が学校にいるうちに、分からないところを質問する。
2. 電車があるうちに帰りたい。タクシーで帰ると1万円以上かかるからだ。

4) ～ている(1) <状態>

1. 子供たちが学校に行っているうちに、部屋を掃除する。
2. 先生が黒板のほうを向いているうちに、おにぎりを1つ急いで食べた。

5) 否定形

1. 電話番号を聞いたので、忘れないうちにメモしておいた。
2. 暗くならないうちに帰りましょう。(=明るいうちに～)
3. 冷めないうちにどうぞ召し上がってください。(=熱いうちに～)
注「～てから、それをする」のが普通なのに「～する前にそれをする」という気持ちが入る場合がある。
4. 映画が全部終わらないうちに、お客が帰り始めた。
5. 花が全部咲かないうちに、だれかが切ってしまったようだ。

6) ～ている(2) <動作> (<状態>)

(※4と違って、「その間に自然に何かが起こった」という意味)

1. 本を読んでいるうちに、眠くなってしまった。
2. 用事があって出かけたのだが、途中で友達と会って話しているうちに、用事を忘れてしまった。
3. 初めはあまり好きではなかったが、付き合っているうちに、だんだん好きになってきた。

4. 友達からの手紙を読んでいるうちに、涙が出てきた。
5. この町に住んでいるうちに、この地方の方言が身についた。

(2) AからBにかけて (※AからだいたいBのころまで)

注)「～から～まで」と違って、期間をはっきり示さない。そして<連続>ではない場合もある。

1. 今晚からあすの朝にかけて、雨が降るでしょう。
2. 年末からお正月にかけて海外で過ごす人たちがかなりいる。
3. この髪型は80年代の終わりから90年代のはじめにかけて流行した。

注)<場所>を表す場合もある。

4. 関東地方から東海地方にかけて、弱い地震があった。
5. この辺から次の駅にかけて、屋台がたくさん出ている。

その他の文型・表現

(1) ～がち

1) <名詞>がち (※そのような状態が多い ※用例は少ない：慣用句)

1. うちの子は病気がちだ。
2. このごろは曇りがちの日が続いている。
3. 梅雨の時期は雨がちの天気が続く。

2) <動詞(ます)形>がち (※そのような悪いことになる傾向がある)

1. 田中さんは最近体をこわして、会社も休みがちだ。
2. 雨の日には電車の中に傘を忘れがちなので気をつけましょう。
3. 一度大きな失敗すると「自分はだめな人間だ」と考えがちだが、あきらめてはいけない。
4. ストレスがたまると、つい食べすぎてしまいがちなので気をつけよう。
5. A「人間は悪いほうにばかり考えていると、本当に悪いことが起こりますよね」
B「うん。そういうことはありがちなだね」

(2) (いかにも)～らしい、～らしい～

(※典型的：その人、ものごとの特徴がよく現れている) → ★L5「～らしい」(※伝聞)

1. A「近藤さんはきのう慌てて家を出たので、くつ下の右と左が別々なことに気がつかなかっただけよ」
B「いかにも彼女らしいね」
2. 首相のインタビューを聞いたが、いかにも政治家らしい答え方だった。
3. 花子さんは小学生の時は男の子のようだったけど、大きくなるにしたがって女らしくなってきた。
4. 「宿題をしないで学校に来るなんて、キムさんらしくありませんね。何かあったんですか」
5. 最近、雨らしい雨がぜんぜん降らない。
6. 子供のころから病気らしい病気にかかったことがない。

(3) <動詞辞書形／ない形>ことだ

(※「～したほうがいい／～しなさい」の意味で使う硬い表現)

1. 優勝したければ、もっと勉強することだ。
2. 人から信頼されたかったら、うそはつかないことだ。
注)書き言葉では「～こと」で文章を終える。意味は「～てください」「～しないでください」
3. 集合場所：学校ロビー
集合時間：午前9時半(遅刻しないこと)

■ 文型・表現練習

(1) ～うちに

1. 独身のうちに_____。
やはり結婚するとなかなかできないからだ。
2. 「ジュースをどうぞ。遠慮なさらないで、どうぞ_____」
3. A「かぜをひいたようです」
B「ひどくならないうちに_____たほうがいいですよ」
4. _____うちに、相手は電話を切ってしまった。
5. _____、だんだん国に帰りたくなってきた。

いかにも 首相 インタビュー(する) 政治家 信頼(する)

(2) ～から～にかけて

1. _____ から _____ にかけて、地震が数回あったらしいけど、私は寝ていて全然気がつかなかった。
2. 日本では、大学の入学試験はたいてい _____ から _____ にかけて行われる。
3. 都会の朝の通勤ラッシュはすごい。だいたい _____ から _____ にかけてが一番込むようだ。

(3) ～がち

1. 土日は天気が良かったが、月曜からはずっと _____ がちの日が続いている。
2. このごろキムさんは学校を _____ だけど、病気だろうか。
3. 安いと、つい _____ てしまいがちだ。要らないものは買わないようにしよう。
4. 『二度あることは三度ある』と言われていています。悪いことは _____
_____ だから気をつけてくださいね」

(4) ～らしい、～らしい～

1. ケン「この仕事ができるかどうか自信がないんです」
キム「 _____ らしくないですね。いつものように自信を持ってやってください」
2. 梅雨はまだ明けないようですね。7月の終わりなのになかなか _____ なりませんね。
3. 男「最近男女平等ということがよく言われるけれど、やっぱり _____ らしさとか _____ らしさというのはあったほうがいいんじゃないでしょうか」
女「男は強く、女は優しくなければいけないなんて考え方は古いですよ」
男「そうですか・・・」
4. 木村さんは今まで仕事で _____ らしい _____ をしたことがない。
一方、田中さんはミスばかりで部長にしかられている。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『私の国の季節』：あなたの国の季節について書きましょう。
(1年間でも1つの季節についてでもいいです)

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

1. 天気についての単語、雨・風の擬態語

- ・ 雨／雪が降る、風が吹く、雷が鳴る／落ちる、霧が出る
- ・ 晴れる／晴れ、曇る／曇り
- ・ 雨が ばらばら／しとしと／ざーざー(と) 降る
- ・ 風が そよそよ／びゅーびゅー 吹く

2. 自然災害に関連する単語

- ・ 洪水、地震、雷、火事(火災)、(火山) 噴火、津波

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

□ 聴解新出語：賞味期限しょうみ きげん

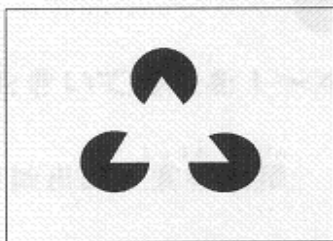
答 1 2 3 4

様子・推測(2) トリックアート



あるはずがないものが見えたり、あるはずのものが見えなかったりすることがある。決して目がおかしくなったのではない。いわゆる目の錯覚である。

例えば、下の図を見ると、白っぽい三角形が浮き上がって見える。しかし、線は引かれていない。線がないのに、白い三角形があるように見える。下の絵は婦人が斜め後ろを向いている絵であることはわかるが、実は見方を変えると老婆が現れる。なかなか見えて来ないという人は、婦人の耳の部分が老婆の目、そして首飾りの部分が口だと意識すれば現れるはずだ。婦人の姿とは違って、怖そうな老婆の顔が現れてどきっとする。面白いことに、老婆が現れたときには、婦人は見えない。反対に婦人が見えているときには老婆は見えない。実に不思議なものである。決して同時に見えることはない。



目の錯覚を利用して不思議な世界を体験したいのなら、トリックアートの美術館に行ってみるといい。展示されている作品はどれも目の錯覚を利用して平面の絵の一部が飛び出したように見える。絵の額縁も含めてすべて壁に直接特殊なべ

決して
錯覚
白っぽい
浮き上がる
婦人 斜め
老婆
部分
首飾り
姿 どきっと

トリックアート
美術館 展示
作品 どれも
平面 額縁
含める 特殊

ンキを塗ってかかされている。室内を薄暗くして、光を当てることによって、立体的に見えるのである。動物たちは絵の中から今にも飛び出してくるように見えるし(写真1)、子供は絵から落ちそうになっている。絵を見ている少年に話しかけても振り向くはずがない(写真2)。実はそれも絵の一部なのだ。しかし、後ろ姿を見ていると、今にも振り向きそうに感じるから不思議である。あなたもここに来ればそれを実感するにちがいない。

(*カラーページ参照)

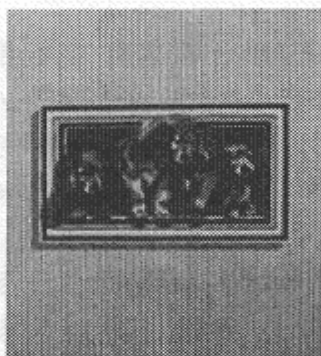


写真1



写真2

ペンキ 塗る
室内 薄暗い
立体的
少年
振り向く
後ろ姿

* 写真1・2提供協力 株式会社エス・デー(SD)

■ 本文設問

- (1) 「あるはずがないものが見える」というのはどんな場合ですか。
 - (2) 「あるはずのものが見えない」というのはどんな場合ですか。
 - (3) <写真2>にかかされている少年は、どうして今にも振り向きそうに感じるのですか。
- ◇ トリックアートの美術館では作品に直接触ることもできるし、フラッシュを使って写真をとることもできます。しかし、できあがった写真は実際に見たものとずいぶん違います。なぜでしょうか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	： 婦人 <small>ふじん</small> 斜め <small>ななめ</small> 老婆 <small>らうば</small> 部分 <small>ぶぶん</small> 首飾り <small>くびかざ</small> 姿 <small>すがた</small> トリックアート 美術 <small>びじゅつ</small>
かん 館	： 作品 <small>さくひん</small> 平面 <small>へいめん</small> 額縁 <small>がくぶち</small> ペンキ <small>しつない</small> 室内 <small>しやうねん</small> 少年 <small>うし</small> 後ろ姿 <small>うしがた</small>
な形容詞	： 特殊 <small>とくしゆ</small> 立体的 <small>りつたいてき</small>
い形容詞	： 薄暗い <small>うすぐら</small>
名詞／動詞Ⅲ	： 錯覚(する) <small>さくかく</small> 意識(する) <small>いしき</small> 体験(する) <small>たいけん</small> 展示(する) <small>てんじ</small>
動詞	： 浮き上がるⅠ <small>うきあがる</small> 含めるⅡ <small>あは</small> 塗るⅠ <small>ぬ</small> 振り向くⅠ <small>む</small>
副詞	： 決して <small>けつ</small> どきっと(する)
その他	： (白)っばい(→ 関連語) どれも

【基本動詞の用法】

- ・(光を)当てる

【自動詞と他動詞】

「向くⅠ」「向かうⅠ」／「向けるⅡ」

- ・上(下、横)を向く／顔を上に向ける。
- ・南向きの部屋。アンテナの向きを変える。
- ・イギリスに向かった／向けて出発した。

※他動詞「含むⅠ」と「含めるⅡ」

- ・これはビタミンCをたくさん含んでいる。これにはビタミンCがたくさん含まれている。
- ・この料金には消費税が含まれていません。(=入っていません。)
- ・送料を含めて〇〇円。(=～を入れて〇〇円。)
- ・私を含めて〇〇人が行く。

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 体験する 実感する* 含める 現れる* ひく* 決して 】 * 印は既習

- (1) 重要だと思ったところに線を()おく。
- (2) いろいろ()、勉強になった。
- (3) 実際にやってみて、その大変さを()。
- (4) 私を()、全部で10人で行くことになった。
- (5) 加藤さんはパーティーの終わりごろに()。
- (6) 私は()うそは言っていないません。信じてください。

含む ふく ビタミンC

■ 文型・表現

「様子・推測」の文型・表現(2)

(1)「～そうだ」のバリエーション

1) ～そうになっている (※～する直前の様子)

～そうにしている (※様子を見せている)

1. あの本棚の上に置いてある箱が落ちそうになっていますよ。危ないから下に降ろしておきましょう。
2. あんなに高く箱を積んだら危ない。今にも崩れそうになっている。
3. ジョンさん、さっきから退屈そう／つまらなそうにしていますね。どうしたんでしょうか。
4. 自信ありそうにしているけど、本当は緊張していると思う。

2) ～そうに見える (※「～そうだ」と大体同じだが、見た印象だということを強調)

1. A 「そのセーターけっこうしたんじゃないですか」
B 「けっこう高そうに見えるでしょう。でも、実は1,980円なんですよ」
2. あの絵の女性は笑っているようだけれど、どこか寂しそうに見える。

3) ～そんな気がする (→ ★L7)

～そんな感じがする／感じだ

1. 今度のテストではいい点が取れそうな気がする。
2. これから急いで行けば間に合いそうな気がする。
3. あの人の言っていることには何か裏がありそうな感じだ。

4) ～そうに<動詞>

1. プールで気持ちよさそうに泳いでいる人はだれですか。
2. 毎日つらそうに仕事しているけれど、大丈夫？
3. 駅の喫煙コーナーでは数人がおいしそうにタバコを吸っていた。

5) ～そうになった (※実際は～しなかったが、危なかった)

1. 酔っぱらって歩いていたら、駅のホームから落ちそうになった。
2. 後ろからバイクで走ってきた人にバッグを取られそうになった。
注)同じ意味で「もう少しで～ところだった」
3. 急に子供が飛び出して来たので、もう少しでひくところだった。

(2) (きっと)～に違いない (※個人的な判断でそうだと確信する場合)

1. あの人はうそをついているに違いない。
2. あしたの試験にはきっとここが出るに違いない。
3. A「ええと、加藤さんはどの人かしら。大勢いて分からないわね」
B「あ、あの眼鏡の人に違いない。グレーのスーツを着ていると言っていたから」

注1)確信はないが、その可能性はあると言う時には「(もしかしたら)～かもしれない」

4. あしたの試験にはもしかしたらここが出るかもしれない。

注2)だれが考えても、論理的にそうなると思った時には「～はずだ」を使って客観的に説明。

※同じ文でもニュアンスが異なる

5. 山田さんは今家にいるにちがいない。
(個人の主張：自分が知っている知識を使って判断する)
家にいるはずだ。
(客観的な判断：例えば「風邪で学校を休んだんだから」)
6. 勉強すれば上手になるにちがいない。
(本人の強い思い込み)
きっと上手になるはずだ。
(結果としてそうならなくても、論理的にはそうだ)

注3)「～はず」は『<過去のこと>←<現在のこと>』の判断には使えない。

その時は「～にちがいない」を使う。「はず」はいつも論理的に『<X>→<Y>』。

7. 山田さんは顔が赤い。きっとお酒を飲んだにちがいない。(×飲んだはずだ)
8. 山田さんはきのう上司と居酒屋に行った。だからきっとお酒を飲んだはずだ。

(3) ～はずがない (※論理的に/常識ではそういうことは考えられない) → 「～(ない)はずだ」 *

1. あのまじめなケンさんがそんなことをするはずがない。
2. こんなに青空なのに、雨が降るはずがありませんよ。
3. A「高橋先生もいらっしゃるかしら」
B「今、入院しているんだから、来られるはずがないよ」

注)(2)の注のように「はず」は論理的な判断だから、結果(=現実)と違うこともある。

4. この地図によるともうすぐ着くはずなんだけど、変だな。学校なんてどこにもないね。
5. 自分の計画では、今ごろは日本語がべらべらになっているはずなんだけど・・・
6. あの時山田さんはいなかった。だから彼がそのことを知っているはずがない。どうして知っているのだろう。きっとだれかが話したのだ。

その他の文型・表現

(1) ～である／～ではない (※書き言葉のスタイル) → ★L.14(※文のつなぎ方)

1. 電球を発明したのはエジソンである。
2. 日本の国技は柔道ではない。相撲である。
3. 梅雨のころに咲く「あじさい」という花は本当にきれいである。

(2) ～ことに(は)・・・ (※文を修飾する副詞：・・・というのは非常に～ことだ)

1) い形容詞／な形容詞

1. 面白いことに、同じ重さのものでも色によって重く感じることもあるらしい。
2. 珍しいことに、あのけちで有名な課長がみんなに昼ご飯をおごってくれた。
3. 不思議なことに、きのうまで公園にいた鳩が一羽もいなくなった。そして、猫も一匹もいなくなった。
4. 残念なことに、1点足りなかったために、合格しなかった。

2) 動詞「～たことに」

1. 困ったことに、会社に連絡を入れたいのだが、近くに公衆電話が全然ない。
2. 驚いたことに、犯人は隣に住んでいる人だった。

(3) ～ものだ(ね) (※感嘆：感心したり、驚いたり、あきれたりする気持ちを表す)
～もんだ(ね) → ★L.9,11,13「～ものだ」

1) い形容詞 (※L.9 <当然>の用法が基本になっている)

1. 月日がたつのは早いものですね。日本に来てもう1年になります。
2. ライオンの赤ちゃんて、けっこうかわいいもんだね。
3. こうやって昔の友達が集まって話をするのは楽しいもんですね。

2) 「たいしたものだ」「困ったものだ」 (※慣用的表現)

1. 一人でヨットで大西洋を渡るなんて、たいしたもんだ。
2. 最近、野菜が値上がりしている。困ったものだ。

3) その他 (※程度の形容詞、副詞と一緒に使う)

1. 自分の子供をベランダに一晚中出しておくなんて、ひどい親がいるもんだ。
2. この辺も数年の間にずいぶん変わったものだ。
3. 簡単にだまされたもんだね。そんな話を信じる方が悪いよ。

電球 国技 [花の名前] あじさい 課長 おごる I 公衆電話

ヨット 大西洋 たいしたもの 値上がり(する)(⇔値下がり) だます I

4) 「よく(まあ)・・・ものだ」

1. 目上の人に対して、よくあんな失礼なことが言えたものだ。
2. まだ11歳なのに、よく(まあ)あんなに落ち着いて演奏ができるもんだ。
3. よく(まあ)食べるものだ。もう5人前くらい食べているよ。

■ 文型・表現練習

(1) ～そうに・・・/～そうな・・・

1. 「今まで何回もたばこをやめようと思ったのですが、そのたびに失敗しました。でも、この方法を使えば、たばこが_____気がします」
2. あんなに体が大きいから_____に見えるけど、実際は1日に1回しか食べないらしい。
3. _____に見えるけど、実際は_____。
4. キムさんは「_____」とうれしそうに話した。
5. 風が強くて、かぶっていたぼうしが_____になった。

(2) ～に違いない

1. 犯人は_____に違いないと刑事は言った。
2. 山田さんはきょうも学校の授業をさぼったらしい。きっと_____。

(3) ～はずがない

1. そんなやり方では_____。絶対に失敗するはずだ。
2. 1つ80キロもあるんだから、一人で_____。
3. A 「_____」
B 「そんなことあるはずがないよ。うそでしょう」

(4) ～ことに(は)

1. 驚いたことに、_____。
2. うれしいことに、_____。

(5) ～ものだ

1. _____なんて、たいしたものだ。
2. _____なんて、変わった人がいるもんですね。
3. アイススケートの演技はすごい。氷の上でよくまあ _____
_____ものだ。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・『不思議なこと』：日本のことについて不思議だと思ったことについて書きましょう。
注) L.1～4の作文も復習しながら、自分の国と比べて書いてみましょう。



第18課

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 「～っぽい」の単語

1. 色について、全体的にそういう色に見える
・ 白っぽい、黒っぽい、赤っぽい、茶色っぽい
2. ○○が多く含まれている(※マイナスイメージ)
・ 水っぽい(酒)、油っぽい(料理)
・ 湿っぽい(ふとん)
3. 形容詞や名詞について、そのように見える。(→★L16「～らしい」)
・ 安っぽい(服)、子供っぽい(サラリーマン) →(※マイナスイメージがある)
・ 大人っぽい(中学生)
4. 動詞について、すぐそうになってしまう(※マイナスイメージ)
・ 忘れっぽい、怒りっぽい、飽きっぽい

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

□ 聴解新出語：ヘリコプター

答 1 2 3 4



予想・期待(2) 行列のできる店



日曜日に友人を誘ってラーメンを食べに行くことにした。そこは行列のできる店として有名で、ぜひ一度食べに行きたいと思っていた。友人に「やっぱりおいしいから行列ができるんだよね」と私が聞くと、友人は「それはそうだけど、行列ができるからおいしいんじゃないかな」と言った。おもしろいことを言うものだと思ったが、とにかく一緒に食べに行くことにした。

予想どおり、私たちが着いた時には、もうすでに30人ほど店の前に並んでいた。列の最後につくと、すぐにまた別のグループが後ろについた。入口に近づくにつれて、ラーメンのにおいがしてきた。1時間くらい待たされるだろうと思っていたら、案外早く席につくことができた。でも時計を見たら、40分近く並んでいた。しばらくして、注文したラーメンが目の前に運ばれて来た。その時、オーバーかもしれないが、40分待った者にしか得られない特別な物をついに手に入れたという気分になった。そして、まさに期待どおりのラーメンを味わって私たちは店を出た。

家に帰ってから、友人の言葉を思い出して、あの店のラーメンは本当においしかったのか考えてみた。確かに行列ができるくらいだからまずいはずがない。しかし、40分並んで待ったおかげでもっとおいしく感じたのではないか。同じ店で全く並ばずに食べたらどうだろうか。同じものを出前してもらって家で食べたらどうだろうか。きっと違う味がするのではないか。

それでは、待てば待つほどおいしくなると言えるのか。1時間以上も待ったのに期待を裏切られることもある。元々おいしくないものはやはりおいしくないのである。

ラーメン

行列

どおり すでに

案外

～近く

しばらくして

注文 オーバー

ついに

手に入れる

まさに 味わう

出前

裏切る

■ 本文設問

- (1) 筆者はこのラーメン屋に初めて食べに行きましたか。
 (2) 筆者はなぜラーメンを「特別な物」だと感じたのですか。
 (3) 筆者はこのラーメンを家でも食べたいと思っていますか。なぜですか。
 ◇ 「行列ができるからおいしい」の意味を考えてみてください。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	: ラーメン	ぎょうれつ	行列
な形容詞	: オーバー		
名詞/動詞Ⅲ	: 出前(する)	でまえ	注文(する)
動詞	: 味わうⅠ	あじ	★裏切るⅠ
副詞	: (もう)すでに	ちか	(40分)近く
			しばらくして
			★ついに
		あんがい	★案外
			★まさに
その他	: ★〜どおり	て	手に入れる

【基本動詞の用法】

- ・(行列が)できる (席/列の最後に)つく

【自動詞と他動詞】

「手に入るⅠ」 / 「手に入れるⅡ」

- ・欲しい物が手に入る / を手に入れる。



■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 近く すでに しばらくして 元々* 全く* 】 * 印は既習

- (1) このアイデアは()私が出したもので、山田さんがそれを使っ
 たんです。
 (2) 待ち合わせの場所には私が一番早く着いた。()キムさんが来た。
 (3) 気温は38度()まで上がったらしい。
 (4) 難しい漢字ばかりで、内容は()わからなかった。
 (5) 救急車で病院に運ばれたが、着いた時には()亡くなっていた。

■ 文型・表現

(* = 初級レベルの文型・表現)

「予想・期待」の文型・表現(2)

(1) 予想したとおり、思っていたとおり *

1. 結果は私が予想したとおりだった／予想したとおりになった。
2. 彼が予想したとおり、田中さんが1位になった。
3. 私が思っていたとおり、やはり彼は来なかった。

(2) 予想／期待どおり・・・

1. 結果は坂本さんの予想どおりだった／予想どおりになった。
2. 予想どおりの結果だったので、別に驚かなかった。
3. 田村選手は期待どおりの活躍をしている。
4. 大方の予想どおり、彼が主演したドラマの視聴率がトップになった。

(3) 予想／期待に反して・・・

1. みんなの予想に反して、全く無名の選手が優勝した。
2. 売り上げは、期待に反して、ほとんど伸びていない。

(4) 期待を裏切る

1. 関係者の期待を裏切って、その曲はほとんど売れなかった。
2. あの人はやらしてくれるだろうと信じていたのに、期待を裏切られてしまった。

(5) 予想に使われる副詞<2> → ★L8「やはり、意外にも」

1) 『案の定』 (→ L19本文)

1. 彼はきのう飲みすぎたから心配していたけれど、案の定、きょうは会社を休んだ。
2. 今朝から寒気がしていたから風邪を引いたのかと思っていたが、案の定、熱が39度もあった。

2) 『案外』

1. もっと大変な仕事だと思っていたけれど、やってみたら案外やさしかった。
 2. この分では間に合わないだろうと思っていたら、案外早く終わった。
- 注)「意外にも」と違って、必ず程度の形容詞か副詞がある。予想と反対の結果には使えない。
3. あの人は彼女と結婚するだろうと思っていたら、意外にも別の女性と結婚した。

(×案外)

別に [= 特に] 大方 (の予想) 主演 (する) 視聴率 トップ 反する 無名
売り上げ 案の定 寒気 (がする) この分では

3) 『まさか』 (→ 長文読解<4>)

まさか～とは(思わなかった)

- ・寒いところだとは思っていたけれど、まさかこんなに寒いとは思わなかった。
- ・時間がかかりそうだとは思っていたけど、まさか5時間もかかるとは。

まさか～はずがない

- ・A「山田さんのお父様が亡くなられたそうですよ」
B「まさか！ そんなことがあるはずがない。きのう会ったときは元気だったのに」

4) 『まさに』

まさに～とおり／どおり・・・

- ・かれの実力は本物だと思っていたけれど、まさにそのとおりだった。
- ・あそこは危険なところだから一人で行くのはやめたほうが良いと思っていたのだが、まさに心配していたとおりになった。
- ・A「漢字を覚えれば、もっとたくさんの単語を簡単に覚えられるんですね」
B「まさにそのとおりです」

その他の文型・表現

(1) ～ずに・・・ (※書き言葉のスタイル:「～ないで・・・」)

- ・時間がなかったので、朝食は食わずに出かけた。
- ・ほしいものがあつたけれども、何も買わずに帰った。
- ・全く努力せずに、成功しようと思うのは間違っている。
(※する:「しないで」→「せずに」)

(2) 『ついに』 (※最終的に／「長い間～けれど、いろいろあつたけれど」という気持ちが入る)

注)「やっと」と大体同じだが、大きな出来事によく使う。

- ・5年かかってついに完成した。
- ・途中で何度も危険なことがあつたが、ついに頂上に着いた。

注)「やっと」と違って、実現しなかったことについても使える。

- ・2時間も待ったけれど、彼女はついに来なかった。
- ・長い間研究を続けたが、ついに成功しなかった。

■ 文型・表現練習

(1) ～どおり

1. この作家が好きで次の作品を楽しみにしていたのだが、新作も期待どおり、
_____。
2. みんなはチャンピオンが_____と言っていたが、私の予想どおり、
_____。
3. 田中さんはサラリーマンをやめて、自分でビジネスを始めたが、_____。
実際はなかなか期待どおりにはならないものだ。

(2) ～に反して

1. 二人はお似合いのカップルだった。しかし周りの期待に反して_____
_____。
2. _____という大方の予想に反して、
それは非常によく売れた。

(3) 案の定、案外、まさか

1. _____と思っていたけれど、案の定、倒れてしまった。
2. _____と思っていたら、案外あっさりした味だった。
3. _____と聞いていたけれど、まさかこんなに
_____。
4. マラソンに初めて参加した。大変だろうと思っていたが、
案の定_____。
案外_____。
まさか_____。
5. まさか_____はずがない。

(4) ～ずに (書き言葉のスタイルで文を完成しなさい)

1. 作文の時間に途中でおなかが痛くなったので、最後まで_____に教室を出た。
2. 全く_____に歩き続けたため、足が痛くなった。
3. うちの子は_____に遊んでばかりいる。困ったものだ。

(5) ついに

1. 3回目の挑戦でついに_____。
2. 長い間_____と思っていたが、その希望がついに実現した。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『予想と現実』：あなたが予想、期待していたことについて、実際はどうだったかを書きましょう。 注) L.8の作文、L.15の文型も復習して参考にしましょう。
- ・ 『行列のできる店』：行列のできる店を知っていたら教えてください。

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 食事・料理に関連する単語

- ・ ご飯、おかず、みそ汁、つけ物、お総菜(お惣菜)
- ・ おかわりする、(ご飯を)盛る、(おかずを皿に)盛りつける
- ・ (ご飯を)炊く、(肉/魚を)焼く、(野菜を)煮る/いためる(炒める)、
(卵/スパゲティを)ゆでる、蒸す
- ・ 生(で食べる)、生卵
- ・ (しょうゆを)つける、(ソースを)かける

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

□ 聴解新出語：のり^{のり}(海苔)

答 1 2 3 4



原因・理由(3) 素朴な疑問



小学1年の息子はよく素朴な疑問で私を悩ませる。幼稚園のころは適当にうまく話して納得させていたのだが、これくらいの年になると、適当に話してごまかすわけにもいかない。先日もいい加減に答えただけに、子供には「本当はわからないんじゃないの」と言われるし、妻からは「子供の教育にもっと関心を持ってよ」と怒られるし、ひどい目にあってしまった。しかし、中には答えようがない疑問というものもある。

ある日、ラジオで子供が電話で質問してゲストがそれに答えるという番組をやっていた。小学2年生の質問は「あしたはどこにあるのですか」だった。こういう質問は大人がすることはできない。子供だからこそするのだ。ゲストの人がどう答えるのかと思っていたら、案の定、困っているようだった。しばらくして、一人のゲストが科学的、哲学的な内容をできるだけやさしく小学生にもわかるように話しはじめた。難しい内容をやさしく説明するのはさぞ大変なことだろうと、感心しながら聞いていた。

次にもう一人のゲストは、逆に小学生に「どうしてそれが知りたいのかな」と質問をした。どうしてそんな疑問を持つのかを一緒に考えてあげたほうが良いと考えたのだろう。この子供はもしかしたら「早くあしたにならないかな」とか「あしたにならないでほしい」と考えているのかもしれないからだ。こういう答え方もあるのかと感心した。

自分の息子が「なぜ生きなければいけないの？」などと聞いてきたら上手に答えてあげられるだろうか。答えるからにはこちらでも考えることが必要だ。普段、仕事のことで頭がいっぱいのお父さんたちもたまには素朴な疑問について考えるゆとりが欲しいものである。

小学1年 素朴
疑問 適当に
うまく 納得 年
ごまかす
いい加減
関心

ゲスト

科学的 哲学的
小学生
さぞ 感心

逆に

普段
ゆとり

■ 本文設問

- (1) 筆者はなぜ先日ひどい目にありましたか。
 (2) ゲストはなぜ子供の質問を聞いて困ったのでしょうか。
 (3) 筆者は二人目のゲストの答え方のどんなところに感心したのですか。
 ◇ 筆者は二人のゲストのうち、どちらの方の答え方により強く感心したと思いますか。どちらにも同じくらい感心したと思いますか。なぜそう思いますか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	: 疑問 <small>ぎもん</small> 年 [= 年齢] <small>とし ねんれい</small> 関心 <small>かんしん</small> ゲスト <small>しょうがく</small> 小学(校)～年(生) <small>ねん せい</small> 小学生 <small>しょうがくせい</small>
な形容詞	: 素朴 <small>ゆとり</small> 科学的 <small>そぼく</small> 哲学的 <small>かがくてき てつがくてき</small>
名詞/動詞Ⅲ	: 納得(する) <small>なっとく</small> 感心(する) <small>かんしん</small>
動詞	: ごまかす
副詞	: 適当に <small>てきとう</small> うまく いい加減に <small>かげん</small> ★さぞ <small>さぞ</small> 逆に <small>さか</small> 普段 <small>ふだん</small>

[基本動詞の用法]

・(関心、疑問を)持つ かんしん ぎもん も

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 関心 感心 納得 うまく 普段 本当に* 本当は* 逆に 】 * 印は既習

- (1) ()あなたが一人でしたんですか。()だれかが手伝ったんでしょう。
 (2) 私が質問したのに、()相手にいろいろ質問されてしまった。
 (3) 最近環境問題について()が高まっている。
 (4) そんないい加減な説明では()できません。
 (5) あんな小さい子供が一生懸命お母さんを手伝っているのを見て()した。
 (6) ()はとてもおとなしい人が急に怒り出すと、びっくりする。
 (7) 話しにくいことだけど、先生には私から()話しておきます。

■ 文型・表現

「原因・理由」の文型・表現(3)

(1) ～からこそ・・・(のだ) (※『こそ』を使って理由を強調する)

1) 普通の使い方

1. 私も同じ経験をしたからこそ、こうやってあなたにアドバイスできるのです。
2. あなただからこそ、こんな恥ずかしいことでも相談するのです。
3. 彼女は私にとって本当にいいライバルだった。彼女がいたからこそ、私はここまで頑張ることができたのだ。

2) <逆説>の使い方

1. 暑いからこそ、熱いものを飲むのです。そのほうが後で涼しくなります。
2. 何も知らないからこそうまくいくということもある。考えすぎるといい結果が出ない。
3. つらいからこそ、笑顔を作るのです。そうすれば明るくなれるものです。

(2) ～ばかりに (※『ばかり』を使って、それだけの理由で悪い結果になったという気持ちを表す)

1. あの人に話したばかりに、あっと言う間にクラス中に広まってしまった。
2. あまり考えずに気軽に引き受けたばかりに、あとで大変な目にあってしまった。
3. 宝くじに当たったばかりに、人生が狂ってしまった。

(3) ～からには・・・ (※～なら当然・・・)

(※決まったことについて、どうする／考えるのが当然か述べる)

1) 義務・必要(「～なければならない」「～ないわけにはいかない」が続く)

→ ★その他の文型(2)

1. 一度約束したからには、それを守らなければならない。
2. みんなの前で行くと言ったからには、行かないわけにはいかない。
注)不必要(「～なくてもいい」「必要ない」)の文型もある。
3. 私が来たからには、もう心配は要りません。すべて任せてください。

2) 希望・意志(「～たい」「～(よ)うと思う」「～つもりだ」が続く)

1. 参加するからには、ぜひ優勝したい。
2. 日本に来たからには、日本語だけでなく、日本の文化や習慣も学ぶつもりだ。

アドバイス(する) ライバル あっと言う間に クラス中 気軽に 引き受けるⅡ
くる まか 狂うⅡ 任せるⅡ

3) 命令・アドバイス・禁止(命令形、「～ほうがいい」「～てはいけない」が続く)

1. やるからには頑張り／しっかりやれ。
2. 海外で仕事をするからには、その国の習慣を前もって調べておいたほうがいい。
3. 一度決めたからには、途中であきらめてはいけない。

その他の文型・表現

(1) <動詞(ます)形>+ようがない (※それをする手段・方法がないからできない)

→ ★L10本文「しょうがない」「どうしようもない」

注) <意志形>とは違う。

1. 内容が決まらなければ、書きようがない。(×書こう)
2. どこに落としたのか分からなければ、探しようがない。(×探そう)
3. 専門用語を全く知らない相手には説明のしようがない。

(2) ～わけにはいかない

(※「～ことができない」と大体同じ意味だが、^{どうとくても}道徳的、心理的な理由が強い)

(※それをしてもいいのだが、気持ちの上でそれはできないというニュアンスが強い)

1. ちょっと熱があっても、会社を休むわけにはいかない。大事な仕事があるのだ。
2. これはだれにも話さない^と約束したので、ほかの人に話すわけにはいきません。
3. これは私にとって大切なものだから、お売りするわけにはいきません。

注)「～ないわけにはいかない」のように否定が2つある場合もある。

(※「～なければならない」と大体同じ意味だが、やはり心理的な理由が強い)

4. 絶対に行く^と約束したから、行かないわけにはいかない。
5. この試験に合格しないと退学になるから、勉強しないわけにはいかない。

(3) さぞ・・・(こと)だろう

(※ただ「～だろう」と言うより「相手の状況や立場がよくわかる」という気持ちが入る)

1. 「よくいらっしやいました。長旅でさぞお疲れでしょう」
2. 息子さんを交通事故で亡くして、さぞ悲しいことでしょう。
3. しばらく会っていないが、2年も日本にいるからさぞ日本語が上手になったことだろう。

■ 文型・表現練習

(1) ～からこそ

1. 山田さんに手伝ってもらったからこそ、こんなに_____。
2. 一人の力で優勝できたのではない。_____からこそ、優勝できたのだ。
3. 自分のことは自分がよく知っているというのも正しいかもしれないが、自分のことだからこそ_____ということもある。
4. A「こんなに暑い時に、どうしてそんなに辛いものを食べるんですか」
B「_____」

(2) ～ばかりに

1. 学歴がなかったばかりに_____。
2. 「_____」と自慢したばかりに大変な仕事をすることになった。
3. _____ばかりに、ひどい目にあってしまった。

(3) ～からには

1. 親から離れて一人暮らしをするからには_____。
2. A「オリンピック出場おめでとうございます」
B「ありがとうございます。出場するからには_____」
3. 試験を受けるからには_____。
あとで後悔したくないからだ。

(4) ～わけにはいかない

1. きょうは車で来たから、お酒を_____。
2. 給料日前でお金がなくて困っている。しかし、もう社会人なのだから親に_____。

3. 上司には旅行に行くと言って休みをとったから、何かお土産を_____。
_____。

(5) さぞ・・・(こと)だろう

1. 日本に親せきや知り合いが一人もないのなら、さぞ_____。
2. A「きのうのパーティーはどうでしたか」
B「200人くらい来ていましたよ」
A「そんなに来ていたのなら、さぞ_____」

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『私の決意』：「(日本に来た)からには」を使って、これからのあなたの決意を書きましょう。
- ・ 『私の疑問』：あなたが普段疑問に思っていることを教えてください。

第20課

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

◇ 教育に関する単語

1. 学校と学年

・幼稚園	: ○○組	: <u>園児</u>	
・小学校	: 小学1年(生)	: <u>児童</u> 、	小学生
・中学校	: 中学1年(生)	: <u>生徒</u> 、	中学生
・高校(高等学校)	: 高校1年(生)	: 生徒、	<u>高校生</u>
・大学	: 大学1年(生) / 1 <u>回生</u>	: 学生、	<u>大学生</u>
・大学院	: <u>修士課程</u> 、 <u>博士課程</u>	: 学生、	<u>大学院生</u>
・専門学校	: 1年(生)	: 学生、	専門学校生

2. 教科・科目

小学校～高校

- ・国語、理科、算数、社会、音楽、美術、体育
- ・英語、物理、化学、生物、数学、歴史、地理

注)「化学」は「科学」と読み方が同じなので、区別するために(会話では)「ばけがく」と言うことがある。

大学(※代表的なもの。上の科目以外)

- (文系)・哲学、文学、心理学、教育学、法律学/法学、経済学、経営学、外国語
- (理系)・医学、歯学、工学、土木(工学)、機械(工学)、電気・電子(工学)

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答 1 2 3 4

説明・結論 車のコミュニケーション



日本では自動車の運転免許を取ろうと思う人はたいてい自動車運転教習所に通う。そこで交通規則や運転の技術を教わるのだが、そこを卒業したからといって、それですべての学習が終わるわけではない。実際に街に出て走りながら身につける技術というものもある。運転手同士のコミュニケーションもその一つである。

コミュニケーションといっても、わざわざ運転手が窓を開けて大きな声で言葉を交わすわけではない。音と光の合図で会話するのである。例えば、狭い道などではヘッドライトを1、2回点滅させて対向車に道を譲り、譲ってもらった方はすれ違った時にクラクションを軽く鳴らす。また、無理に隣の車線に割り込んだ時には後ろの車に対してハザードランプを数回点滅させる。この3つは教習所で勉強する本来の使い方とは違うものである。しかし、実際にはこのように音と光を使って、「どうぞ」「ありがとう」「すみません」という気持ちを伝え合っているわけである。

コミュニケーションをするからには、どんな合図がどんな意味になるかお互いに共通した理解がなければならない。ところが、言葉と同様に誤解も起こるし『言い間違い』もある。「ありがとう」の意味でクラクションを鳴らしたのに、相手はそれを本来の意味にとって不快に感じることもあるし、軽く鳴らそうと思ったのに、うっかり力が入ってしまって「ブーッ」と鳴らしてしまうこともある。さらに面白いことには、この合図にも『方言』があるという。この点でも言葉によるコミュニケーションと同じというわけである。

このような合図は必ずしもしなければいけないというわけではないが、上手に使えば快適に運転ができるし、車の流れもスムーズになるはずである。

免許
教習所
学習
同士の
コミュニケーション
わざわざ 交わす
合図
ヘッドライト
点滅 対向車 譲る
すれ違う
クラクション 軽く
鳴らす 無理に
車線 割り込む
ハザードランプ
本来 ～合う

お互い
同様 言い間違い

不快
うっかり

快適 スムーズ

■ 本文設問

- (1) 運転手同士のコミュニケーションというのはどんなことですか。
 (2) 本文で紹介されている合図の使い方は、どうやって身につけますか。
 (3) 合図によるコミュニケーションと言葉によるものはどんなところが似ていますか。
 ◇ 本文の内容から考えて、運転が快適にできない場合、車の流れがスムーズにならない場合はどんな場合か考えてみてください。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	：免許 ^{めんきょ} 教習所 ^{きょうしゅうじょ} ヘッドライト ^{たいこうしゃ} 対向車 ^{クラクション} クラクション ^{しゃせん} 車線
	ハザードランプ ^い 言い間違い ^{まちが}
な形容詞	：不快 ^{ふかい} 快適 ^{かいてき} スムーズ
名詞／動詞Ⅲ	：学習 ^{がくしゅう} (する) コミュニケーション ^{あいず} (する) 合図 ^{あいず} (する)
	点滅 ^{てんめつ} (する)
動詞	：(言葉を) 交す ^{かわ} I 譲る ^{ゆず} I すれ違う ^{ちが} I 鳴らす ^な I 割り込む ^わ I
副詞	：★わざわざ ^{かる} 軽く ^{むり} 無理に ^{ほんらい} 本来 (お) 互い ^{たが} 同様に ^{どうよう} ★うっかり
その他	：～同士 ^{どうし} (伝え) 合う ^あ (→ 関連語)

[基本動詞の用法]

- ・(免許を) とる (～の意味に) とる (力) 入る

[自動詞と他動詞]

「鳴る I」 / 「鳴らす I」

- ・ベルが鳴る / を鳴らす
- ・目覚し時計が7時に鳴るようにセットする。

「(点滅) する」 / 「(点滅) させる」

注) 使役形を他動詞のように使う。

- ・ライトが点滅している。
- ・ライトを点滅させる。
- ・会社が発展する。
- ・会社を発展させる。



セット(する) ^{はってん} 発展(する)

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 誤解* 合図 無理に 譲る すれ違う とる* 身につける* 】 * 印は既習

- (1) 廊下で()時に軽く頭を下げてあいさつする。
- (2) 国によって習慣が違うので()が起こることがある。
- (3) この袋はそんなに丈夫じゃないから、()に入れると破れますよ。
- (4) 免許を()ばかりなのでまだ運転は下手だ。
- (5) 最近では電車で席を()若い人は少なくなったようだ。
- (6) 向こうにいる友だちに「こっちに来てはだめだ」と目で()をしたが、気がつかなかったようだ。
- (7) 日本語を完全に()て、国際会議の通訳の仕事をしたい。

■ 文型・表現

「説明・結論」の文型・表現

(1) ～わけだ (※当然の結果、結論を述べる)

注) <「わけ」=理由>の意味で使われる場合

1. どういうわけでそんなことをしたのですか。
2. どうしてそんなことをしたのか、わけを聞かせてください。
3. ～。そういうわけで、行けなくなったんです。

1) (～から)・・・わけだ

(※どのような理由でそういう結果になったのかを説明する)

(※「～んです」と比べて、硬い表現になる)

(※L9「・・・のは～からだ」と同じ表現効果がある)

1. A 「どうして女性のお客を対象にしたサービスを考えるのですか」
B 「それは、女性がお店に来れば男性も一緒に来るから、まず女性を対象にサービスを考えるわけです」
2. 登山では普通に坂を上るときとは疲れ方が違う。
頂上へ近づけば近づくほど空気が薄くなる。
だから、普通に歩くよりも何倍も苦しくなるわけだ。
3. 「あした試験があるんですよ。いままで全然勉強しなかったから、こうやって徹夜で勉強しているわけです」

2) (～と／～たら／～ば／～から)・・・わけだ

(※因果関係の全体を確認して述べる)

1. なるほど。これを押すと下から商品が出て来るわけだ。
2. 点数が60点以下だったら、もう一度テストを受けなければいけないわけですね。
3. こうやって袋を2枚重ねて使えば、破れないわけです。
4. この課が終われば、初級の復習と中級の基本的な文型と表現の学習が終わるわけだ。
5. 今、約千字くらい漢字を覚えたから、ちょうど小学校6年生のレベルにあたるわけだ。
6. この2つが終わったから、あとはこれをやってしまえばすべての作業が終わるわけだ。
7. 山田さんが来たから、これで全員がそろったわけだ。さあ、出発しよう。

3) (このように／つまり)・・・(という)わけだ

(※結論、まとめ：前の部分が何を意味しているのかを説明する)

注「～のだ」と同じ用法

1. [説明文]。このようにして我が社は発展してきたわけです。
2. この部分を見てください。小さな穴がありますね。ここからネズミが出たり入ったりしていたわけです。
3. A「今回の作業は前回と違って非常に危険です」
B「つまり、もう少し安全な方法を検討しなければいけないというわけですか」
A「そのとおりです」

(2) ～わけではない (※予想される結論の否定)

1) (～という)わけではない

(※会話では相手の発言を聞いて、自分の様子や直前の発言が相手に誤解を与えたと思ったときに「～わけではない」を使って説明する)

注)会話では「そういうわけではない」がよく使われる。

1. A「あなた、ずいぶんはっきり言いますが、本当にそれを見たんですか」
B「ええと、そういう(＝本当に見た)わけではないんですが・・・」
2. A「眠そうですね。つまらなかつたら寝てもいいですよ」
B「いいえ、そういう(＝つまらないから眠い)わけではないんです。きのう徹夜だったので・・・」
3. A「あなたは私の考えが間違っていると言うんですか！」
B「いいえ、そういう(＝あなたが間違っていると言いたい)わけではありません」

その他の文型・表現

(1) 『わざわざ』 (※「(大変なことだから)しなくてもいいのに」という気持ちが入る)

1. すぐ近くにポストがあるのに、山田さんはわざわざ駅前の郵便局まで行った。
2. 引越しの作業は一人でもできると言ったのに、ジョンさんはわざわざうちに来て手伝ってくれた。
3. 「わざわざスーパーまで行ったんですか。となりのコンビニでも売っているのに」

注)会話ではそれをしてくれた人に対して感謝の気持ちを表す場合もある。

4. 「遠いところをわざわざ来てくださってありがとうございます」

(2) 『うっかり』 (※無意識にする／注意が足りなくてしてしまったときによく使う)

→ ★L6「つい」、L10「思わず」

1. うっかり電車で傘を忘れてしまった。
2. 本を読んでいたら、うっかり電車を乗り過ごしてしまった。
3. A「どうしてこんな間違いをしたんですか」
B「すみません。うっかりしていました」

■ 文型・表現練習

(1) ～わけだ

1. A「どうしてブルーベリーをよく食べるんですか」
B「ブルーベリーには目にいい成分がたくさん含まれているんです」
A「パソコンを使う仕事で目がつかれますからね」
B「ええ、だから_____わけです」
2. 「なるほど、インターネットのメールを使えば、文字だけでなく、
_____こともできるわけですね」
3. [電車の中で地図を見ながら]
A「ええと、今はここだから、次の_____」
B「そうですね。次の駅ですね」

2) ～といっても・・・(という)わけではない

(※「～が・・・を意味するのではない」ということを付け加える表現)

(※自分が直前に話した／書いたことについて聞き手／読み手が間違った結論を出さないように自分から説明を付け加える)

1. 家を買ったといっても、そこに住むというわけではない。ほかの人に貸すためだ。
2. 事故を起こしたといっても、そんなに大きな事故というわけではない。ちょっと電柱にぶつただけだ。
3. レポートを書いたといっても、全部終わったわけではない。まだ下書きだから、これから清書しなければならないのだ。

注「～わけではない」の部分と言わないで、言いたい部分だけの場合もある。

4. 海外旅行に行くといっても、二泊三日です。
(山田さんのように1週間というわけではない)
5. 財布を盗まれたといっても、中には小銭しか入っていませんでしたから。
(大金を取られたわけではない)

(3) ～からといって(いつも／必ずしも／みんな)

・・・とは限らない／というわけではない

(※部分否定: 「～という理由があっても、いつも・・・という結果になるのではない」)

1. 梅雨だからといって、いつも雨が降るとは限らない。ほとんど雨が降らない年もある。
2. 法律に違反していないからといって、何でもやっていいというわけではない。マナーは守らなければならない。
3. 辞書に書いてあるからといって、必ずしもその説明が正しいとは限らない。
4. 同じ年に入社したからといって、みんなが一緒に出世できるというわけではない。彼らには厳しい競争が待っているのだ。

注「～とは限らない／わけではない」の部分と言わないで、言いたい部分だけの場合もある。

5. 相手が子供だからといって、油断していると負けるかもしれないよ。
(必ずしも力がないとは限らない)
6. 大学に合格したからといって、遊んでばかりいてはだめですよ。
(遊んでいいというわけではない)

4. A「2千も漢字を覚えるのは大変ですね」

B「最初から2千と考えると大変そうに感じますが、1日5つずつ覚えれば1年とちょっとで_____」

A「それならできそうですね」

B「こうやって自分でカードを作って勉強するといいですよ」

A「なるほど。そうすれば電車の中でも_____というわけですね」

(2) ~といっても・・・(という)わけではない

1. 自分で料理を作るといっても、_____。
たいていは休みの日だけです。

2. お金が必要だといっても、_____。
来年の春に大学に入る時に入学金とか授業料を払わなければならないのだ。
その時までにはなんとかしたいと思う。

3. _____、中古車です。新車は高く買えません。

(3) ~からといって

1. 雑誌で紹介されたからといって、その店が必ずしも_____。

2. _____、必ずしも安全だというわけではない。

3. 車の事故の場合、その時は_____、病院に行かないと、
後になって、首が痛くなったり、腰が痛くなったりすることがある。

(4) わざわざ

1. 山田さんに連絡したかったが、何度電話しても通じなかった。それで、わざわざ_____。

2. 学校に来てから、忘れ物をしたことに気がついて、わざわざ_____。

(5) うっかり

1. せっかく宿題をしたのに、うっかり_____。
2. 自動販売機でコーヒーを買おうと思ったのに、うっかり_____、紅茶が出てきた。

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『誤解』：誤解した経験(自分のことでもほかの人のことでもいいです)を書きましょう。
- ・ 『失敗』：「うっかり」を使ってあなたが失敗した経験を書きましょう。
- ・ 『ボディランゲージ』：日本とあなたの国とで異なる意味になるものがあれば教えてください。

注) 関連語を参考にしてください。


■ 関連語の学習 (下線は新出語)

1. 体を使ったコミュニケーション(あいさつ、ボディランゲージ)

- | | | |
|---------------|-------------------|--------------------|
| ・ おじぎをする | ・ <u>握手</u> する | ・ <u>抱き合う</u> |
| ・ 手を合わせる | ・ 下／横／上を向く | ・ 首を横／縦に <u>振る</u> |
| ・ 手を振る | ・ 手を(あご／頭の後ろ)に当てる | |
| ・ <u>うなづく</u> | ・ <u>脚</u> ／腕を組む | ・ <u>ウインク</u> する |

2. 「～合う」の単語

- | | | |
|----------------|--------------------------|----------------|
| ・ <u>話し合う</u> | ・ <u>言い合う</u> | ・ <u>語り合う</u> |
| (→「討論」) | (→「 ^{くち} 口げんか」) | |
| ・ <u>見つめ合う</u> | ・ <u>抱き合う</u> | ・ <u>愛し合う</u> |
| ・ <u>付き合う</u> | ・ <u>助け合う</u> | ・ <u>なぐり合う</u> |

■ 聴解ミニテスト — 

◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

□ 聴解新出語：スピード違反 ^{いはん} 取り締り ^{としま} オーバー(する)

答 1 2 3 4

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現1>

考えを言う

「難しかったんじゃない？」

【会話1】



山田：タンさんは日本の子どもたちについてどう思いますか。

タン：そうですね。あまり外で遊ばないようですね。うちで、コンピューターゲームなどをやっている子どもが多いんじゃないでしょうか。

山田：外で鬼ごっこのような遊びとか野球やサッカーなどをやっている子どもも見るといいんじゃないですか。

タン：もちろんそういう子どももいますけど、私の国に比べて少ないような気がします。

山田：特に都会ではだんだん外で遊ぶ場所が少なくなりましたからね。



【会話2】



佐藤：こんどのパーティーには何人ぐらい来るでしょうか。

山本：招待状は100人くらいに出しましたが、その半分くらいじゃないかと思います。

佐藤：そんなに少ないのでしょうか。

山本：会費がちょっと高いですからね。

もう少し安ければ70人くらい来るんじゃないかと思いますがね。



【会話3】



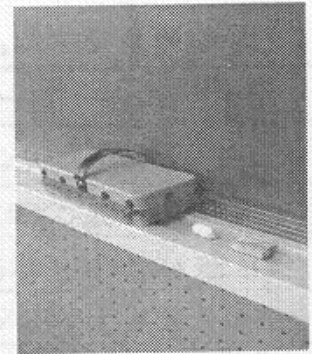
ケン：きょうの試験、どうだった。難しかったんじゃない？

キム：そうね。最初の問題はやさしかったと思うけど、あとは自信がないわね。

ケン：悪かった人はもう一度テストを受けるのかな。

キム：そうじゃない。今までもそうだったから。でも、ケンさんは大丈夫でしょう。

ケン：そうかな。今回はどうなるかわからないよ。



■ 文型・表現

(1) ～と思います

(2) (たぶん/きっと) ～でしょう

(3) ～だろうと思います

(4) ～のではないかと思います(※「～だろ^{えんまぶく}うと思います」の婉曲表現／硬い表現)
～のではないでしょうか

1. 物価はもう少し下がるのではないかと思います。
2. もうすこし考えたほうがいいのではないでしょうか。
注) 名詞の場合には「～ではないかと思います／でしょうか」の形もある。
3. あの方は先日お会いした山田先生ではないかと思います。

(5) ～んじゃないかと思^{えんまぶく}います(※4のくだけた表現)

～んじゃないでしょうか

～んじゃないかな／～んじゃないかしら(女)

～んじゃない(※イントネーションに注意)

1. 山田さんは来るんじゃないかと思^{えんまぶく}います。
2. 月末は忙しくて会えないんじゃないでしょうか。
3. そんなことをしたら怒られるんじゃないかな。
4. 先生に相談したほうがいいんじゃない。
5. それは山田さんが忘れていった物なんじゃないかしら。
注) 名詞の場合には「～じゃない・・・」の形もある。
6. そうなんじゃない／そうじゃない。
7. あの方は九州^{きゅうしゅう}の出身じゃないでしょうか。

(6) ～か(どうか)分かりません／(知りません)

1. どこに住んでいるか／東京に住んでいるかどうか分かりません。
2. どちらのほうがいいか(は)私には分かりませんね。
3. そこがどんなところか(は)ちょっと分かりません。
4. どう思うかと聞かれても、よく知らないので・・・

(7) ～ようす／～ような気がします

1. 日本では喫煙のマナーを守る人が少ないようすね。
2. 私の国にはそういう習慣はないような気がします。

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現2>

願望・希望

「早く終わらないかな」

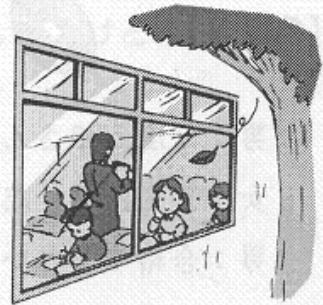
【会話1】 (学校で)



男：早く授業終わらないかな。

女：ほんと。もうおなかがすいて、死にそう。

男：早く終わりのベルが鳴ってくれないかな。



【会話2】 (会社で)



女：山田部長の考え方はちょっと古いわよね。

男：そうだね。もっと今の時代に合った考え方をしてほしいよ。

女：若い社員の意見を全然聞かないしね。

男：もっと私たちの意見も聞いてもらいたいよね。



【会話3】 リン(女)、 中村(女)



リン：すごくおいしいですね。

中村：そう？ 初めて作って見たんだけど。

リン：私も中村さんみたいに料理が上手になりたいなあ。

中村：私もそんなに上手じゃないわよ。

リン：そんなことないわよ。

ああ、早くこんな料理が作れるようにならないかなあ。



【会話4】



男：今度、娘さんが東京大学を受けるそうですね。

女：ええ。第一志望なんですけど。

男：合格するといいですね。

■ 文型・表現

(1) 物事じつげんの実現のぞを望む

1) ~ないかな(あ)、~してくれないかな(あ)

1. 早く試験終わらないかな。(※試験中/期間中に)
2. 山田さん、早く来ないかな。(※待ち合わせ場所で)
3. あーあ、もっと給料上がらないかなあ。
4. ああ、雨が降ってくれないかな。
5. 週末は晴れてくれないかな。
6. だれか手伝ってくれないかなあ。(※独り言ひとりごとのように) → ★会話文型・表現<3>

2) ~てほしいですね、 ~てもらいたいですね

~てほしいね/な(あ)、~てもらいたいですね/な(あ) → ★会話文型・表現<3>

1. もっと詳しく説明してほしいなあ。
2. 家賃をもっと安くしてほしいですね。
3. だれか私の代わりに行ってもらいたいな。

(2) 自分のことについて実現を望む

1) ~たいですね、~たいね/な(あ)

2) (~できる) ようになりたいですね、(~できる) ようになりたいね/な(あ)

1. もっと上手に話せるようになりたいですね。
2. こんな家に住めるようになりたいなあ。

3) (~できる) といいいんですけどね、(~できる) といいいんですけどね/な(あ)
 (~できれ) ばいいんですけどね、(~できれ) ばいいんですけどね/な(あ)

1. 休み中に宿題がぜんぶ終わればいいんですけどね。
2. あしたの締切に間に合うといいいんですけどね。
3. 合格できればいいんですけどね。

4) (~できる) ようにならないかな(あ)

・あの人みたいにかっこよく滑れるようにならないかな。

(3) ^{たしや}他者のことについて実現を望む

~といいですね

~といいね

注) 他者の場合には「~ば」は使わない。使うと失礼になる。

1. 息子さん、早く元気になるといいですね。
2. その問題、早く解決するといいね。

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現3>

頼む

「貸していただけませんか」

【会話1】



学生：先生、ちょっとお願いがあるんですが、今よろしいでしょうか。

先生：ええ。何ですか。

学生：これ、学校の本なんですが、あしたまで貸していただけませんか。レポートを書くのに参考にしたいんです。

先生：いいですよ。それじゃ、この用紙に名前と本のタイトルを書いてください。

【会話2】



お客：ちょっとよろしいですか。

店員：はい、何でしょうか。

お客：これを贈り物にしたいので、きれいに包んでもらいたいんですが。

店員：かしこまりました。少々お待ちいただけますか。



【会話3】 (友達同士)



A: 悪いけど、ちょっとここで待って(い)てくれない?

コンビニに行って飲み物買って来るから。

B: ああ、いいよ。／ええ、いいわよ。

それじゃ、ついでにパンも買って来てもらえる?

【会話4】 (夫婦)



妻: ねえ、ちょっと来て。

夫: 何?

妻: 食事できたから、そっちに運んでくれる?

【会話5】



山田: どこで食事しましょうか。

中村: そうですね。きょうは仕事が遅くなるから、できれば会社の近くに
してもらえると有り難いんですけど。

山田: いいですよ。そうしましょう。

■ 文型・表現

(1) 基本的な文型

～てください／～ないてください

(2) 丁寧な依頼の文型 (※BはAの敬語表現)

A) ～てもらえませんか、～てくれませんか

B) ～ていただけませんか、～てくださいませんか

(3) 丁寧な依頼の文型 (※2よりもさらに丁寧になる)

A) ~てもらえると有り難いんですが/けど

B) ~ていただけると有り難いんですが/けど

(※「有り難い」の代わりに「うれしい」「助かる」なども使われる)

(4) 親しい関係の場合

~てもらえる? ~てくれる? (※イントネーションに注意)

~てもらえないかな ~てくれないかな

注) 知らない人に対して、注意するような場合には使うことがある。

1. ちょっと、ここは図書館なんだから、静かにしてくれないかな。
2. ちょっと、座ってもらえる? 前が全然見えないよ。

(5) とても親しい関係の場合

~て/~ないで

1. ちょっとこれ見て。 その本、ちょっと見せて。
2. いま考えごとしているから、話しかけないで。

注) 特に女性の場合には「~て/ないでちょうだい」も使われる。

3. このごみ外に出してきてちょうだい。

注) 緊急事態^{きんきゅうじたい}の場合にも使われる。その場合には知らない人に対しても命令の形・表現が使われる。

4. 女性「きゃー! 助けて!」
男性「わーっ、助けてくれ!」
5. 女性「ちょっと、何するの! 放してよ。/ 近づかないでよ」
男性「ちょっと、何するんだ! 放せよ。/ 近づくなよ」

(6) レベルに合った前置きの表現

1. 恐れ入りますが、・・・
申し訳ありませんが、・・・
2. すみませんが、・・・
3. 悪いけど、・・・

◇ 縮約形 ①

(1) 「~ている」→「~てる」
「~でいる」→「~でる」

- ・ここで待ってて。
- ・何してるの?
- ・何読んでるの?
- ・ここでちょっと休んでて。
- ・そんなところに立ってないでよ。

(2) 「~ておく」→「~とく」
「~でおく」→「~どく」

- ・山田さんに電話しといて。
- ・これ、あしたまでに読んどいて。

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現4>
誘う、受ける／断る
「ご一緒にいかがですか」

【会話1】 (目上の人を誘う)



学生：山田先生、ちょっとよろしいですか。

先生：はい。何ですか。

学生：今週の金曜日の夜にクラスみんなで飲みに行くことになったんですが、よろしかったら、ご一緒にいかがですか。

先生：ええと、金曜日ですか。いいですよ。

学生：それじゃ、時間と場所が決まりましたら、またご連絡します。

先生：ええ、そうしてください。

(断る場合)

先生：ええと、金曜日ですか。

残念ですが、その日はほかに約束があるので、ちょっと無理ですね。せっかく誘ってもらったのにごめんなさい。

学生：いいえ。それじゃ、また次の機会に。

先生：ええ、また誘ってくださいね。

【会話2】



チン：山本さんじゃありませんか。久しぶりですね。お元気でしたか。

山本：ああ、チンさん。お久しぶり。今はお仕事をしていますか。

チン：ええ、4月から働いています。まだ仕事に慣れなくて大変です。

山本：そうですか。あ、よかったらそのへんでお茶でもどうですか。

チン：すみません。きょうはちょっと。

これから人に会わなければならないものですから。

山本：それじゃ、しょうがないですね。これ私の名刺です。

電話番号が書いてありますから、よかったらまた連絡ください。

チン：あ、どうも。それじゃ、失礼します。

【会話3】（友達を誘う）



リー：もしもし、太郎さんですか。リーです。

太郎：あ、リーさん。こんにちは。

リー：あのう、午後に映画を見に行こうと思って(い)るんだけど、
一緒に行かない？

太郎：何の映画？

リー：ほら、今話題になっている北野監督の映画。知って(い)るでしょう。
もう見ちゃった？

太郎：ううん、まだ。あの映画、面白そうだよ。僕も見たいと思って(い)
たんだ。

リー：よかった。じゃ、これからそっちに行くから。

太郎：わかった。それじゃ、あとでね。



【会話4】 (親しい関係)



太郎：行こうよ。ねえ、いいだろう。

花子：いやよ。

太郎：どうして？

花子：だって、あそこつまらないんだもん。

■ 文型・表現

<誘う>

(1) ~ない？

~ませんか

1. ねえ、一緒に行かない？
2. あのう、一緒に行きませんか。

(2) ~(よ)うよ (※迷っている人、行きたがらない人に)

~ましょうよ

1. ねえ、行こうよ。絶対に面白いから。
2. (女性) ねえ、ねえ、行きましょうよ。ほかにすることないんでしょう。

(3) 一緒にどう？/どうですか/いかがですか

(4) 前置きの表現

1. よかったら、よろしかったら・・・
2. 時間があったら、暇だったら、お暇でしたら・・・

<誘いを受ける>

(1) ええ、いいですよ。(※基本的な受け方)

(2) いいですね。~ましょう。(※興味がある誘いするとき)

1. いいですね。私も食べたいと思っていましたんですよ。行きましょう。
2. いいですね。私も見たいと思っていましたところなんです。行きましょう。

(3) ありがとうございます。ぜひ。(※誘ってくれた人に感謝の気持ちを表す)
ありがとうございます。喜んで。

1. A「よかったら、一緒にどうですか」
B「ありがとうございます。ぜひ行きたいと思います」
2. A「お暇でしたら、一緒にお食事でもいかがかと思ひまして」
B「ありがとうございます。ぜひご一緒したいと思います」

<誘いを断る>

(1) すみません／ごめんなさい。～はちょっと。(＋理由) (※基本的な断り方)

- ・ すみません、きょうはちょっと。用事があるので。

注)『ごめんなさい』は目上の人には使わないほうがいい。

(2) ～ものですから。(※個人的な理由で断る場合) → ★L.9文型「理由表現」

1. すみません。先約があるものですから。
2. すみません。これから出かけなければならないものですから。

(3) (だって) ～もの／～もん (※2のくだけた表現 「もん」は女性の表現)

1. だって、お金がないんだもの。
2. だって、両親がうるさいんだもん。二人だけでは行けないわ。

(4) 前置きの表現

1. 残念ですが、・・・
2. ぜひ ～たいんですが、・・・

◇ 縮約形 ③

「～てしまう」→「～ちゃう」

「～でしまう」→「～じゃう」

1. 山田さんならもう帰っちゃったよ。
2. この仕事、早く終わらせちゃおう。
3. お昼ご飯、もう食べちゃった？
4. その本はもう読んじゃったよ。

すぐに使える会話表現

＜会話文型・表現5＞
申し出る、感謝する
「手伝いましょうか」

【会話1】



田中：準備、大変そうですね。何か手伝いましょうか。

キム：あ、田中さん。大丈夫ですよ。ご心配なく。

田中：遠慮しないでください。ええと、このイスを並べるんですね。

キム：ええ。どうもすみません。助かります。

キム：本当に助かりました。感謝します。

田中：いいえ、どういたしまして。



【会話2】



ケン：何かお手伝いできることはありませんか。

佐藤：あ、ケンさん。それじゃ、すみませんけど、これを運ぶのを手伝ってもらえますか。

佐藤：ケンさんのおかげで、ずいぶん早く終わりました。ありがとうございました。

【会話3】



リー：忙しそうですね。

木村：ええ。お昼ご飯を買いに行きたいんだけど、なかなか行けなくて。

リー：それなら、私が代わりに買って来ましょうか。

ちょうど私も何か買って来ようと思っていたところですから。

木村：そうですか。そうしてもらえると有り難いです。

リー：はい、どうぞ。

木村：すみませんでした。リーさんがいてくれてよかったです。

【会話4】



男：かぜひいたらしいね。大丈夫？ なんか買って来てあげようか。

女：それじゃ、悪いけど、果物を買って来てくれる？

男：いいよ。困った時はお互い様だよ。

女：本当に悪いわね。



【会話5】



ヘレン：先生、ようこそいらっしゃいました。お荷物、お持ちしましょうか。

先生：そうですか。どうもありがとうございます。

ヘレン：きょうはお疲れでしょうから、ゆっくり休んでください。あしたの

予定はもうお決まりですか。

何もなければ、あしたは私にサンフランシスコを案内させてください。

先生：そうですか。忙しいのに悪いですね。

たが さま
お互い様

■ 文型・表現

<申し出る>

(1) ～ましょうか (※基本的な文型)

1. 手伝いましょうか。
2. 私が(代わりに)行きましょうか。

(2) お～しましょうか (※丁寧な申し出、相手・相手の物に対してする場合)

1. お手伝いしましょうか。
2. お荷物、お持ちしましょうか。
3. (私が)お取りしましょうか。
4. (私が)ご案内しましょうか。

(3) ～てあげようか／～てあげましょうか (※親しい人、目下の人に)

1. 手伝ってあげましょうか。
2. 私が(代わりに)作ってあげようか。

(4) (私が)～します／しまししょう／お～します

(※相手の返事を聞かなくてもいい場合)

1. あ、それは私がします。山田さんは座っててください。
2. 大丈夫です。それは私がしまししょう。前にもやったことがありますから。

(5) (私に)～させてください。

(※許可を求める文型を使って自分の意志を伝える)

- ・ その仕事はぜひ私にやらせてください。

<感謝する>

(1) ありがとうございます／ありがとうございました。

どうもすみません／すみませんでした。

(2) (本当に)助かります／助かりました。

(3) (本当に)悪いね (※親しい関係、目下の人に)

(4) ○○さんのおかげで、・・・・・・た。

おかげ様で・・・・・・た。

すぐに使える会話表現

〈会話文型・表現6〉

伝言を頼む・伝える

「欠席すると伝えてください」

【会話1】



事務員：はい、ABC日本語学校です。

ヘレン：もしもし、中級1のクラスのヘレンですが、宮田先生はいらっしゃいますか。

事務員：宮田先生はもう帰られましたけど。

ヘレン：そうですか。それでは、伝言をお願いできますか。

事務員：ええ。どうぞ。

ヘレン：あしたの授業なんですけど、急用ができたので欠席すると伝えてください。

事務員：あしたの授業は欠席するということですね。分かりました。

ヘレン：よろしくお願いします。

事務員：きのうヘレンさんから電話がありまして、急用ができたので、きょうの授業は休むとのことでした。

宮田：そうですか。分かりました。



でんごん けっせき
伝言(する) 欠席(する) (⇔出席*)

【会話2】



キム：ケンさん、ちょっとお願いがあるんですけど。
 ケン：何ですか。
 キム：きょう、山田さんの家に集まるでしょう。でも、私、行けなくなっ
 ています。
 ケン：え？ どうして。
 キム：あしたまでに出さなければならないレポートがまだ終わらなくて。
 ケン：そうなんですか。大変ですね。
 キム：すみませんが、山田さんにそう伝えてもらえますか。

 山田：あれ？ キムさんは一緒じゃないんですか。
 ケン：あ、キムさんならきょうは来られなくなったって言って(い)ました。
 今晚、レポートを書かなければならないらしいです。

【会話3】 カン（男） 山本（女）



カン：キムさんどこか知らない？ 探して(い)るんだけど。
 山本：さあ。でも、かばんがあるから戻ってくると思うけど。
 カン：じゃ、戻ったら、私の携帯に電話するように言ってくれる？ 急用な
 んだ。
 山本：わかった。伝えとくわ。

 山本：あ、キムさん、さっきカンさんが探して(い)たわよ。
 キム：何か言って(い)た？
 山本：うん。携帯に電話してくださいって。急用なんだって。

■ 文型・表現

<伝言を頼む>

- (1) 伝言をお願いできますか
- (2) 伝えてもらいたいことがあるんですが
- (3) ～と伝えてください／伝えてもらえますか／伝えていただけますか
(※「～」には普通形が来る)
 1. あした休むと伝えてください。
 2. 今晚のミーティングに少し遅れると伝えてもらえますか。
 3. 旅行の集合場所は学校の前になったと伝えてもらえますか。
 4. あしたの会議には出席できなくなったと伝えていただけますか。
- (4) [内容、事情]。そう伝えてください。
- (5) ～ように言ってください／言ってもらえますか／言っていただけますか
(※その人にしてほしいことを伝えてもらう／※「～」に普通形が来る)
注) 一方的な依頼になるので目上の人には使わないほうがいい。
 1. あしたの3時に来るように言ってもらえますか。
 2. 5時までに電話をくれるように言っていただけますか。
 3. あした作文の教科書を持ってくるように言ってもらえる？

<伝言を伝える>

- (1) ～とのこと、～そうです。(※伝聞の文型 →★L. 5, 15)
- (2) ～と言って(い)ました
～って言ってました (※口語体では『～と』は『～って』になる)
～って (※親しい関係の場合には『言う』を省略できる)
 1. A「ケンさんから何か伝言あった？」
B「もう一度電話するって言ってましたよ」
 2. A「田中さん、何て言った？」
B「日曜日はやっぱりだめだって」
- (3) ～んだって (※「～んだそうです」の意味の口語体)
 1. 山田さん、来れないんだって。残念だね。
 2. ジョンさんはもう帰ったんだって。それじゃ、しょうがないね。
 3. 集合時間が5時から6時変わったんだって。

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現7>
許可を求める・応じる／断る

「ちょっと借りてもいい？」

【会話1】



シン：先生、あのう。

先生：はい、何ですか。

シン：ちょっと暑いので、窓を開けてもいいですか。

先生：ええ、いいですよ。

【会話2】



A：ケンさん、ちょっと辞書借りてもいい？ 自分の辞書忘れちゃって。

B：どうぞ。今使って(い)ないから。

【会話3】



カン：先生、あのう。

先生：はい、何でしょう。

カン：ちょっと気分が悪いので、早退したいんですが。

先生：それはいけませんね。早く帰って休んでください。お大事に。



【会話4】



お客：きのうこれを買ったんですが、後で見たら欲しかったものと色が違っ
たんです。別の色のと取り替えることができますか。

店員：レシートはお持ちですか。

お客：あ、う、レシートがないとだめですか。

店員：申し訳ございませんが、レシートがないとお取り替えはできないんで
す。

お客：ちょっと待ってください。探してみます。

あ、ありました。

それで、別の色で、違うサイズのものとお取り替えることができますか。

店員：はい、できますよ。どれがよろしいですか。



【会話5】 (図書館で)



利用者：ロビーで食事してもかまいませんか。

係員：申し訳ございませんが、館内でのご飲食はご遠慮ください。

食堂をご利用ください。

【会話6】 (テーマパークで)



お客：この中には一般の人を入れるんですか。

係員：こちらは関係者以外は立ち入り禁止になっておりますので。申し訳ご
ざいせん。

■ 文型・表現

<許可を求める>

(1) ～てもいい？、～てもいいですか、～てもよろしいですか

(※許可を求める基本的な文型)

注)「～ても」が「～て」だけになると丁寧さが低くなる。

1. これ、使っていい？
2. この仕事、あしたでいいかな。

(2) ～できますか、<可能形>ますか

(※まず一般的にそれが可能か確認したい場合に使う)

- ・ 一度買ったものを別の物と取り替えることができますか。

(3) ～たいんですが、(～てもいいですか／～できますか)

(※自分の希望を先に話すことによって婉曲表現になる)

- ・ この商品を返品したいんですが。(できますでしょうか。)

(4) ～て(も)かまいませんか (※それをして相手に迷惑にならないかを聞く)

- ・ 出発時間を変更して(も)かまいませんか。

<応じる>

(1) はい／ええ、どうぞ (※基本的な文型)

(2) はい／ええ、もちろんいいですよ／結構ですよ／かまいませんよ

<断る>

(1) すみませんが、・・・ので。(※基本的な文型)

(2) 申し訳ございませんが、・・・ので。(※丁寧な断り方)

(3) 慣用表現 (※婉曲的な表現)

1) ～はご遠慮ください

1. 申し訳ございませんが、こちらでの喫煙はご遠慮ください。
2. 申し訳ございませんが、写真はご遠慮願います。

2) ～は(できない)ことになっております (→★L5)

1. こちらには一般の方は入れないことになっておりますので。
2. 時間の変更はできないことになっておりますので。

へんぴん 返品(する) へんこう 変更(する)

すぐに使える会話表現

<会話文型・表現8>

提案・助言する

「先生に聞いてみたらどうですか」

【会話1】



加藤：卒業旅行のことなんですけど、どこがいいでしょうか。

山田：伊豆^{いず}はどうか。景色もいいし、温泉もあるし。

加藤：そうですね。伊豆だとやっぱり電車で行ったほうがいいですか。

山田：う～ん。バスのほうがいいんじゃないかと思うけど。自由にできるから。



【会話2】



ケン：日本語の辞書を買おうと思うんですが、何がいいですか。

キム：そうですね。いろいろありますけど、これなんかどうですか。用例もたくさん載っているし。

ケン：よさそうですね。ほかにもありますか。

キム：一度、大きな本屋さんに行って、自分でいろいろ比べてみたらどうですか。やっぱり自分で見て、使いやすいのを選ぶのがいいですよ。

それか、先生に聞いてみたらどうですか。先生ならいろいろ知って(い)ますよ。

【会話3】



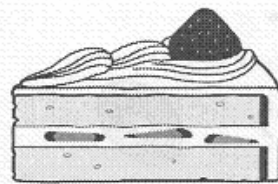
ジョン：山田さんの誕生日プレゼント、何がいいかな。
ヘレン：そうね。男性だからネクタイとかベルトがいいんじゃない？
ジョン：私はお酒がいいと思うけど。山田さんお酒が大好きだから。
ヘレン：それじゃ、お酒とネクタイにしたらいんじゃない？
ジョン：じゃ、そうしようか。

【会話4】



カン：夏休みに一度帰国するんですけど、アパートの大家さんにお土産を買ってきたほうがいいでしょうか。
山田：そうですね。何かちょっとしたものを買ってきたほうがいいでしょう。お世話になって(い)ますからね。
それから、長い間留守にするときにはそう言っておいたほうがいいですよ。心配するといけないから。
カン：そうですね。分かりました。

【会話5】



山本：ああ、おいしそう。私もケーキ食べたいな。
田中：山本さんもさっき一緒に注文すればよかったのに。
山本：私、ダイエット中だから。でも、本当においしそうに食べて(い)るわね。
田中：そんなにじろじろ見られると食べられないよ。そんなに食べたかったら、これから注文したらいいじゃない。

■ 文型・表現

＜提案1＞ (※それを勧め^{すす}める)

(1) ～はどう？ /～はどうですか
 (～はいかが？) /～はいかがですか

1. 日曜日はどうですか。
2. この赤いシャツなどはいかがですか。とてもお似合いですよ。
 注)「～は」のかわりに「～など」「～なんか」も使える。

(2) ～たら？/～たらどう？/～たらどうですか
 (～たらいかが？) /～たらいかがですか

1. 心配だったら、一度病院に行ったら？
2. 先生に相談してみたらどう？
3. 一度病院に行ってみてもらったらいかがですか。

＜提案2＞ (※自分の考えをはっきり出す)

(1) ～がいい { と思います/思いますけど
 ですよ/でしょう
 んじゃない？/んじゃないですか/んじゃないでしょうか

1. (私は) 5時からがいいと思いますけど。
2. 料理はバイキング形式がいいんじゃないですか。

(2) ～たらいい { と思います/思いますけど
 ですよ/でしょう
 んじゃない？/んじゃないですか/んじゃないでしょうか

1. それじゃ、日帰りではなくて一泊にしたらいいですよ。
2. それじゃ、中止にしたらいいんじゃない？

＜提案3＞ (※アドバイス) 注) 忠告^{ちゆうこく}の意味でも使われる。

～ほうがいい { と思います/思いますけど
 ですよ/でしょう
 んじゃない？/んじゃないですか/んじゃないでしょうか

1. もっと早く出発したほうがいいと思うけど。
2. 旅館じゃなくて、ホテルにしたほうがいいんじゃないでしょうか。
3. 木曜日にしたほうがいいよ。金曜は込むから予約できないよ。

^{ひなん}
＜非難＞ 注) ＜提案＞と違って「ん」が入らない。イントネーションに注意。

～たらいいじゃない(↓) / いいじゃないですか(↓)

(※「たら」の代わりに「ば」も使える)

1. そんなに文句を言うなら、一人でやったらいいじゃない。
2. いい点を取りたいならもっと勉強したらいいじゃないですか。(どうしてしないんですか。)
3. そんなにいやなら「いやです」とはっきり言えばいいじゃない。

長文読解練習 1

「似顔絵」

■ ポイント

- (1) 段落ごとに何について書いてあるかみる。
 (2) 指示語、代名詞が何を指しているのかをみる。
 (3) それぞれの『違い』と『共通点』をみる。
 (対比・逆接の接続詞)

■ 本文新出語

名詞	^{ようちえん} 幼稚園 ひげ ^{とくちょう} 特徴 ^{にがえ} 似顔絵 タイプ ^{ほんにん} 本人 パナナ タイヤ ^{はんばーがー} ハンバーガー ^{はんじん} 犯人 ^{しみん} 市民 ^{じょうほう} 情報 ^{へん} その辺 [「ところ、点」の意味]
な形容詞	^{せいかく} 正確
形容詞	^{あや} 怪しい
名詞／動詞Ⅲ	^{ひょうげん} 表現(する) ^{きょうちょう} 強調(する) ^{きょうつう} 共通(する) ^{あじつ} 味付け(する) ^{かつやく} 活躍(する)
動詞	^は 生えるⅡ ^{くつつく} くつつくⅠ ^{つか} 捕まえるⅡ [基本動詞の用法] ・(絵を)かく (～形を)する
副詞	^{じっさい} しっかり ^{じっさい} 実際(に)は 実際(に)
その他	^{ばい} ～倍 (^{かれ} 彼)ら (→ L7本文「これら」)



＜本文を読む前に＞

文章には5つの段落があります。それを確認してください。

＜練習A＞ 本文を1回さっと読んで、次の作業をしてください。

(1) それぞれの段落でどんな人が紹介されているか確認して、その名前を書いてください。

第1段落 _____

第2段落 _____

第3段落 _____

第4段落 _____

第5段落 _____

(2) 重要な文だと思うところをチェックしてください。

- ・その人がどんな人が簡単にまとめられている文。
- ・その人がほかの人とどのように違うか、同じかまとめられている文。

＜本文＞



幼稚園の子どもが自分のお父さんやお母さんの顔をかくとなかなかおもしろい絵ができます。お父さんのひげが口の中に生えていたり、お母さんの口が耳とくっついていたりします。もちろん、実際にはそんな顔ではないのですが、子どもから見ると、そう見えるのです。でも、特徴をしっかりと表現しているという点ではすばらしいと言えます。

プロの似顔絵をかく人には2つのタイプがあります。1つのタイプはまるで写真のように正確に、本人とそっくりにかく人で、もう1つのタイプはその人の特徴を強調してかく人です。2つ目のタイプの人がかく似顔絵は鼻が普通の3倍もあつたり、あごがまるでバナナのように長く曲がっていたり、耳が象のように大きかったりするのですが、それを見るとき、「ああ、あの人だ」とすぐに分かります。そんな鼻やあごの形をし

さっと さぎょう 作業 じゅうよう 重要(な)

た人なんて実際にはいないのに、それを見てだれの顔か分かるところが 12
おもしろいです。幼稚園の子どもがかく絵はこのタイプと似ているので 13
はないでしょうか。違いは、まずプロはかく技術が高いということです。 14
これはどのタイプのプロにも共通していることです。次に、このタイプ 15
のプロの絵は子どものそれと違って、いろいろと「味付け」がされてい 16
る点です。料理の味付けが人によっていろいろあるように、似顔絵の味 17
付けもいろいろです。人によっては、顔がタイヤになったり、口がハン 18
バーガーになったりします。 19

実は、似顔絵をかくプロにはもう1つのタイプがあります。このタイ 20
プはできるだけそっくりにかくという点では1つ目のタイプと似ていま 21
すが、実際に本人を見ながらかくのではなくて、聞きながらかく人です。 22
このプロが活躍するのは、警察が逃げていた犯人を捕まえる時です。犯 23
人を見た人からその特徴を聞きながら似顔絵をかいて、それを使って市 24
民から情報を集めます。 25

しかし、最近は何でもコンピューターを使って仕事をするようになり 26
ましたから、このタイプのプロの仕事が少なくなったのではないかと思っ 27
ていました。ところが、警察の話によると、正確なら正確なほどいいと 28
いうことではないらしいのです。ある事件でコンピューターを使って正 29
確な似顔絵をかいたのですが、市民からほとんど情報が集まらなかった 30
そうです。正確ではっきりかかれすぎていたので、それと似ている人の 31
情報が少なくなったということです。なんとなく怪しいと思っても、そ 32
の人とは違うと考えるてしまうようです。 33

どれくらい正確にかけばいいのか。どの程度特徴をはっきりかけばい 34
いのか。その辺をよく考えてかくのが3つ目のタイプのプロの仕事なの 35
です。それで、そのあとすぐに彼らがかいた似顔絵もいっしょに使われ 36
ることになりました。 37

<練習B> もう一度ゆっくり読んで、次の質問に教えてください。

(1) 下線部の指示語と代名詞は何を指していますか。

<第2段落から>

1. その人の特徴を～：
2. それを見ると～：
3. ああ、あの人だ～：
4. 子どものそれと違って～：

<第3段落から>

5. このプロが活躍～：
6. その特徴を聞き～：
7. それを使って～：

<第4段落から>

8. このタイプのプロ～：
9. それと似ている人～：
10. その人とは違う～：

<第5段落から>

11. その辺をよく～：
12. そのあとすぐに～：
13. 彼らがかいた～：

(2) 本文で紹介されている似顔絵をかく人について、それぞれ共通する点、違う点をまとめてください。

1. 「幼稚園の子ども」と「プロ(全部)」

<違う点> 子どもは
プロは

2. 「幼稚園の子ども」と「プロのタイプ1」

<違う点> 子どもは
タイプ1は

3. 「プロのタイプ1」と「プロのタイプ2」

<違う点> タイプ1は
タイプ2は

4. 「幼稚園の子ども」と「プロのタイプ2」

<共通点> どちらも
<違う点> 子どもは
タイプ2は

5. 「プロのタイプ1」と「プロのタイプ3」

<共通点> どちらも
<違う点> タイプ1は
タイプ3は

(3) 「味付け」というのはどういう意味ですか。

元々の意味：

本文での意味：

(4) 3つ目のタイプのプロの仕事はこれから少なくなると思いますか。なぜですか。

<読解のスキル>

(1) 段落ごとの内容をとらえる。

- ・「1つ(目)、2つ(目)・・・」
- ・「第1に、第2に、・・・」
- ・「まず、次に、・・・」

(2) 対比されている部分を正確によむ。

- ・「～という点では(同じ、似ている、違う)」
- ・「～と似ている」「～と違う」「違いは～」
- ・「～が共通している」
- ・「Aが～ように、Bも～」

(3) 話の展開に注意して読む。

- ・(筆者は)～と思っていた。ところが……。それで、(結論)

長文読解練習 2

「平均という言葉の意味」

■ ポイント

- (1) 自分の予想と比べながら読む
- (2) 文章と文章の関係をみる
(順接、逆接の接続詞)
- (3) 文章の要点(筆者が言いたいこと)をつかむ
(段落の構成・流れ)

■ 本文新出語

名詞 : 暖冬(だんとう) 温度(おんど) 気象(きしょう) (庁) 平年(へいねん) 過去(かこ) 機関(きかん) 最高(さいこう) 地球(ちきゅう)
 大気(たいき) (中) 二酸化炭素(にさんかたんそ) (CO₂) 濃度(のうど) 温室(おんしつ) 大部分(だいぶぶん) 石炭(せきたん)
 国連(こくれん) [= 国際連合] 半そで(はんそで) 長そで(ながそで) 気候(きこう) 作物(さくもつ) 南極(なんきょく) 氷(こおり)
 先(さき) [「将来」の意味] 知恵(ちえ) 今世紀(こんせいき)

な形容詞 : 異常(いじょう) 深刻(しんこく) (→深刻さ) ばか

い形容詞 : 賢い(かしこ)

名詞/動詞Ⅲ : 平均(する) (へいきん) 温暖化(する) (おんだんか) 注目(する) (ちゅうもく) 発生(する) (はっせい)
 努力(する) (どりょく) 実感(する) (じっかん)

動詞 : 過ごす (目を) 向ける (す) (む) 燃やす (も) 溶ける (と)

【基本動詞の用法】

- ・(注目を)集める (被害を)受ける (影響が)出る (知恵を)出す

副詞 : がらりと

その他 : 文字通り (も) (じ) (ど) 度 (ど)

＜本文を読む前に＞

(1) 「暖冬」「地球温暖化」がどんなものか、本文を読む前に、新出語を参考にしながら話してください。(分からないところはそのままでもいいです。)

1. 「暖冬」というのはどのくらい暖かいことか予想してください。
2. 「温暖化」というのはどのくらいの温度が上がるのか予想してください。
3. 「温暖化」の原因について考えてください。
4. 「温暖化」の影響について考えてください。



(2) 文章は7つの段落に分かれています。それを確認してください。

＜練習A＞本文を1回さっと読んで、次の作業をしてください。

(1) 7つの段落を大きく2つに分けるとしたら、どこで分けられますか。線を引いてください。そして、それぞれのグループに簡単なタイトルをつけてください。

<1> <2> <3> <4> <5> <6> <7>

_____ について / _____ について

(2) 筆者が一番言いたいことはどの段落にありますか。



＜本文＞

天気予報で使われる言葉に「暖冬」という言葉がある。暖冬というのは文字通り暖かい冬という意味だが、どの程度暖かい時に暖冬と言われるかを知っている人はそう多くない。暖冬だと言われれば、冬なのに暖かい日が多い異常な季節なのだろうと思うだけだ。その異常さはどの程度の温度なのだろう。

気象庁によると、その冬の『平均気温』が平年(=過去30年間の平均)と比

べて0.5度以上高い場合に暖冬というそうだ。5度ではなくて、0.5度だ。冬を過ごせば、0度の日もあるし、6度の日もあるし、12度の日もある。しかし、『平均』で0.5度だけ高いとそれはもう異常なのだ。

目を国内から世界に向けてみよう。気象の専門機関の発表では、98年の世界全体の気温は異常に高くて、過去最高を記録したという。その異常さほどのくらいかという、『平均気温』が平年より0.82度高かっただけだ。

今、「地球温暖化」の問題が世界中の注目を集めている。大気中の二酸化炭素(CO₂)濃度が高くなることによって、まるで地球全体が温室のようになるらしい。だから、その濃度が高くなればなるほど気温が上がることになる。その二酸化炭素の大部分は石油や石炭を燃やすことによって発生する。国連の専門チームの予測では、その発生に対して何もしなければこれからの100年間で気温は3.8度上がるということだ。できるだけ発生させないように努力した場合でも1.8度上がるらしい。もちろんこれも『平均気温』だ。

こんなニュースを聞いても、その深刻さを実感する人は少ないようだ。それはきっと温暖化という言葉とこの平均気温のせいだろう。暖かくなるのは寒くなるよりいいのではないとか、心配していたほど上がらなくてよかったと考えてしまうのかもしれない。しかし、半そでのシャツを着るか長そでのシャツを着るかどちらにするかという問題ではない。1度上がるだけで、気候ががらりと変わる。それによって作物が大きな被害を受ける。そうすると、私たちの食べ物にも影響が出る。南極の氷が溶けることによって海の下になってしまう場所も多く出て来る。

確かに100年も先のことを考えて今何かしようという気持ちになるのは難しいものだ。心配してばかりいてもしょうがない。それだけの時間があればきっとだれかがいい知恵を出して問題を解決してくれるだろうと考えたくなる。しかし、今何かしなければいけない。それが、『平均気温』で1.8度上がるということの意味だ。

「やっぱり人間はばかだった」となるのか、「やっぱり人間は賢かった」となるのか。今世紀の終わりまでには答えが出るだろう。

長文読解練習2

＜練習B＞もう一度読んで、次の質問に教えてください。

- (1) 「暖冬」というのはどんな場合に使う言葉ですか。
- (2) 「温暖化」というのはどんなことですか。
- (3) 筆者はなぜ『平均気温』について具体的な数字を出して説明したのですか。
- (4) 筆者が一番読者に伝えたかったことは何ですか。
- (5) 「やっぱり人間はばかだった」と思う場合と「やっぱり人間は賢かった」と思う場合はそれぞれどんな結果になった時ですか。本文の単語も使って説明してください。
 1. 「やっぱり人間はばかだった」
 2. 「やっぱり人間は賢かった」

＜読解のスキル＞

・読む前にテーマについて予想しておいて、実際の文章を読みながら確認する。

・段落構成と流れをつかむ

1. <疑問の提示>:「～だろう(か)」
↓
2. <具体的な例/数字>と<それについての筆者の考え>
↓
3. <筆者の言いたいことをまとめる>
↓
4. <読者への疑問提示>

・筆者の言いたい部分を正確につかむ

1. ……しかし、～
2. 確かに……。しかし、～
3. “ ”や「 」や『 』で強調されて単語や句
4. 「～のだ」で結論を示している部分

長文読解練習 3

「犬と人間」

■ ポイント

関係している内容を結び付ける

長文読解練習<1>の復習
長文読解練習<2>の復習

■ 本文新出語

名詞	: 施設 <small>しせつ</small> 専用 <small>せんよう</small> (お)墓 <small>はか</small> 一員 <small>いちいん</small> 飼い主 <small>かぬし</small> 日ごろ <small>ひ</small> パートナー <small>まら</small> 街 <small>まち</small>
	車 <small>くるま</small> いす
な形容詞	: 盛 <small>さか</small> ん 不自由 <small>ふじゆう</small>
い形容詞	: とんでもない 頼 <small>たの</small> ましい
名詞/動詞Ⅲ	: 行動 <small>こうどう</small> (する) 訓練 <small>くんれん</small> (する) 外出 <small>がいしゅつ</small> (する) 反応 <small>はんのう</small> (する) 乗車 <small>じょうしゃ</small> (する)
動詞	: 扱 <small>あつか</small> う(→扱 <small>あつか</small> い) しつける(→しつけ) 見か <small>み</small> ける 頼 <small>たよ</small> りになる
	許 <small>ゆる</small> す 揺 <small>ゆ</small> れる ほえ <small>ほ</small> える かみ <small>みちび</small> つく 導 <small>みちび</small> く とじこ <small>みど</small> もる 認 <small>みど</small> める

[基本動詞の用法]

・(扱いを/訓練を)受ける (行動を)とる (～人、動物が)ある

副詞 : もしも 以前いぜん(は)、しっかりする

その他 : もしものこと (こんな)ふう(な/に～) (～と)共ともに 個別こべつに

<本文を読む前に>

(1) 次のことについて考えてください。

1. ペットは飼い主と一緒に電車に乗ることができますか。
2. 一緒に乗ることができる犬はいますか。それはどんな犬ですか。



(2) 文章は6つの段落に分かれています。それを確認してください。

<練習A> 本文を1回さっと読んで、次の作業をしてください。

(1) 6つの段落を大きく2つのグループに分けるとしたらどこで分けますか。線を引いてください。そして、それぞれのグループに簡単なタイトルをつけてください。

<1> <2> <3> <4> <5> <6>

_____ について / _____ について

(2) どんな犬が紹介されていますか。紹介されている段落の番号の下に名前を書いてください。

(3) 筆者が一番言いたいことが書いてある段落はどこですか。

<本文>



日本もペット産業がずいぶんと大きくなってきた。ペットのためにいろい
 1
 ろなサービスや施設がある。たとえペット専用のお墓ができたとしても驚
 2
 かなくなるくらい人間と同じような扱いを受けられるようになった。特に犬
 3
 は家族の一員のように扱われることが多い。 4

ところが、飼い主がその犬をどんなに好きでも、電車や飛行機などにその
 5
 まま連れて乗ることはできない。レストランでも犬を連れのまま食事ができ
 6
 るところはほんの一部だけだ。 7

これだけペット産業が盛んなのに、なぜなのだろうか。答えは簡単だ。犬
 8
 は人間と違って、いつどんな行動をとるかわからないからだ。公園や道だっ
 9
 たら、犬が怖い人は近づかなければいいだけだが、電車や飛行機やレストラ
 10
 ンでは周りのお客にもしものことがあったら大変だ。こんなふうによく書くと、
 11
 日ごろから犬のしつけを厳しくしている人から文句を言われそうだが、基本
 12

的にはこの考え方は正しいと思う。以前は日本ほど安全な国はないと言われ 13
たものだが、最近はとんでもない行動をとる人間が確かに増えてきている。 14
だから、危ない人間と一緒に電車に乗るくらいなら犬と一緒にのほうがましだ 15
と考える人もいるかもしれない。でも、そんな社会にはなってほしくない。 16
犬よりもまず人間のほうがもっとしっかりしなければいけない。 17

しかし、反対にどんどん乗ってほしいと思う犬もある。ペットとしての犬 18
と違って、この犬は法律で電車に乗れることになっている。いわゆる盲導犬^{もうどうけん} 19
と呼ばれる犬だ。その数も増えてきているので、実際に電車で見かけた人も 20
いると思う。目が不自由な人にとってのいわば目となって共に行動してくれ 21
る、頼りになるパートナーだ。なぜ彼らは電車に乗ることが許されるのかと 22
いうと、それはペットの犬が乗れない理由とちょうど反対だ。たとえば電車が 23
揺れたり、食べ物のおいがしたり、近くの人のおぼがぶつかっても、ほえたり 24
騒いだりかみついたりしないように訓練を受けているのだ。盲導犬はひと 25
りで行動するのではなく、目が不自由なご主人を守り、導きながら行動しな 26
ければならないから、その訓練は相当厳しいものだという。 27

一方、盲導犬と同じ程度の訓練を受けているのに、まだ法律ではペットと 28
同じ扱いを受けるために電車に乗ることができない犬がいる。いわゆる聴導^{ちょうどう} 29
犬^{けん}と呼ばれる犬だ。盲導犬がご主人の目となってくれるのに対して、こちら 30
は耳となって行動してくれる犬だ。盲導犬と比べてまだ一般には知られてい 31
ないが、日本でも数は少しずつ増えている。電話が鳴ったり、お客さんが来 32
たときにそれを知らせてくれる。外出したときには、後ろから近づいてくる 33
車の音に反応してご主人を守ってくれる。盲導犬のような犬を連れているの 34
に目が見えるということで、周りの人から誤解されることも多いという。し 35
かし、最近になってやっと鉄道会社や航空会社が個別に試験をして、聴導犬 36
の乗車を許可するようになってきた。当然のことだ。体が不自由な人が家の 37
中にとじこもっていないで、普通の人と同じように街に出ることができる社 38
会がいい。 39

また、車いすで生活しなければならない人の頼もしいパートナーとして介 40
助犬^{じょけん}と呼ばれる犬もいるが、こちらもまだ法律ではペット扱いだ。聴導犬や 41
介助犬の働きが認められるにしたがって、きっと法律も変わっていくだろう。 42
そのためには、このような犬たちに対する私たちの理解も必要だ。 43

長文読解練習3

＜練習問題B＞もう一度読んで、次の質問に教えてください。

- (1) この文章で紹介されている犬についてそれぞれの共通点と違う点をまとめてください。
- (2) 第3段落の「もしものこと」というのはどんなことですか。それと関係があることが書かれているところはどこですか。
- (3) 第3段落の「そんな社会・・・」というのはどんな社会ですか。
- (4) 筆者の考えをまとめてください。
 1. ペットとしての犬について
 2. 体が不自由な人について
 3. その人のパートナーとしての犬について
- (5) この文章を読んでどう思いましたか。筆者の考え方についてどう思いますか。

注：2002年5月に「身体障害者補助犬法」が参議院で可決、成立。同年10月から施行されることになった。これで「盲導犬・聴導犬・介助犬」が補助犬として同等に扱われ、公共施設、公共交通機関だけでなく、不特定多数が利用する民間施設にも受け入れが義務づけられた。ただし、ホテルやレストランなどの民間施設の場合は周知期間を設け、2003年10月から義務づけられる。民間の職場やマンションへの受け入れについては努力規定がある。

＜読解のスキル＞

・段落構成

＜前置き＞



＜疑問提起＞と＜筆者の考え＞



＜具体的な例の紹介＞

「しかし」「一方」「また」



＜筆者の考えのまとめ＞

・関係する内容が離れて書かれていることもある。

例『それはペットの犬が乗れない理由とちょうど反対だ』

長文読解練習 4

「コンビニの前の風景」

■ ポイント

エッセーを読む／楽しむ

■ 本文新出語

名詞	ふうけい : 風景 おやつ オフィス 愛煙家 吸い殻 役割 ペットボトル さか 逆さま(にする) ラベル 親子 家庭
い形容詞	: (～に) 甘い
名詞／動詞Ⅲ	いっぷく : 一服(する) かんさつ 観察(する)
動詞	: 分かれるⅡ (中を)のぞくⅠ はがすⅠ
副詞	: ポンポン(と) ちゃんと ギュッ(と)
その他	: どこも

[基本動詞の用法]

- ・ (興味を) 持つ

<本文を読む前に>

- ・ タイトル『コンビニの前の風景』からどんなことを連想しますか。自由に話してください。

<練習A>今回はこの練習はありません。話の展開に注意しながら読んでください。読んだあとで<練習B>の問いに答えてください。

<本文>



都会に住んでいると、コンビニほど有り難いものはないと思う。24時間開いていて、生活に必要なものがたいていそろっている。実は私にとってはもう一つ有り難いと思っていることがある。

私が勤めている会社のすぐ近くにもコンビニがある。午前と午後の休憩時には必ずコンビニに行く。行くといってもおやつとかジュースを買いに行くというわけではない。たばこを吸いに行くのだ。日本は喫煙に対して甘いと言われるが、最近はオフィスの中はどこも禁煙になったところが多いようだ。私の会社の向かいのオフィスではちゃんと建物の前にイスとテーブルと灰皿が用意されていて、社員はわざわざそこまで出て来て吸っている。まさかそこにお邪魔して吸うわけにはいかないのだから、私はコンビニの前に置いてある灰皿のところまで行って吸っているというわけである。愛煙家にとってはつらい世の中になったものだが、外で吸うからにはちゃんと吸殻は灰皿に捨てなければいけないと思っている。コンビニはこんな者にとっても非常に役に立っているわけであるが、ある日コンビニのもう一つの大切な役割に改めて気がついた。

その日もいつものように午前中の休み時間にコンビニの前で一服していると、小学校2、3年くらいの男の子がペットボトルを一つ持ってやって来た。きっとコンビニの前にあるゴミ箱に自分のうちのごみを捨てに来たのだろうと思っていたら、案の定その前で止まった。ところが、なかなかそのペットボトルを捨てないのだ。右手に持ったペットボトルで頭をポンポンとたたきながら何かを読んでいるようだった。その様子がいかに子供らしいと思いつつ観察していた。

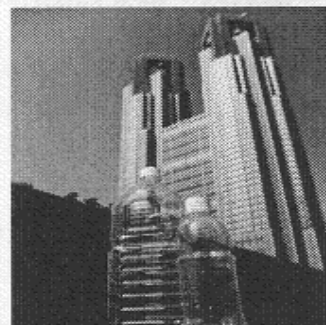
そのコンビニのゴミ箱は燃えるゴミとカンやビン、そしてペットボトルの三つに分かれていて、男の子はどこに捨てたらいいのか迷っているのかと思ったら、そうではなかった。ペットボトルの捨て方の説明を読

んでいたのだ。私は以前読んだことがあったので内容は知っていた。それで、
その子がちゃんと説明どおりに捨てられるかどうか興味を持った。

彼はまずポンポンとたたいていたボトルのふたを取り、中をのぞいて、次に逆さまにして中身がないことを確認した。そして足の下に置いてギュッと踏んだ。ここまでは説明どおりだ。あとは捨てるだけなのだが、なぜか彼は止まってしまった。私はそれを見て、「それでいいんだよ」と言いそうになったがやめた。彼はボトルのふたをどうすればいいのかと考えていたのだ。ゴミ箱にある説明には、実はふたのことは書いてなかった。だから、彼は迷っていたというわけだ。私は二本目のたばこに火をつけた。

まさかそんなことで悩んでいるとは思わなかったので、びっくりした。よく見ると、そのボトルはきれいにラベルが取られていた。きっとうちでゴミの捨て方を教わっているに違いないと思った。彼はしばらく考えて、ボトルと一緒に同じところに捨てて帰った。よくあそこまでできるものだと感心して私もオフィスに戻った。

驚いたことに、午後の休憩時間に一服していると、また来たのである。来たといってもあの男の子ではない。あの男の子のお母さんである。もちろんお母さんかどうか聞いたわけではない。しかし、あれと全く同じサイズでラベルがきれいにはがされたボトルを三本持ってやって来たのである。だからといってあの子のお母さんとは限らないが、私はそうに違いないと思った。男の子との違いは、お母さんは私がたばこを一本吸い終わらないうちにさっと捨てて帰ったことだった。あの親子にとっては、コンビニはいわばリサイクルの入り口であったわけだ。私はあの親子の家庭がどんなものを想像しながらたばこの火を消した。そして、コンビニの前でたばこを吸っている自分はほかの人にどう思われているのか考えながらオフィスに戻った。



<読解のスキル>

・エッセーの読み方、楽しみ方

展開の意外性、文章から状況や心理をイメージする

<話しの展開>

1. ～と思ったら、……
2. 実は、……
3. ～というわけではなかった
4. ところが、しかし、まさか、

<情景描写>

1. いかにも～らしい
2. ～ようだ
3. ～そうになった
4. 擬態語
5. 動作の展開
6. 間接的な描写とそのメッセージ

例「たばこを一本吸い終わらないうちに……」

<心理描写>

1. ～わけにはいかない
2. ～にちがいないと思った
3. 動詞や形容詞

例「迷う」